

基本計画書

基本計画											
事項		記入欄								備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者		ガッコウホウジントウホクゲイジュツコウカダイガク 学校法人東北芸術工科大学									
フリガナ大学の名称		トウホクゲイジュツコウカダイガク 東北芸術工科大学									
大学本部の位置		山形県山形市上桜田三丁目4番5号									
大学の目的		本学は、学校基本法 の精神 に則り、学術文化の中心として 広く知識を授けるとともに、深く芸術学、デザイン工学に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて、「術」と「学」の一体化による「もの」を形作ることを喜びとする人材を育成し、学術文化の向上及び産業の振興に貢献することを目的とする。									
新設学部等の目的		令和4年度に開学から30年を経過しその実績を踏まえ、東北を基盤とした芸術・デザイン教育の普及と芸術・デザインにより地方創生を推進する人材を育成するため収容定員を変更する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地		
	芸術学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	山形県山形市上桜田三丁目4番5号 同上		
	文化財保存修復学科	4	0 (26)	—	0 (104)	学士 (芸術)	美術関係	平成13年4月 第1年次			
	歴史遺産学科	4	51 (32)	—	204 (128)	学士 (芸術)	美術関係	令和8年4月 第1年次		同上	
	美術科	4	124	—	496	学士 (芸術)	美術関係	令和5年4月 第1年次		同上	
	工芸デザイン学科	4	45	—	180	学士 (芸術)	美術関係	令和5年4月 第1年次		同上	
	文芸学科	4	42	—	168	学士 (芸術)	美術関係	平成23年4月 第1年次		同上	
	デザイン工学部										
	プロダクトデザイン学科	4	62	—	248	学士 (デザイン工学)	工学関係	平成18年4月 第1年次		同上	
	建築・環境デザイン学科	4	52	—	208	学士 (デザイン工学)	工学関係	平成18年4月 第1年次		同上	
	グラフィックデザイン学科	4	90 (68)	—	360 (272)	学士 (デザイン工学)	工学関係	令和8年4月 第1年次		同上	
	映像学科	4	90 (62)	—	360 (248)	学士 (デザイン工学)	工学関係	令和8年4月 第1年次		同上	
	企画構想学科	4	80 (50)	—	320 (200)	学士 (デザイン工学)	工学関係	令和8年4月 第1年次		同上	
	コミュニティデザイン学科	4	0 (30)	—	0 (120)	学士 (デザイン工学)	工学関係	平成26年4月 第1年次		同上	
計	—	636 (593)	—	2,544 (2,372)	—	—	—				
同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）		芸術学部 文化財保存修復学科〔廃止〕(△26) ※令和8年4月学生募集停止 歴史遺産学科〔定員増〕(19) (令和8年4月) デザイン工学部 グラフィックデザイン学科〔定員増〕(22) (令和8年4月) 映像学科〔定員増〕(28) (令和8年4月) 企画構想学科〔定員増〕(30) (令和8年4月) コミュニティデザイン学科〔廃止〕(△30) ※令和8年4月学生募集停止									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習		計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目		— 科目	— 単位				

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 （助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	芸術学部 歴史遺産学科	3 (3)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (9)	0 (0)	115 (115)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (9)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	3 (3)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (9)			
	美術科	10 (9)	6 (4)	6 (6)	0 (0)	22 (19)	0 (0)	111 (111)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (9)	6 (4)	6 (6)	0 (0)	22 (19)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	10 (9)	6 (4)	6 (6)	0 (0)	22 (19)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	10 (9)	6 (4)	6 (6)	0 (0)	22 (19)			
	工芸デザイン学科	4 (4)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	7 (8)	0 (0)	79 (79)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 5人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	7 (8)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	7 (8)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	7 (8)				
文芸学科	4 (4)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (7)	0 (0)	56 (56)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 5人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (7)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (7)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (7)				
デザイン工学部 プロダクトデザイン学科	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	67 (67)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)				
設									

分	建築・環境デザイン学科		5 (5)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	8 (9)	0 (0)	69 (69)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	6 (7)				
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）		3 (3)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	6 (7)				
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)				
	計（a～d）		5 (5)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	8 (9)				
	グラフィックデザイン学科		6 (6)	4 (3)	3 (2)	0 (0)	13 (11)	0 (0)	63 (63)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 7 人	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (3)	3 (2)	0 (0)	13 (11)				
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）		6 (6)	4 (3)	3 (2)	0 (0)	13 (11)				
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）		6 (6)	4 (3)	3 (2)	0 (0)	13 (11)				
	映像学科		5 (5)	4 (3)	4 (2)	0 (0)	13 (10)	0 (0)	69 (69)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 7 人	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	4 (3)	4 (2)	0 (0)	13 (10)				
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）		5 (5)	4 (3)	4 (2)	0 (0)	13 (10)				
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）		5 (5)	4 (3)	4 (2)	0 (0)	13 (10)				
	企画構想学科		6 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	12 (13)	0 (0)	105 (105)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	12 (13)				
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）		6 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	12 (13)				
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）		6 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	12 (13)				
	計		48 (48)	27 (26)	23 (21)	0 (0)	98 (95)	－ (－)	－ (－)		
既 設 分	該当なし		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人	
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	小計（a～b）		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	計（a～d）		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)				
	計		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)		
	合 計		48 (48)	27 (26)	23 (21)	0 (0)	98 (95)	－ (－)	－ (－)		

職 種		専 属		その他		計				
事 務 職 員		90人 (90)		4人 (4)		94人 (94)				
技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
図 書 館 職 員		1 (1)		0 (0)		1 (1)				
そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
指 導 補 助 者		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計		91 (91)		4 (4)		95 (95)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	[こども芸術大学認定 こども園] (必要面積 1,247.5 ㎡) と共用 (収容定員 75人)				
	校 舎 敷 地	163,624.76㎡	0㎡	3,005.01㎡	166,629.77㎡					
	そ の 他	43,928.48㎡	2,907.19㎡	0㎡	46,835.67㎡					
	合 計	207,553.24㎡	2,907.19㎡	3005.01㎡	213,465.44㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	[こども芸術大学認定 こども園](必要面 積572.8 ㎡) と共用 (収容定員 75人)				
		41,034.82㎡ (39,189.82㎡)	0㎡ (0㎡)	1,611.77㎡ (1,611.77㎡)	42,646.59㎡ (40,801.59㎡)					
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	193室	教 員 研 究 室	121室	大学全体				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	159,228〔16,305〕 (159,228〔16,305〕)	130〔0〕 (130〔0〕)	354〔129〕 (354〔129〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	0	0			
	計	159,228〔16,305〕 (159,228〔16,305〕)	130〔0〕 (130〔0〕)	354〔129〕 (354〔129〕)	5〔5〕 (5〔 5 〕)	0	0			
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
		1412.78㎡		㎡		2,876.6㎡				
経費の見積り 及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		350千円	350千円	350千円	350千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		51,341千円	51,341千円	51,341千円	51,341千円	－千円	－千円	
		図 書 購 入 費	3,500千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	－千円	－千円	
		設 備 購 入 費	10,000千円	21,122千円	21,122千円	21,122千円	21,122千円	－千円	－千円	
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	芸術学部 歴史遺産学科 文 化財保存修復 コース 芸術学部 歴史遺産学科 歴 史遺産コース及 び文芸学科 芸術学部 美術科及び工芸 デザイン学科 デザイン工学部 プロダクトデザ イン学科、建 築・環境デザ イン学科、グラ フィックデザ イン学科、映像学 科 デザイン工学部 企画構想学科	
			1,475千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	－千円	－千円		
			1,410千円	1,135千円	1,135千円	1,135千円	－千円	－千円		
			1,595千円	1,320千円	1,320千円	1,320千円	－千円	－千円		
			1,495千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常経費補助、資産運用収入、雑収入等								

既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称	東北芸術工科大学								令和5年度入 学定員減（△ 45人） 令和5年度新 設学科（45 人）
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地	
	芸術学部	年	人	年次 人	人	—	1.02	—	山形県山形市上桜田三 丁目4番5号	
	文化財保存修復学科	4	269	—	1,076	—	0.97	平成13 年度		
	歴史遺産学科	4	26	—	104	学士 （芸術）	1.01	平成13 年度		
	美術科	4	32	—	128	学士 （芸術）	1.03	平成4 年度		
	工芸デザイン学科	4	124	—	541	学士 （芸術）	1.04	令和5 年度		
	文芸学科	4	45	—	135	学士 （芸術）	0.98	平成23 年度		
	デザイン工学部	4	42	—	168	—	1.02	—		
	プロダクトデザイン学科	4	324	—	1,296	学士 （デザイン工学）	1.06	平成18 年度		
	建築・環境デザイン学科	4	62	—	248	学士 （デザイン工学）	1.01	平成18 年度		
	グラフィックデザイン学科	4	52	—	208	学士 （デザイン工学）	1.01	平成21 年度		
	映像学科	4	68	—	272	学士 （デザイン工学）	1.02	平成21 年度		
	企画構想学科	4	62	—	248	学士 （デザイン工学）	0.98	平成21 年度		
	コミュニティデザイン学科	4	50	—	200	学士 （デザイン工学）	1.05	平成26 年度		
	大学院芸術工学研究科	4	30	—	120	—	0.59	—		
	芸術文化専攻 （修士課程）		43	—	91	修士 （芸術文化）	0.88	平成8 年度		
	デザイン工学専攻 （修士課程）	2	25	—	50	修士 （デザイン工学）	0.19	平成8 年度		
	芸術工学専攻 （博士後期課程）	2	13	—	26	博士 （芸術工学）	0.33	平成17 年度		
	附属施設の概要		名称：こども芸術大学認定こども園 目的：子どもの豊かな可能性を育む教育・保育事業 所在地：山形県山形市上桜田三丁目4番5号 設置年月：平成29年4月 規模等：校地3,005.01㎡、校舎1,611.77㎡							

- （注）
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については，専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
 - 3 「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 空欄には，「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東北芸術工科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

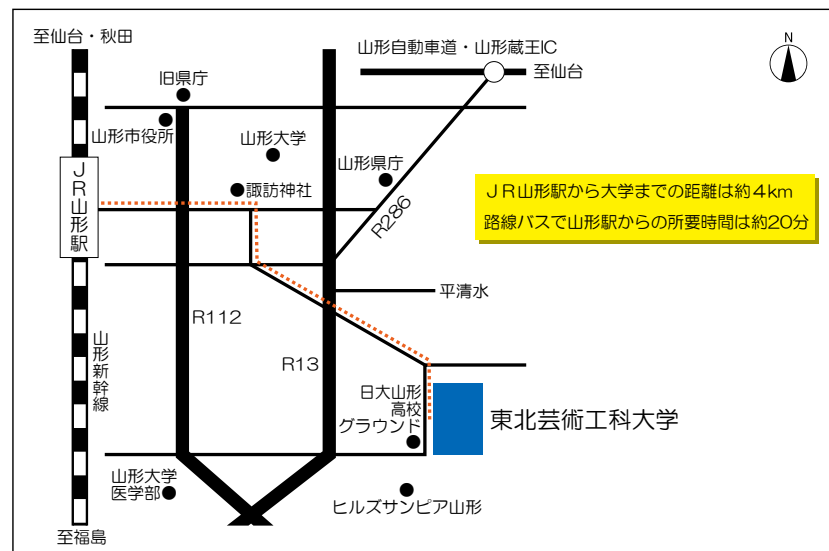
補足資料（組織の移行表）

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東北芸術工科大学				東北芸術工科大学				
芸術学部				芸術学部				
文化財保存修復学科	26	－	104	文化財保存修復学科	<u>0</u>	－	<u>0</u>	令和8年4月 学生募集停止(△26) 定員変更(19)
歴史遺産学科	32	－	128	歴史遺産学科	<u>51</u>	－	<u>204</u>	
美術科	124	－	496	美術科	124	－	496	
工芸デザイン学科	45	－	180	工芸デザイン学科	45	－	180	
文芸学科	42	－	168	文芸学科	42	－	168	
計	269	－	1,076	計	<u>262</u>	－	<u>1,048</u>	
デザイン工学部				デザイン工学部				
プロダクトデザイン学科	62	－	248	プロダクトデザイン学科	62	－	248	定員変更(22) 定員変更(28) 定員変更(30) 令和8年4月 学生募集停止(△30)
建築・環境デザイン学科	52	－	208	建築・環境デザイン学科	52	－	208	
グラフィックデザイン学科	68	－	272	グラフィックデザイン学科	<u>90</u>	－	<u>360</u>	
映像学科	62	－	248	映像学科	<u>90</u>	－	<u>360</u>	
企画構想学科	50	－	200	企画構想学科	<u>80</u>	－	<u>320</u>	
コミュニティデザイン学科	30	－	120	コミュニティデザイン学科	<u>0</u>	－	<u>0</u>	
計	324	－	1,296	計	<u>374</u>	－	<u>1,496</u>	
大学 学部計	593	－	2,372	大学 学部計	<u>636</u>	－	<u>2,544</u>	
大学院				大学院				
芸術工学研究科				芸術工学研究科				
修士課程				修士課程				
芸術文化専攻	25	－	50	芸術文化専攻	25	－	50	
デザイン工学専攻	13	－	26	デザイン工学専攻	13	－	26	
博士課程				博士課程				
芸術工学専攻	5	－	15	芸術工学専攻	5	－	15	
大学大学院計	43	－	91	大学大学院計	43	－	91	

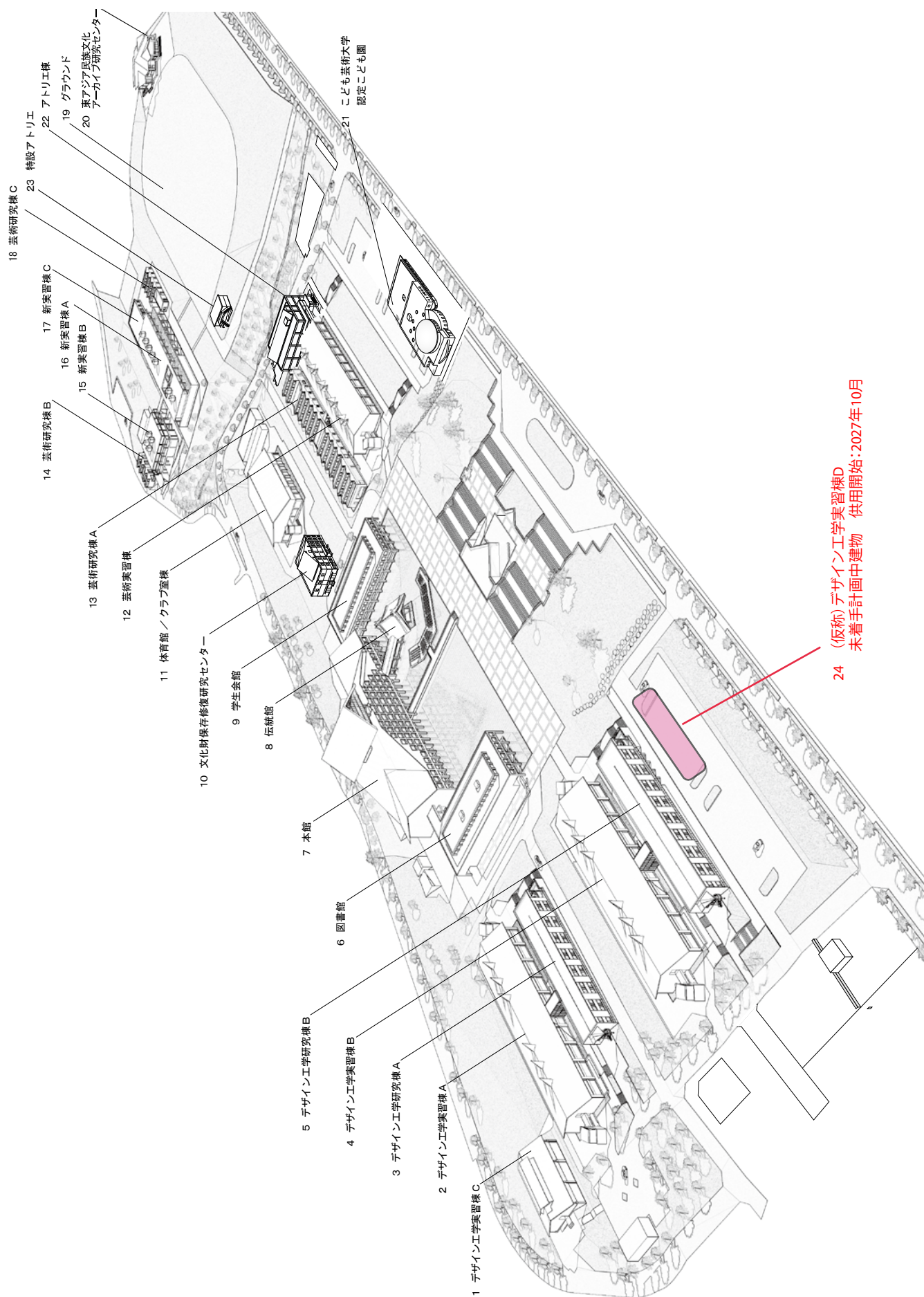
① 大学の山形県内での位置



② 最寄駅と校地の位置関係

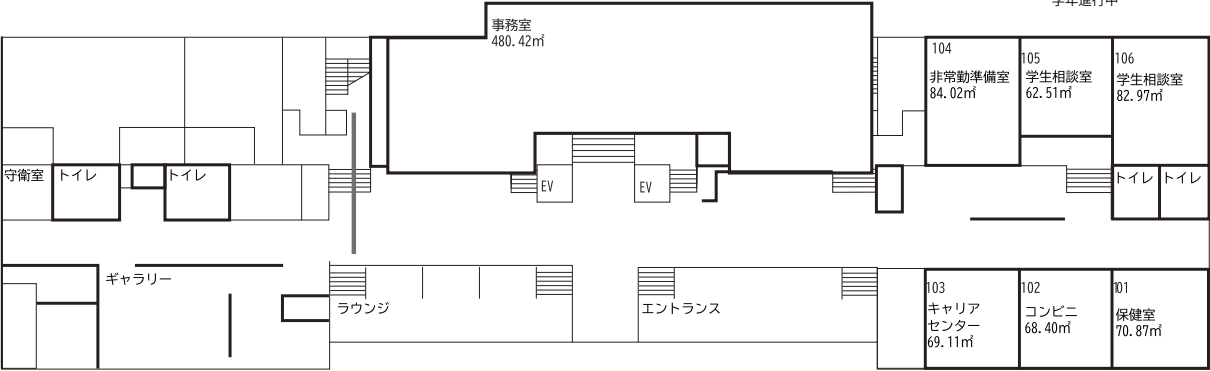


③ 校地と校舎の図面

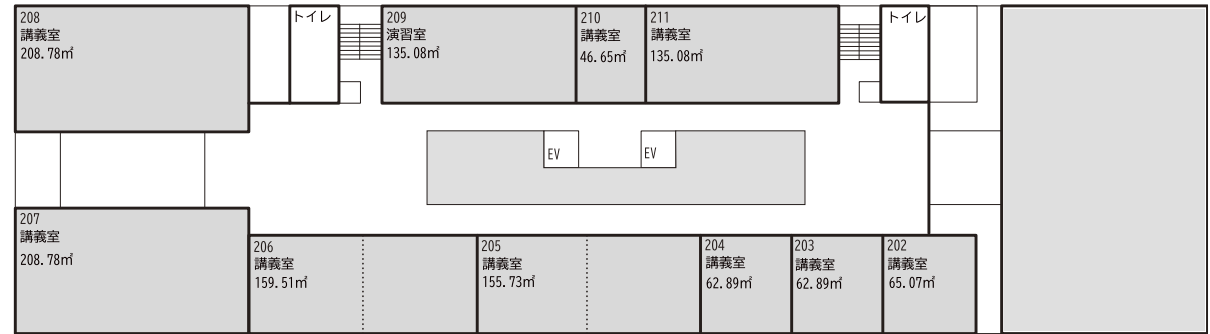


- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

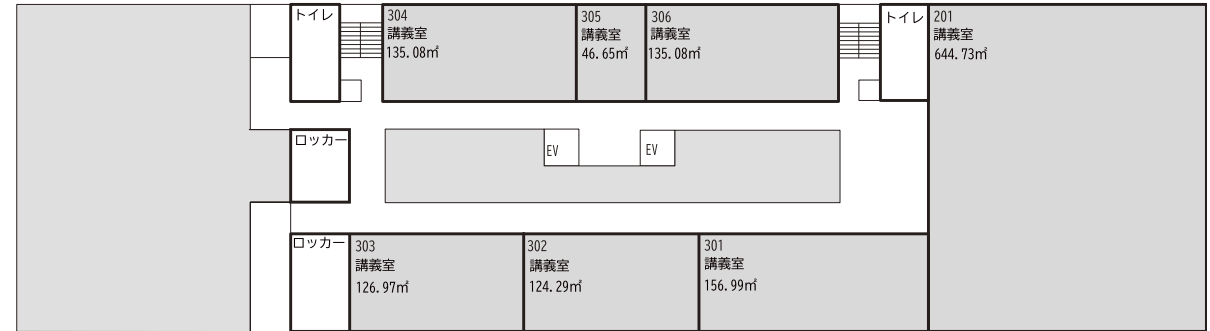
1F



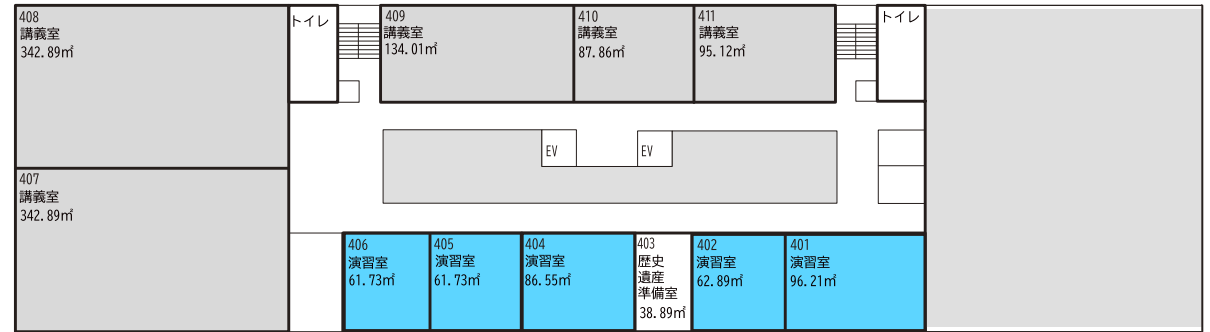
2F



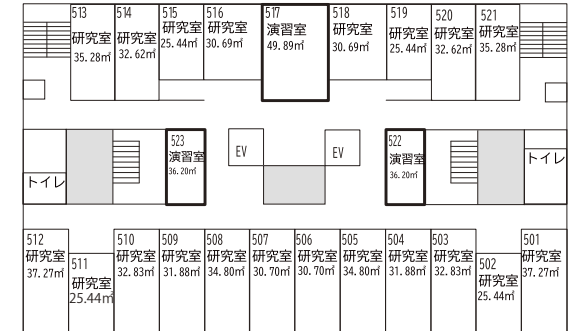
3F



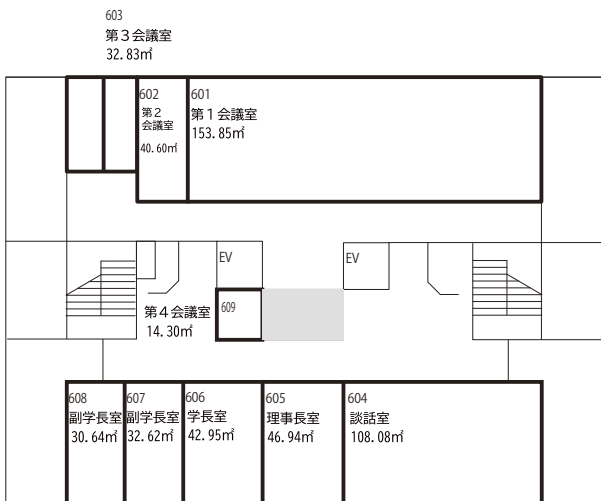
4F



5F

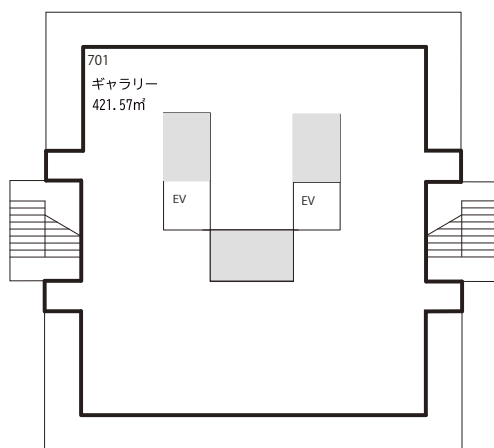


6F



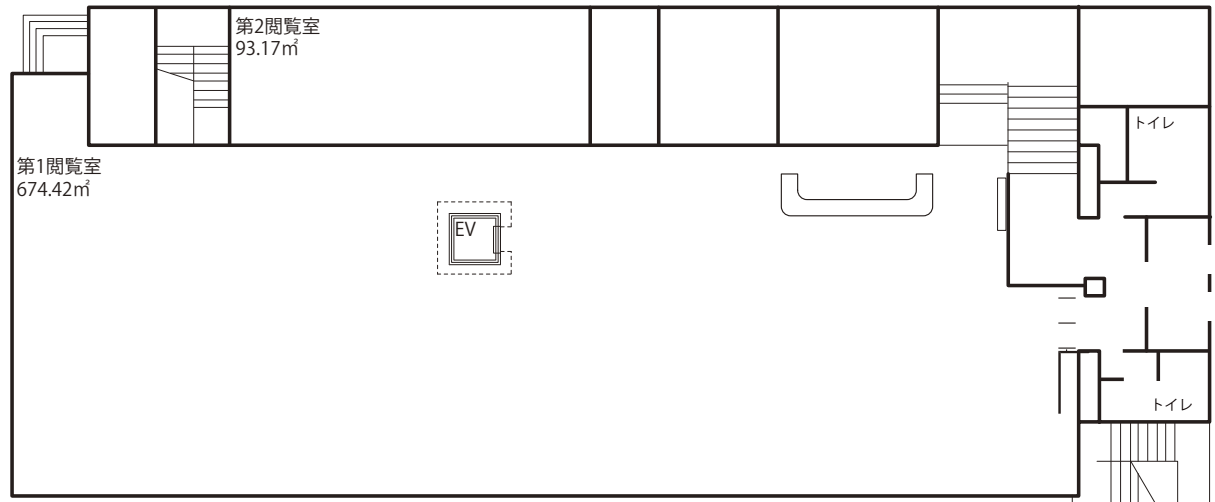
- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

7F

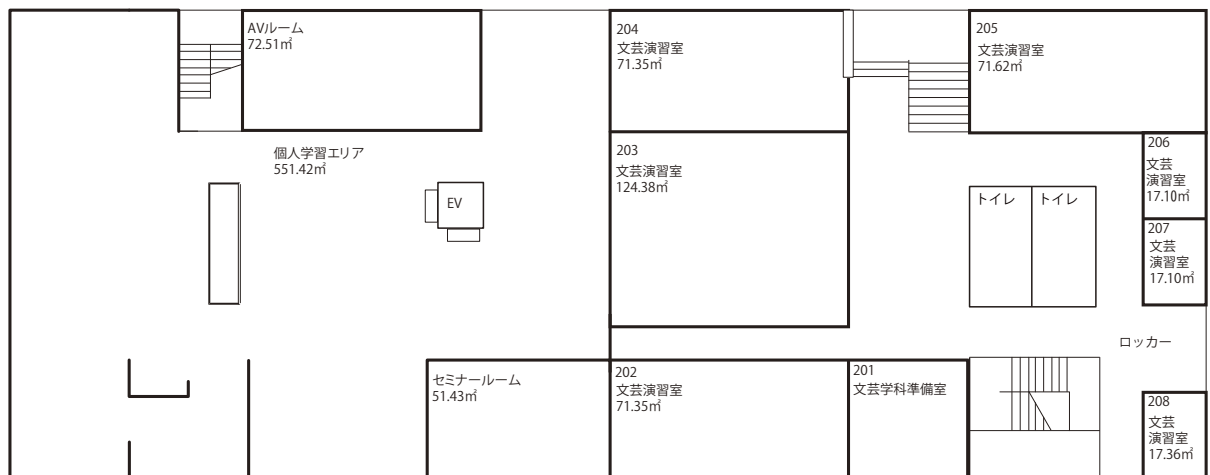


- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

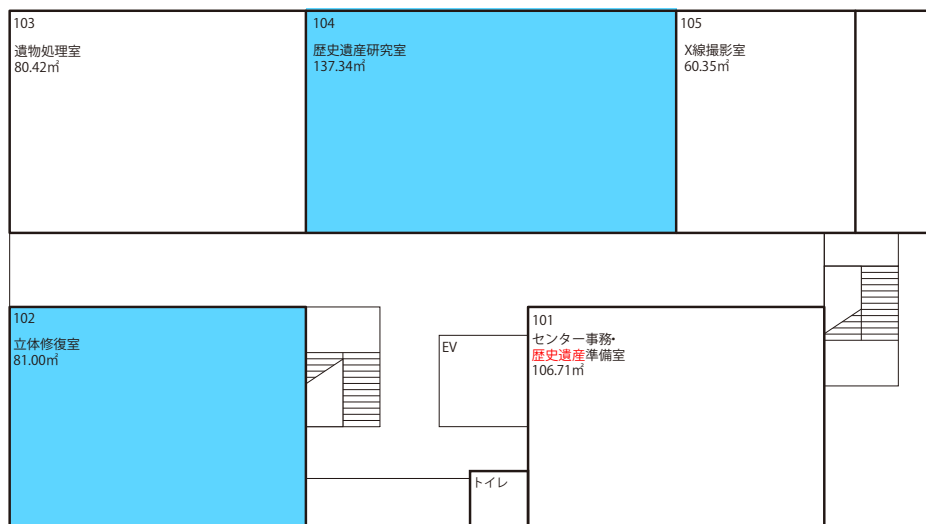
1F



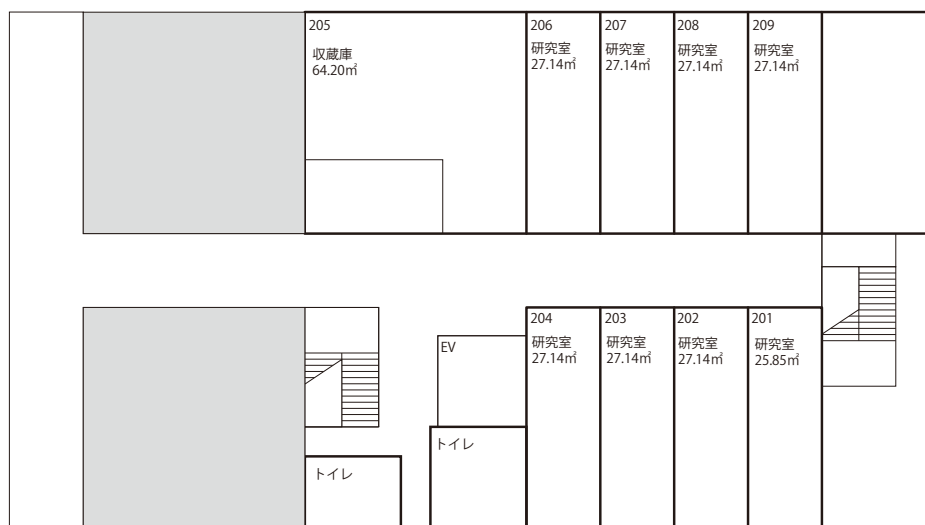
2F



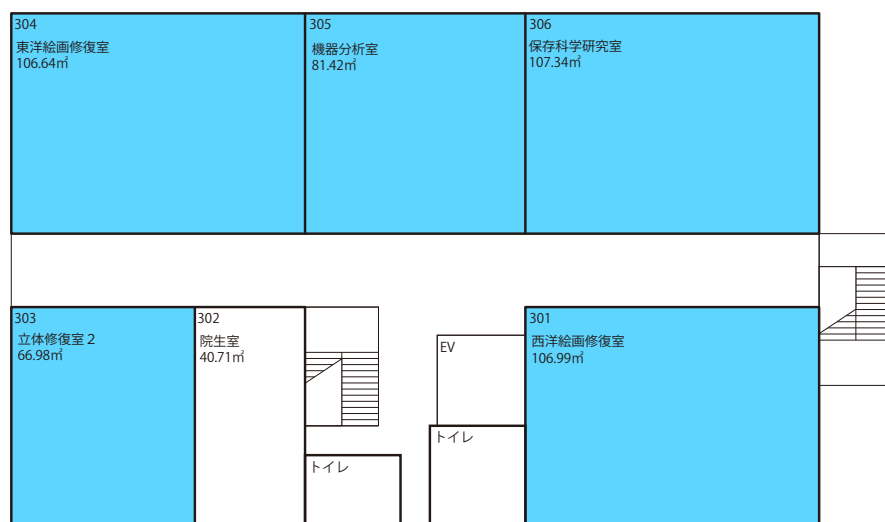
1F



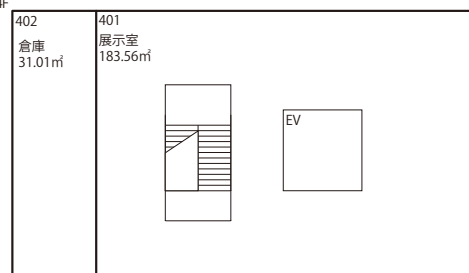
2F



3F



4F



- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

1F

120 共通デッサン室 212.68㎡	10 研究室 26.98㎡	111 研究室 26.98㎡	112 研究室 26.98㎡	113 研究室 26.98㎡	トイレ	トイレ	114 研究室 26.98㎡	115 研究室 26.98㎡	116 研究室 26.98㎡	117 研究室 26.98㎡	118 研究室 26.98㎡	119 演習室 174.63㎡
	109 研究室 26.98㎡	108 研究室 26.98㎡	107 研究室 26.98㎡	106 研究室 26.98㎡			105 研究室 26.98㎡	104 研究室 26.98㎡	103 研究室 26.98㎡	102 研究室 26.98㎡	101 研究室 26.98㎡	

芸術実習棟

1F

107 演習室G 71.90㎡	108 演習室H 70.39㎡	109 演習室I 140.78㎡	110 演習室J 70.39㎡	木工室 37.95㎡	トイレ トイレ トイレ	111 演習室K 105.58㎡	112 演習室L 70.39㎡	113 演習室M 147.93㎡
106 演習室F 141.22㎡	105 演習室E 105.58㎡	104 演習室D 105.12㎡				103 演習室C 140.31㎡	102 演習室B 70.39㎡	101 演習室A 147.18㎡

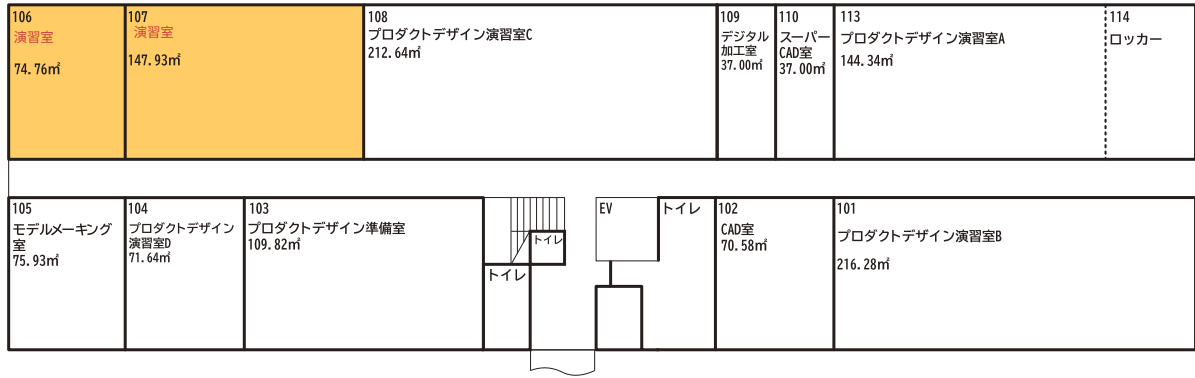
2F

207 演習室R 141.22㎡	208 演習室S 210.71㎡	トイレ トイレ	209 演習室T 232.55㎡	210 演習室U 143.32㎡	
206 演習室Q 141.22㎡	205 演習室P 175.97㎡	204 日本画 準備室 34.73㎡	203 34.73㎡	202 演習室O 175.97㎡	201 演習室N 143.32㎡

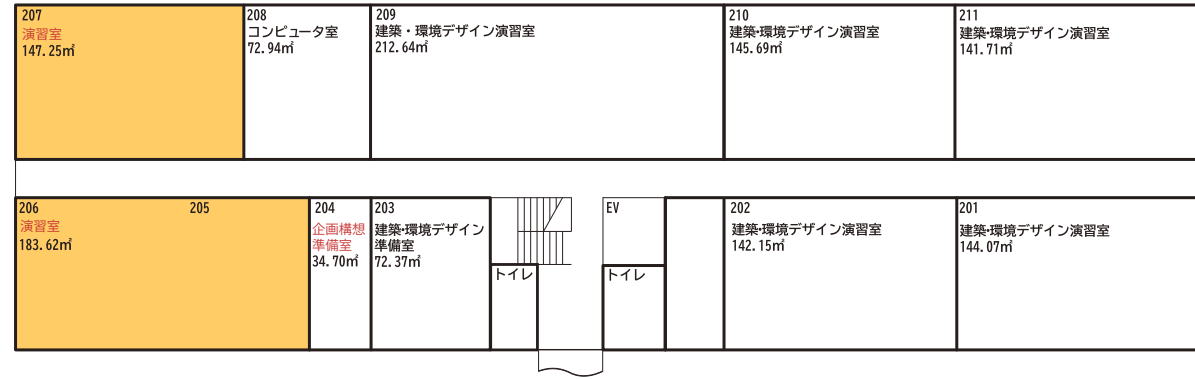
洋画・グラフィックアーツ準備室

- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

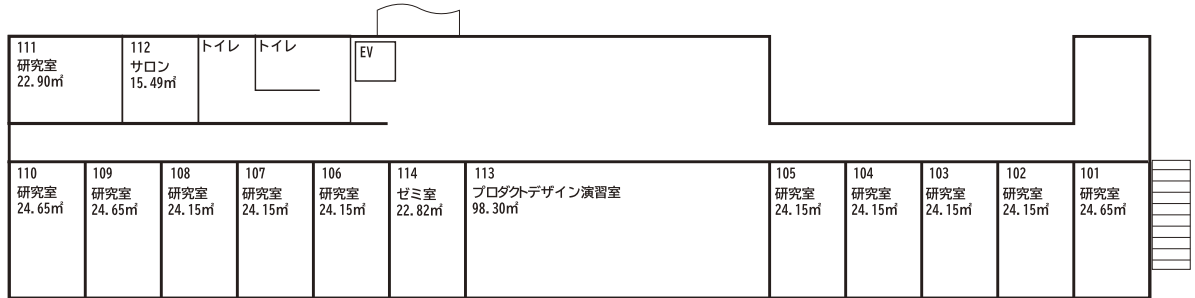
1F



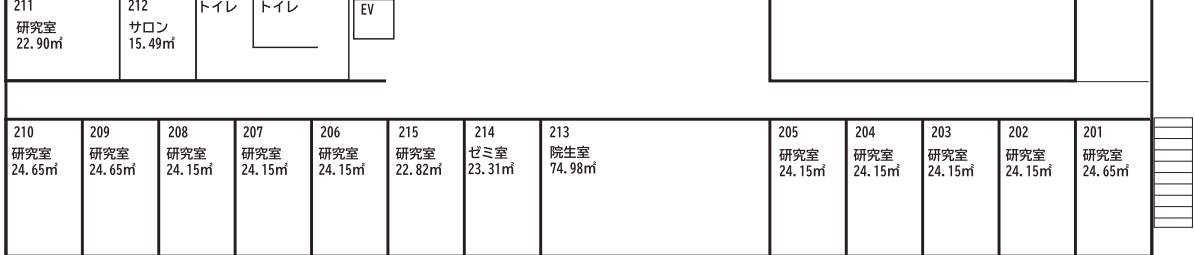
2F



1F



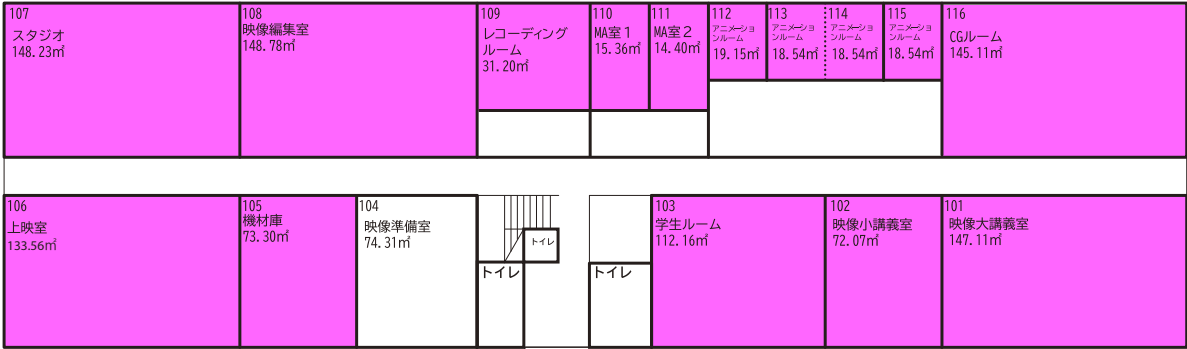
2F



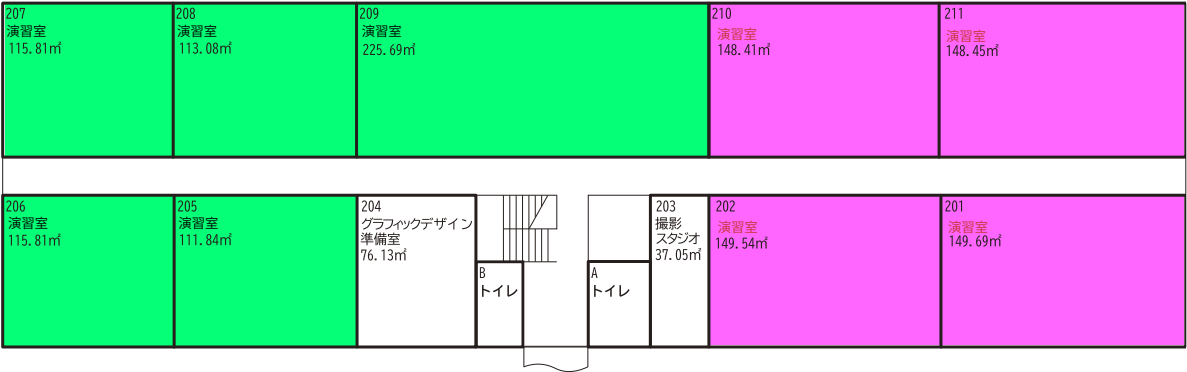
- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

1F

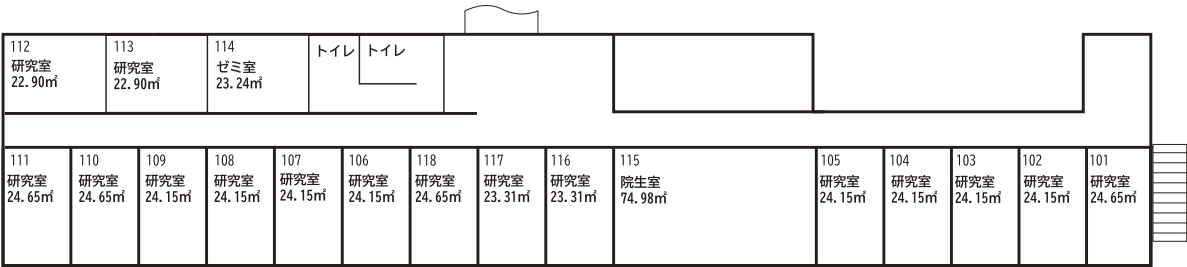
117
写真室



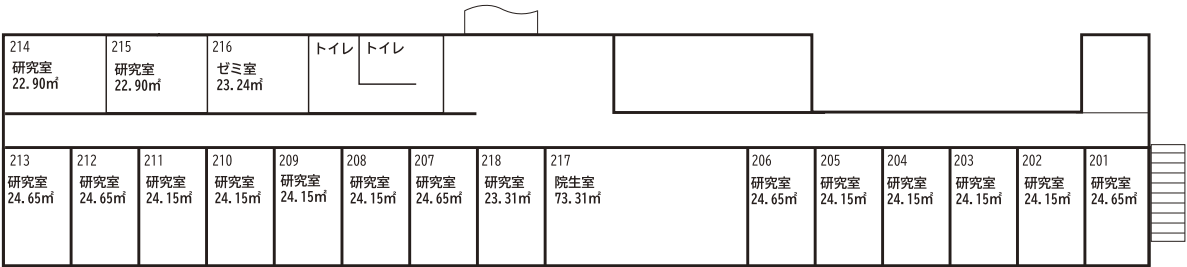
2F



1F

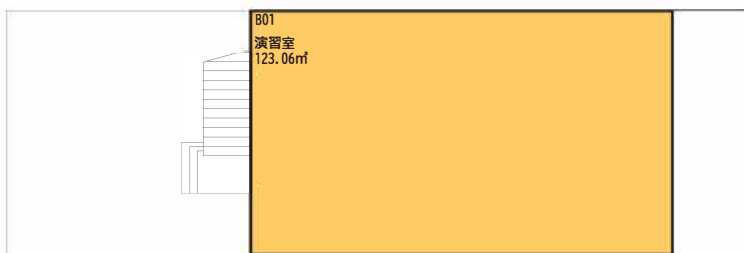


2F

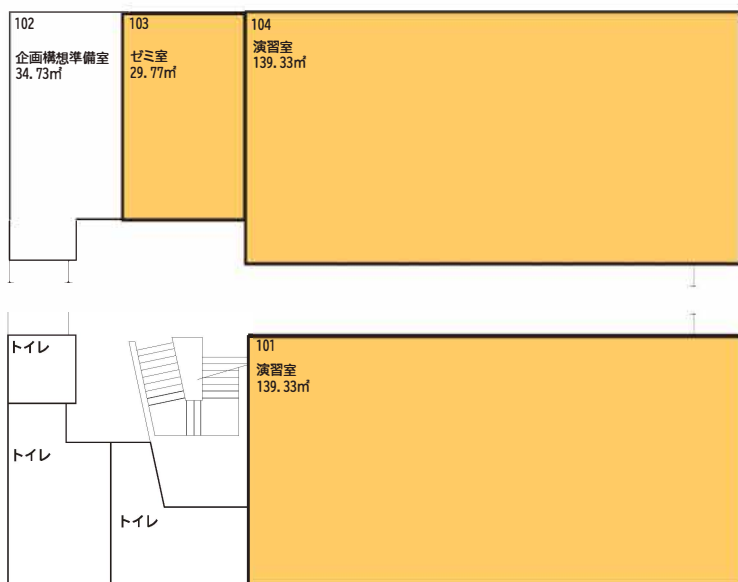


- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

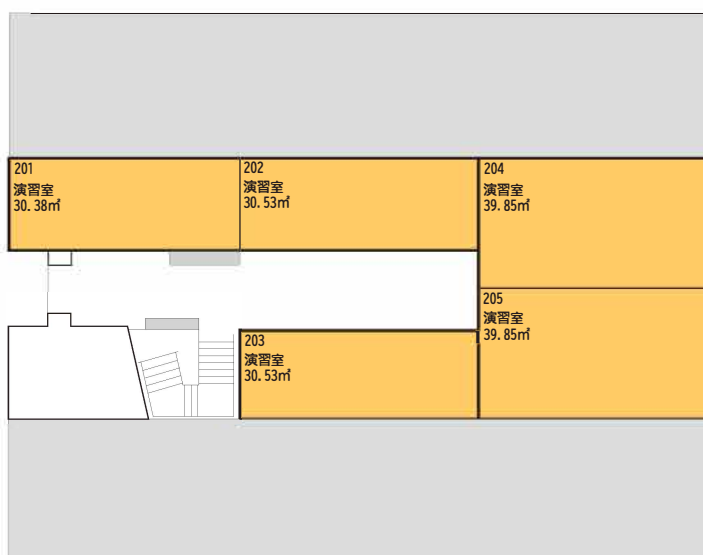
B1F



1F

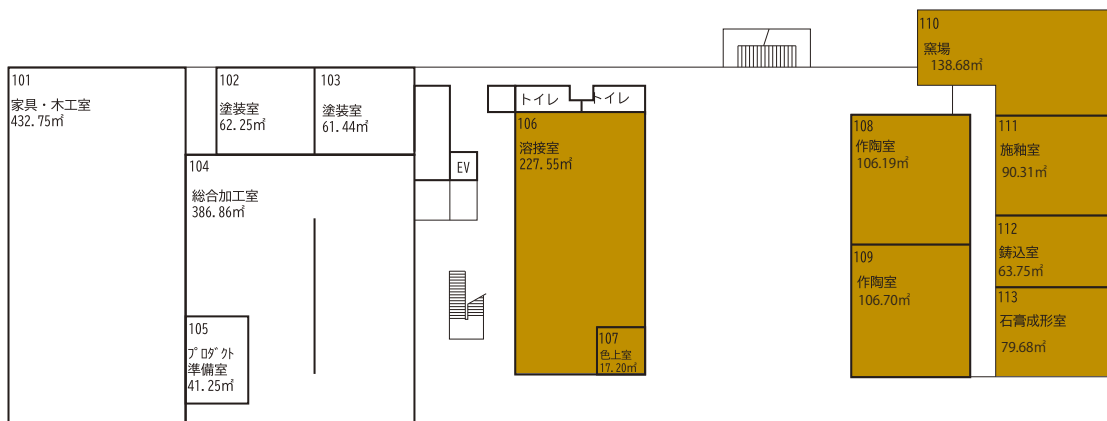


2F

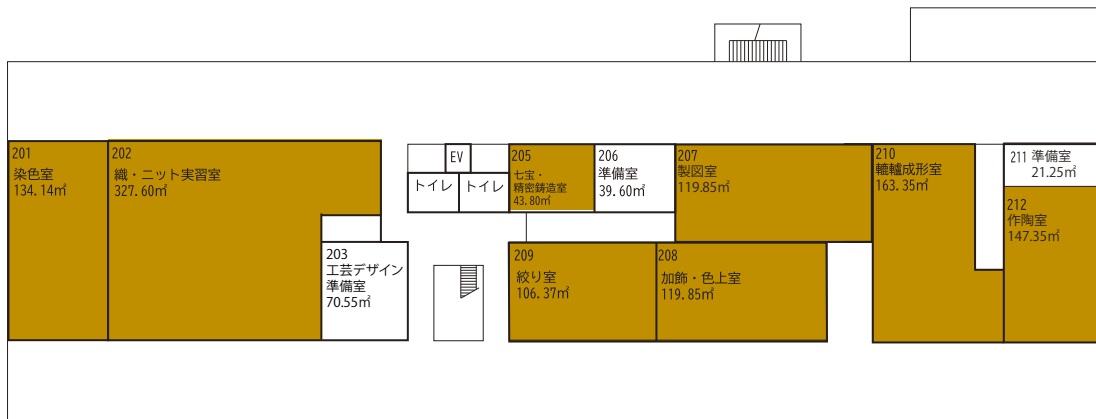


- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

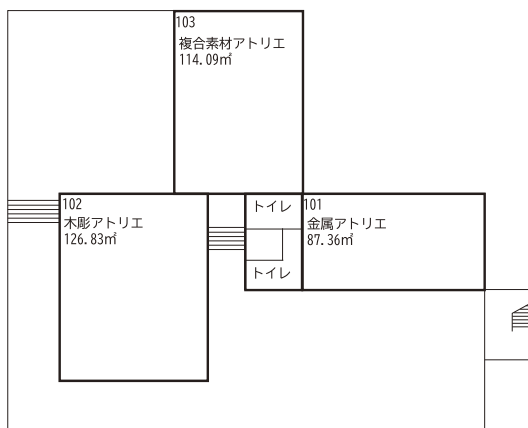
1F



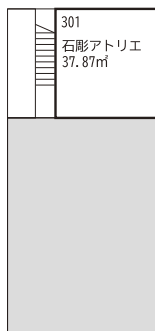
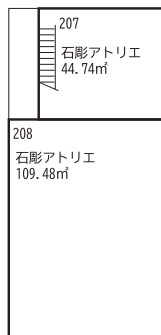
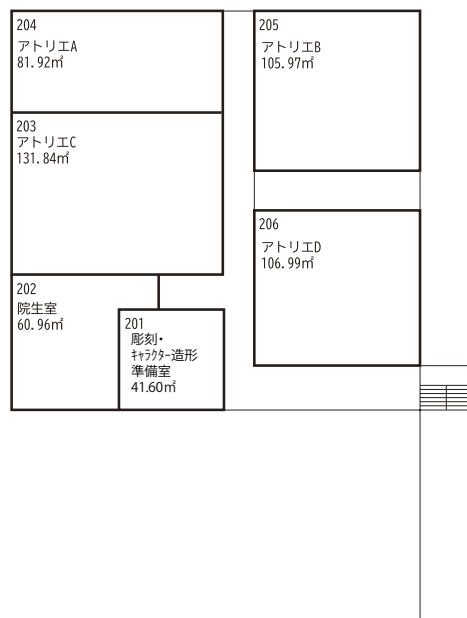
2F



B1F

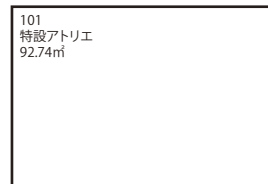


1F

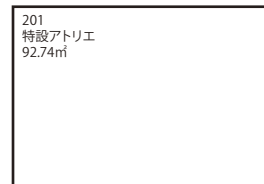


特設アトリエ

1F



2F



新実習棟 C

106 漆芸準備室 43.37㎡	トイレ	トイレ	107 木工室 71.89㎡	108 漆工芸教室 114.60㎡
105 工芸準備室 24.75㎡				
104 研究室 24.75㎡			103 演習室 71.89㎡	102 上塗室 22.50㎡
				101 加飾室 22.50㎡

- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
完成年次2026年度
学年進行中

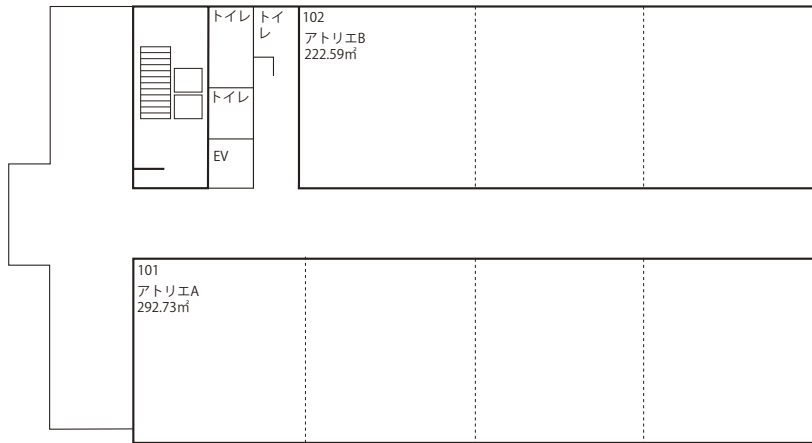
芸術研究棟 B

105 研究室 26.96㎡	104 院生室 17.92㎡	103 研究室 16.23㎡	トイレ	102 研究室 26.84㎡	101 研究室 26.84㎡

芸術研究棟 C

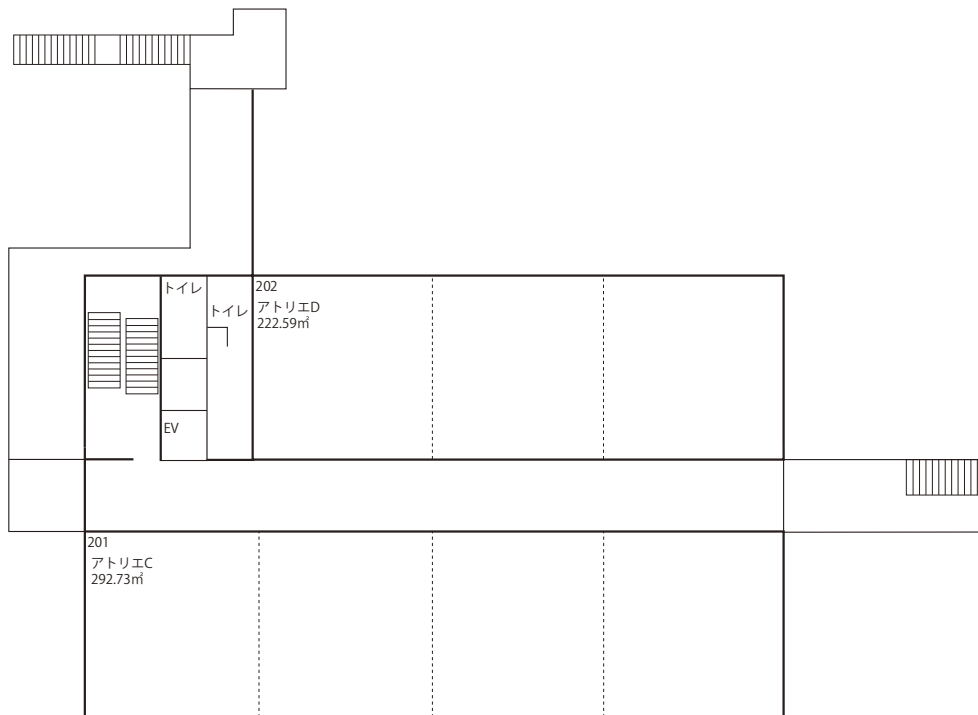
	104 研究室 26.54㎡	105 研究室 26.58㎡	106 研究室 26.58㎡	107 研究室 26.58㎡
	トイレ トイレ	103 研究室 26.58㎡	102 研究室 26.58㎡	101 研究室 26.58㎡

1F

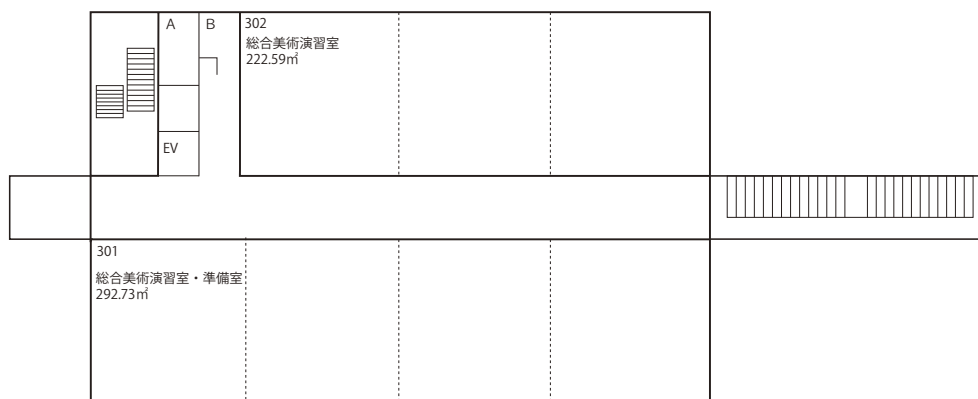


- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中

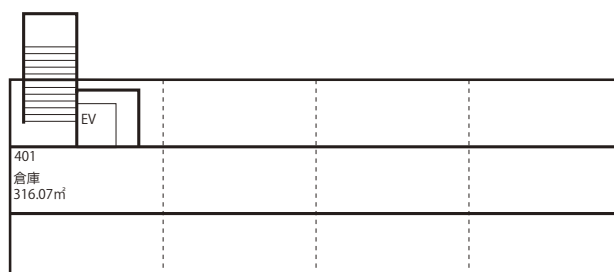
2F



3F

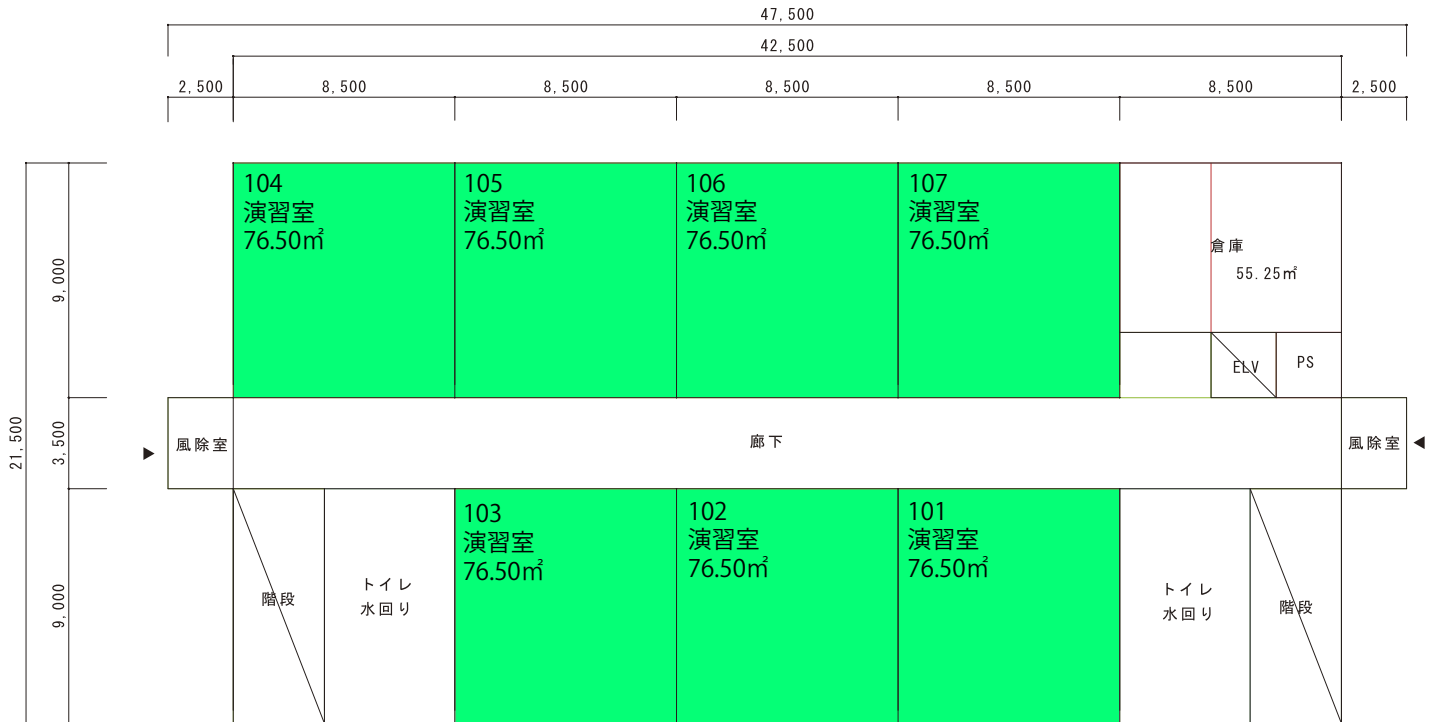


4F



(仮称) デザイン工学実習棟D (未着手計画中建物)
供用開始: 2027年10月

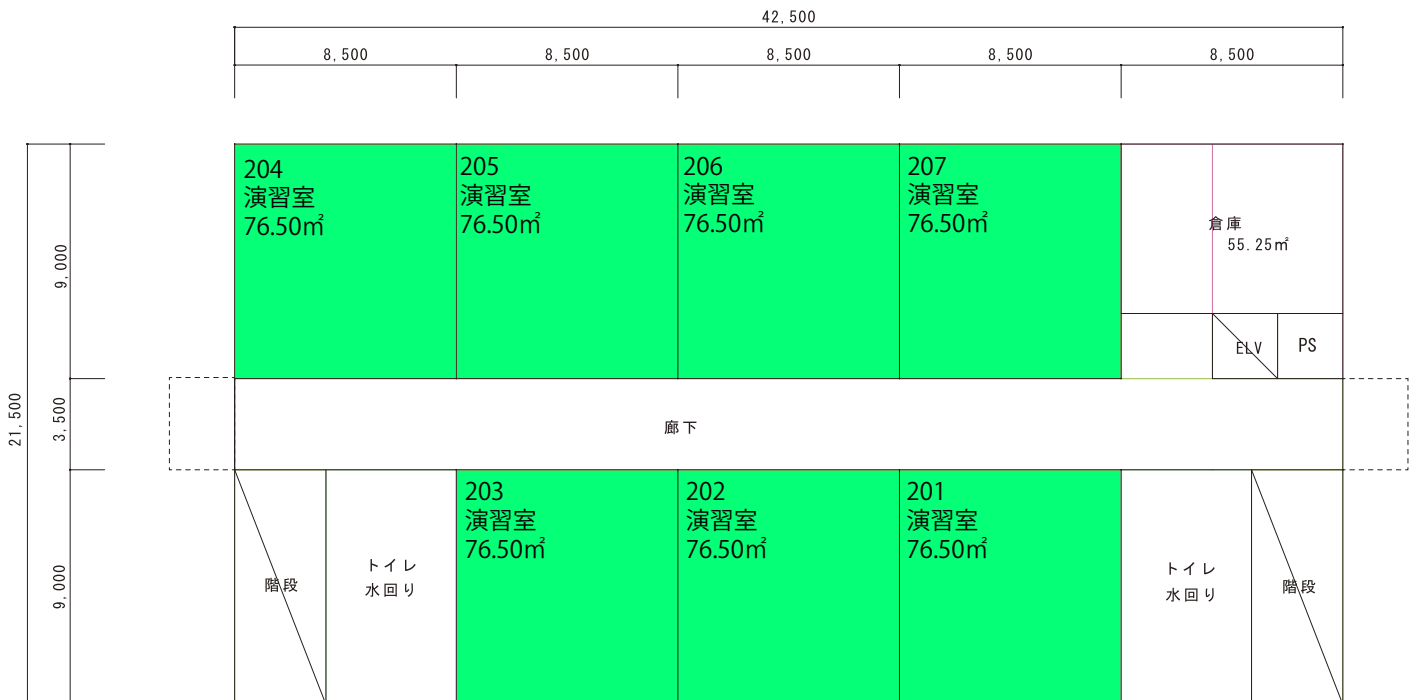
- 共有部分
- 歴史遺産学科
- グラフィックデザイン学科
- 映像学科
- 企画構想学科
- 工芸デザイン学科
- 完成年次2026年度
学年進行中



延べ床面積 : 1,845.00㎡ 建築面積 : 931.25㎡
(演習室・講義室床面積 : 1,071.00㎡)

1階床面積 : 931.25㎡
(演習室・講義室床面積 : 535.50㎡)

1階平面図



延床面積 : 1,845.00㎡ 建築面積 : 931.25㎡
(演習室・講義室床面積 : 1,071.00㎡)

2階床面積 : 913.75㎡
(演習室・講義室床面積 : 535.50㎡)

2階平面図

東北芸術工科大学学則

第1章 総則

第1節 目的等

〔目的〕

第1条 本学は、教育基本法に則り、学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く芸術学、デザイン工学に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて、「術」と「学」の一体化による「もの」を形作ることを喜びとする人材を育成し、学術文化の向上及び産業の振興に貢献することを目的とする。

〔自己点検等〕

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について点検及び評価を行う。これについては別に定める。

〔学部目的〕

第1条の3 本学学部の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- 1 芸術学部は、確かな造形哲学とそこから生まれる表現や文化的創造の時代や社会への関わりを観察する力、また個人の感性を育て、その観察力と感性によって他者との新たな接点を開拓し、芸術的創造によって社会に貢献できる人材の育成を目的とする。
- 2 デザイン工学部は、現代の人々の生活環境のあるべき姿を芸術の感性と工学の理性を融合する創造的思考によって考究し形作る人間の育成を教育の基本目的とし、創造的活動を通して社会に貢献する人材の育成を目的とする。

第2節 組織

〔学部及び学生定員〕

第2条 本学において設置する学部及び学科並びにその学生定員は、次のとおりとする。

芸術学部

歴史遺産学科 入学定員 51 人 総定員 204 人

美術科 入学定員 124 人 総定員 496 人

工芸デザイン学科 入学定員 45 人 総定員 180 人

文芸学科 入学定員 42 人 総定員 168 人

デザイン工学部

プロダクトデザイン学科 入学定員 62 人 総定員 248 人

建築・環境デザイン学科 入学定員 52 人 総定員 208 人

グラフィックデザイン学科 入学定員 90 人 総定員 360 人

映像学科 入学定員 90 人 総定員 360 人

企画構想学科 入学定員 80 人 総定員 320 人

〔大学院〕

第3条 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は別に定める。

〔図書館〕

第4条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関し必要な事項は別に定める。

第3節 教職員組織

〔教職員組織〕

第5条 本学に、学長、学部長、教授、准教授、講師、助教及び事務職員を置く。ただし、教育研究上の組織編制として適切と認め

られる場合には、准教授、講師、助教を置かないことができる。

2 前項のほか、副学長を置くことができる。

第4節 教授会

〔教授会〕

第6条 本学に、重要な事項を審議するため教授会を置く。

〔教授会の構成〕

第7条 教授会は、学長、教授、准教授、専任講師、助教その他学長が必要と認める者をもって組織する。

〔教授会の招集等〕

第8条 学長は、教授会を招集し、その議長となる。ただし、学長に事故あるときは、あらかじめ学長が指名した教授が議長となる。

2 学長は、教授会の構成員の3分の1以上から付議すべき事項を示し要求があった場合には、要求のあった日から10日以内に教授会を招集しなければならない。

〔教授会の開催〕

第9条 教授会は、構成員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。

〔審議事項〕

第10条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ意見を述べることができる。

〔運営細則への委任〕

第11条 その他教授会の運営に関し、必要とする事項については別に定める。

第5節 学年、学期及び休業日

〔学年〕

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

〔授業期間〕

第13条 学年中の授業期間は、35週にわたることを原則とする。

〔学期〕

第14条 学年は前期及び後期に分けて、各学期の期間は学年暦で別に定める。

2 前項に規定する各学期を2つの期間（以下「クォーター」という。）に分けることができる。

3 各クォーターの始期及び終期については、別に定める。

〔休業日〕

第15条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 春季、夏季、及び冬季の休業期間は学年暦で別に定める。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

〔修業年限〕

第16条 本学の修業年限は、4年とする。

〔在学年限〕

第 17 条 学年中の授業期間は、35 週にわたることを原則とする。学生は、8 年を超えて在学することはできない。ただし、第 24 条第 1 項の規定により入学した者は、同条第 3 項の規定により定められた在学すべき年数の 2 倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 留学期間は、在学期間に算入する。

第 2 節 入学、再入学、編入学、転入学

〔入学の時期〕

第 18 条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、編入学、転入学及び再入学の場合は、10 月とすることがある。

〔入学資格〕

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧課程による大学入学資格検定に合格したものを含む）

(7) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

〔入学志願の手続〕

第 20 条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類等に所定の入学検定料を添えて、本学が指定する期日までに、学長に提出しなければならない。

〔入学志願者の選考〕

第 21 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

〔入学手続及び入学許可〕

第 22 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、本学の指定する期日までに、誓約書、身元保証書の提出その他所定の手続きを行わなければならない。

2 学長は、前項の入学の手続きを完了した者に入学を許可する。

〔保証人〕

第 23 条 前条に規定する身元保証書の保証人は、入学を許可された者に関し一切の責任を負うことのできる保護者でなければならない。

2 保証人を変更したとき、又は保証人が転居したときは直ちに届出なければならない。

〔再入学〕

第 24 条 第 45 条の規定により本学を退学した者又は第 46 条の規定（第 1 号を除く）による除籍者が再入学を希望するときは、選考の上入学を許可することがある。

2 前項の規定による入学は、退学又は除籍時の所属学科等への入学のみとする。

3 再入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数及び学年については、教授会の議を経て学長が決定する。なお、在学すべき年数は、退学又は除籍前の在学年数を算入して、第 17 条で規定する 8 年を超えることはできない。

4 再入学の場合の入学検定料及びその他必要な手続きは、別に定める。

〔編入学、転入学〕

第 25 条 次の各号のいずれかに該当する者で、本学に編入学又は転入学を希望するものがあるときは、欠員のある場合に限り選考のうえ入学を許可することがある。

- (1) 学士の称号を有する者
- (2) 他の大学に在学中の者又は在学したことのある者
- (3) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は教員養成学部 2 年制課程を修了した者
- (4) 修業年限が 2 年以上でかつその他文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者。
- (5) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令 11 号）第 92 条の 3 に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又は卒業した者。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

3 編入学、転入学の場合の入学検定料及びその他の必要な手続きは、別に定める。

（転学部転学科）

第 26 条 本学学生が入学した他の学部学科に転学部転学科を希望するときは、選考の上これを許可することがある。

第 3 節 教育課程及び履修方法

〔授業科目〕

第 27 条 開設する授業科目及びその単位数は別表 1 のとおりとする（別表第 1 省略）。

2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技又はこれらの併用により行うものとする。

3 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

4 第 2 項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

5 第 2 項の授業の一部を、本学の教室等以外の場所で行うことができる。

6 各授業科目の授業は、14 週にわたる期間を単位として行う。ただし、必要と認められる場合は、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

7 前 6 項に定めるもののほか、授業の方法に関し必要な事項は、別に定める。

〔教育職員免許取得及び学芸員資格取得のために必要な授業科目〕

第 28 条 前条に定めるもののほか、教育職員免許及び学芸員資格の取得のために必要な授業科目、単位数及び履修方法は、別表第 2 及び第 2 の 2 のとおりとする。

〔履修の方法〕

第 29 条 本学において開設する授業科目の履修の方法については、本学則に定めるもののほか、別に定める。

〔履修の上限〕

第 30 条 学生が各学年にわたり適切に授業科目を履修するため、卒業要件として学生が履修すべき単位数について、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めることができる。

2 履修登録単位数の上限については、別に定める。

〔履修すべき科目の登録〕

第 31 条 学生は、毎学年の各期の当初に、当該学期において履修すべき授業科目を登録しなければならない。

2 学生は、前項により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を取得することはできない。

〔単位取得の認定〕

第 32 条 授業科目を履修した者に対しては、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

〔入学前の既修得単位の認定〕

第 33 条 学生の入学前の次の各号の学修について教育上有益と認めるときは、本学の授業科目の履修において修得した単位として認定することができる。

- (1) 大学又は短期大学における学修
- (2) 高等専門学校の専攻科における学修
- (3) 文部科学大臣が別に定める学修
- (4) 外国の大学又は短期大学における学修

2 前項において認定の対象となる授業科目は、前項各号で修得したすべての授業科目とする。

3 前2項により認定することができる単位数は、編入学及び転入学等の場合を除き合わせて60単位を超えないものとする。

〔他大学における単位修得認定〕

第34条 本学との協定による他の大学又は短期大学において、特定の授業科目を履修しようとする者は、許可を得なければならない。

2 前項の規定により修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学の単位として認定することができる。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

4 学生が休学期間中に第2項の規定により修得した単位を、本学の単位として認定することができる。

〔試験の時期〕

第35条 試験の時期は、学年末又は学期末、クォーター末とする。ただし、必要があると認めるときは、その他の時期においても行うことができる。

〔学習の評価〕

第36条 試験等の評価は、A、B、C、D、Fをもって表示し、D以上を合格とする。合否判定科目については、PまたはFをもって表示し、Pを合格とする。

2 成績評価の判定基準等については、別に定める。

〔単位の計算方法〕

第37条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。

2 各授業科目においては、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

3 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、それぞれ4から8単位とする。

〔卒業に必要な単位〕

第38条 各学科の卒業に必要な単位は、124単位とする。

〔教育職員の免許状〕

第39条 教育職員の免許状を受けようとする者は、教育職員免許取得のために必要な単位を修得しなければならない。

2 教育職員の免許状を受けようとする者の学部及び学科は、別表第2の3のとおりとする（別表第2省略）。

〔学芸員の資格〕

第40条 学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員資格取得のために必要な単位を修得しなければならない。

2 学芸員の資格を取得しようとする者の学部及び学科は、別表第2の4のとおりとする（別表第2省略）。

第4節 休学、転学、留学、退学及び除籍

〔休学〕

第41条 疾病その他やむを得ない事情により修学することのできない者は、保証人連署のうえ、学長に休学を願い出、その許可を得なければならない。

2 前項の休学のうち疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

3 学長は、第1項の規定にかかわらず、修学が不適当と認められる者に対し、休学を命ずることができる。

4 1回の休学期間は、6か月間又は1年間とし、開始時期は、前期または後期の始めとする。ただし、原則として入学後最初の学期は休学することができない。

5 休学の期間は1年を超えることはできない。ただし、特別の理由があると認められた者にあつては引き続きさらに1年まで延

長することができる。

6 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

7 休学の期間は在学年数に通算しない。

〔復学〕

第42条 休学期間満了のとき又は休学期間であってもその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

2 学期内の復学の期間は、在学年数に通算しない。

3 修業年限を超過して在籍している学生が、休学期間中に本学との協定による他の大学又は短期大学において修得した単位を、本学の単位として認定され卒業要件を満たした場合は、単位認定時の月末をもって休学事由が消滅したものとみなす。

〔転学〕

第43条 他の大学に転学を希望する者は、保証人の署名捺印のうえ、学長に願い出、その許可を得なければならない。

〔留学〕

第44条 本学との協定又は教授会の認定による外国の大学又は短期大学に留学しようとする者は、学長に願い出、その許可を得なければならない。

〔退学〕

第45条 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人の署名捺印のうえ、学長に願い出、その許可を得なければならない。

2 学長は、所定の成績評価を得られない者又は著しく学業を怠り成業の見込みがないと認められる者に対し、退学を勧告することができる。

〔除籍〕

第46条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 第17条に規定する在学年数を超えた者
- (2) 病気その他の理由で成業の見込みがない者
- (3) 催告を受けたにもかかわらず授業料を納入しない者
- (4) 正当な理由なく履修登録をしない者

第5節 卒業及び学位授与

〔卒業〕

第47条 第38条に定める単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 第1項の規定による卒業に必要な単位数のうち、第27条第3項及び第4項並びに第5項に規定する授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えないものとする。

〔学位授与〕

第48条 本学は、卒業した者に学士の学位を授与する。

2 本学において授与する学位の名称は次のとおりとする。

学部	学位
芸術学部	学士（芸術）
デザイン工学部	学士（デザイン工学）

第6節 賞罰

〔表彰〕

第49条 学生として表彰すべき行為があったときは、学長は、教授会の議を経てその者を表彰する。

〔罰則〕

第50条 本学の学則に違反し、又は本学の学生としてあるまじき行為があったときは、学長は教授会の議を経てその者を懲戒する。

2 前項の懲戒は退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由なくして出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第7節 福利厚生施設

〔福利厚生施設〕

第51条 本学に、福利厚生のための施設を置くことができる。

2 前項の施設に関し必要な事項は別に定める。

第8節 研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

〔研究生〕

第52条 本学に研究生を置くことができる。

2 研究生について必要な事項は、別に定める。

〔科目等履修生〕

第53条 本学において開設する授業科目のうち、1科目または数科目を選んで受講を希望するものがあるときは、当該科目の授業に支障がない限りにおいて、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生で当該科目の試験に合格した者には単位が与えられ、希望者には当該科目の科目修得証明書を交付する。

3 科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

〔聴講生〕

第54条 本学において開設する授業科目のうち、1科目または数科目を選んで聴講を希望するものがあるときは、当該科目の授業に支障がない限りにおいて、選考のうえ聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生について必要な事項は、別に定める。

〔外国人留学生〕

第55条 外国人で本学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を希望する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可する。

2 外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

第9節 入学検定料、入学金、授業料

〔入学検定料、入学金、授業料〕

第56条 入学検定料、入学金及び授業料の額は、別表第3のとおりとする（別表第3省略）。

2 本学において対象と認めた者について、検定料の一部を減免することができる。

3 入学金は、第22条第1項に規定する合格通知に際し指定する期日までに納付しなければならない。

4 授業料は、毎年これを前期、後期の2回に分けて次の期間に納入しなければならない。

前期 4月1日から4月20日まで

後期 9月1日から9月20日まで

〔入学金又は授業料の免除、徴収の猶予又は分納〕

第57条 本学において特別の事情があると認めた者については、入学金又は授業料の全部又は一部を免除し、徴収を猶予し、又は分納を許可することがある。

〔退学時等の場合の授業料〕

第58条 退学した者、転学した者又は除籍された者は、当該期の授業料を全額納入しなければならない。

2 協定大学への留学又は停学の場合は、その期間中の授業料は納付しなければならない。

〔休学の場合の授業料の取扱い〕

第59条 休学した者の休学期間中の授業料は全額免除する。但し、当該休学期間中は、本来納入すべき授業料の1/5を在籍料として

納入しなければならない。

〔入学検定料、入学金及び授業料の不還付〕

第60条 既納の入学検定料、入学金及び授業料は、前条に定める場合を除き、還付しない。

第10節 公開講座

〔公開講座の開設〕

第61条 本学において必要があると認められるときは、公開講座を設けることがある。

2 公開講座に関し必要事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年10月13日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成7年9月28日から施行し、平成8年4月1日から適用する。

2 改正後の別表第3の規定にかかわらず、平成7年度以前の入学者にかかる授業料は、次の表の通りとする（別表省略）。

附 則

1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

2 平成4年4月1日の入学者のうち、卒業研究又は卒業制作の授業科目を平成7年度に履修した者については、改正後の学則の第25条、第34条及び第35条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 平成4年4月1日の入学者のうち第2項以外の者及び平成5年4月1日から平成7年4月1日までの入学者（以下、「平成7年度以前の入学者」という。）が、平成8年3月31日まで修得した単位は、別に定めるところにより改正後の学則において修得した単位とする。

4 平成7年度以前の入学者については、改正後の学則の第25条、第34条及び第35条の規定にかかわらず、第25条の履修方法及び第35条については第1表に、第25条の単位数及び第34条については従前の例によるものとする。

5 平成4年4月1日から平成7年4月1日までの入学者（以下、「平成7年度以前の全入学者」という。）が教育職員免許状取得及び学芸員資格取得のために平成8年3月31日までに修得した単位（以下、「平成7年度以前の教職等単位」という。）は、改正後の学則において修得した単位とし、授業科目名、単位数及び科目区分は平成7年度以前の教職等単位と同じものとする。また、平成7年度以前の全入学者の単位数及び履修方法については、改正後の学則の第26条の規定にかかわらず、従前の例による。

6 平成7年度以前の全入学者の経過措置については、この附則に定めるもののほか、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

（別表第1の経過措置）

2 この学則による改正後の別表第1は、平成9年4月1日以降の入学生から適用し、平成8年4月1日以前の入学生については従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の別表第1芸術学科授業科目の博物館資料論、博物館概論及び博物館学各論並びに教養科目については、平成8年4月1日以前の入学生にも適用する。ただし、博物館概論は博物館学Ⅰの、博物館学各論は博物館学Ⅱの単位を修得した者については、この限りではない。

（別表第2の2の経過措置）

4 この学則の施行の日前に、改正前の別表第2学芸員資格取得のために必要な授業科目、単位数及び履修方法の博物館に関する科目

の項に掲げる科目（以下「旧科目」という。）の単位の全部を修得した者は、改正後の別表第2の2博物館に関する科目の項に掲げる科目（以下「新科目」という。）の単位の全部を修得したものとみなす。

5 この学則の施行の日前に、次の表の左欄に掲げる旧科目を修得した者は、右欄に掲げる新科目を修得したものとみなす（別表省略）。

6 この学則の施行の日前に、この学則による改正前の別表第2学芸員資格取得のために必要な授業科目、単位数及び履修方法において修得した油彩画修復概論の単位は、改正後の別表第2の2において修得した関連科目の単位とみなす。

（平成4年4月入学者の履修方法の経過措置）

7 平成4年4月1日入学者のうち、卒業研究又は卒業制作の授業科目を平成7年度に履修した者については、改正後の学則の第25条、第34条及び第35条の規定にかかわらず、第25条の履修方法及び第35条については第1表により、第25条の単位及び第34条については従前の例によるものとする。

附 則

1 この学則は、平成9年9月30日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

2 改正後の別表第3の規定にかかわらず、平成9年度以前の入学者にかかる授業料は、次の表の通りとする（別表省略）。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 平成7年度以前の芸術学科の入学者については、改正後の学則の別表第1の規定にかかわらず、従前の例による。

3 平成8年4月1日から平成10年4月1日までの芸術学科の入学者が、平成10年3月31日までに修得した単位は、別に定めるところにより改正後の学則において修得した単位とする。

4 平成10年度以前の全入学者の経過措置については、この附則に定めるもののほか、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 学則第26条別表第2に定める教育職員免許取得のための履修方法等は、平成11年4月1日からの入学者に適用することとし、適用日前の入学者に対しては従前の規定によることとする。

附 則

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

2 平成11年度以前の全入学者の経過措置については、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。但し、平成12年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、改正前の学則（以下「旧学則」という。）別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則（以下「新学則」という。）別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。但し、平成13年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、改正前の学則（以下「旧学則」という。）別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則（以下「新学則」という。）別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。但し、平成14年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、改正前の学則（以下「旧学則」という。）別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則（以下「新

学則」という。)別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。但し、平成15年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正前の学則(以下「旧学則」という。)別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則(以下「新学則」という。)別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。但し、平成16年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正前の学則(以下「旧学則」という。)別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則(以下「新学則」という。)別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。
- 3 改正後の別表第3の規定にかかわらず、平成16年度以前の入学者にかかる授業料は、次の表の通りとする(別表省略)。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。但し、平成17年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。
- 2 この学則施行の際、デザイン工学部生産デザイン学科及び環境デザイン学科は、平成18年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、改正前の学則(以下「旧学則」という。)別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則(以下「新学則」という。)別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。但し、平成20年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。
- 2 この学則施行の際、デザイン工学部情報デザイン学科及びメディア・コンテンツデザイン学科は、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、改正前の学則(以下「旧学則」という。)別表に規定する授業科目の内容が改正後の学則(以下「新学則」という。)別表に規定する授業科目の内容と同一のとき、又はそれに代わるものと認められるとき、その他相当の理由があると認められるときは、新学則別表に規定する授業科目の履修により、旧学則別表に規定する授業科目の履修とみなす。この場合における授業科目の履修方法については、学長が別に定める。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。但し、第25条、第34条、及び第35条に関しては、平成20年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附 則

平成22年6月23日から施行する。第54条別表第3に関しては、平成22年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。第54条別表3に関しては、平成24年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。第54条別表3に関しては、平成25年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。第54条別表3に関しては、平成27年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和2年1月1日から施行する。

附則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和4年4月20日から施行する。

附則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。但し、令和6年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

附則

1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。但し、令和7年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。

2 この学則施行の際、文化財保存修復学科及びコミュニティデザイン学科は、令和8年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分			科目名	単位	
全学共通科目※1	理念科目			芸術平和学	2
	自然・社会と芸術	社会系	選択必修	美術史	2
				デザイン史	2
				色彩学	2
				芸術と心理	2
				社会と政治	2
				倫理と哲学	2
				グローバル社会論	2
				知的所有権	2
		日本国憲法	2		
		自然系	選択必修	科学技術と未来	2
				地球環境論	2
				生物と自然	2
				環境と心理	2
				健康科学論	2
				生活の中の経済学	2
				アート・デザインのための数理	2
	実践統計学			2	
	地域社会と環境	2			
	地域の文脈	選択必修	東北文化論	2	
			文化遺産マネジメント論	2	
			まちづくり論	2	
			サステイナブルコミュニティ	2	
			クリエイティブ経済論	2	
			地域ブランド論	2	
			地域ツーリズム論	2	
			都市空間デザイン	2	
	言語と表現	日本語	必修	日本語表現（初級）	2
				日本語表現（中級）	2
				日本語表現（上級）	2
		英語	必修	初級英語	2
				中級英語	2
				上級英語	2
		修必生学留		日本語1	2
				日本語2	2
		選択必修	実践英語（TOEIC）	1	
			実践英語（English Academic Skill）	1	
			実践英語（Speaking/Writing）	1	
			実践英語（Listening/Reading）	1	
	外国語特別講座		2		
	体育運動学演習		1		
	デッサン入門		1		
	社会リテラシー	汎用力基礎	必修	想像力基礎ゼミナール	2
				コンピュータ基礎演習	2
			選択必修	デジタル表現演習	1
				デザイン思考	1
				情報リテラシー	1
				セルフプロデュース演習	1
				地域プロジェクト演習A	1
				地域プロジェクト演習B	1
地域プロジェクト演習C		1			
地域プロジェクト演習D		1			
ス・ビジネス		選択	クリエイターのための経営学	2	
			起業会計の基礎	1	
		実践PCスキル	1		
キャリアデザイン	必修		キャリア形成論	2	
	選択必修	仕事講座A	1		
		仕事講座B	1		
		公務員講座	1		
		公務員教養	1		
		インターンシップA	1		
		インターンシップB	1		
		キャリア設計論1	1		
		キャリア設計論2	1		
		自己表現講座	1		
文化財保存分野	復保文 分存化 野修財	文化財保護法	2		
		文化財保存修復入門	2		
		保存科学概論	2		
		古典彫刻論	2		
	歴史遺産	歴史遺産学総論	2		
		日本史概論	2		
		東洋史概論	2		
		西洋史概論	2		
		考古学概論	2		
		民俗・人類学概論	2		

(授業科目)

第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。

(別表第1)

履修区分		科目名	単位
全学共通専門科目※2	分野	地理学概論	2
		世界遺産総論	2
		社会文化環境論	2
		アジア文化論	2
	美術分野	日本美術史	2
		西洋美術史	2
		東洋美術史	2
		現代美術史	2
		美学	2
		版画史	2
		工芸史	2
		工芸論	2
		衣服論	2
		染色論	2
		先端的コンテンツとアートシーン	2
	文芸分野	文芸論3	2
		文芸論5	2
		文芸論6	2
		アニメーション史	2
		コンテンツ文化史	2
		ゲームデザイン構築	2
	グラフィックデザイン分野	プロダクトデザイン入門	2
		インテリアデザイン論1	2
		応用人間工学	2
		インタフェースデザイン論	2
	建築・環境デザイン分野	日本建築史	2
		西洋建築史	2
		風土形成論	2
		風景の計画	2
		インテリア設計論	2
		建築と歴史と自然	2
	グラフィックデザイン分野	生活とグラフィックデザイン	2
		コミュニケーションデザイン	2
		文字とグラフィックデザイン	2
		メディア表現とグラフィックデザイン	2
		世界のクリエイティブ100年	2
	映像分野	映像文化史	2
		メディア文化史	2
		映像プランニング概論	2
		映像コミュニケーション概論	2
	企画構想分野	広告ビジネス入門	2
		インターネットビジネス入門	2
		コピーライティング入門	2
		データデザイン入門	2
		ブランド・マーケティング入門	2
		ベンチャービジネス入門	2
全学共通科目※3	環境・地域	芸術平和学	2
		東北文化論	2
		まちづくり論	2
		クリエイティブ・ローカル論	2
		持続可能な地域論	2
		地域創造演習	2
	TIC	地球環境論	2
		ICTリテラシー	2
		AIテクノロジー論	2
	社会力	ICTと社会	2
		スタートアップゼミナール	2
		デザイン思考基礎	2
		生活と経済	2
		キャリア形成論	2
		仕事講座	1
		キャリア設計論	1
		スポーツ実技	1
		就業実習	1
	人文社会	インターンシップ	1
		現代社会学	2
		社会と政治	2
		倫理と社会	2
		日本国憲法	2
		知的所有権	2
	自然科	地理学概論	2
		健康科学論	2
		アートデザインのための数理	2
		データの科学	2
		線形代数学	2

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名	単位
	学	環境と心理	2
		生物と自然	2
	グローバル コミュニケーション	多文化理解	2
		ENGLISH 101	2
		ENGLISH 102	2
		日本語 1	2
		Presentation in ENGLISH	1
		Communicative ENGLISH	1
		Academic ENGLISH	1
		Practical ENGLISH (for TOEIC test)	1
		日本語 2	2
		総合芸術概論 1	2
	アート&デザイン 【コア科目】	総合芸術概論 2	2
		美術史概論	2
		デザイン史概論	2
		色彩学概論	2
		立体造形基礎論	2
		編集ディレクション演習	2
		絵画・デッサン	2
アート&デザイン※4	アート&デザイン 【エクспанション科目】	日本美術史	2
		西洋美術史	2
		近現代美術史	2
		日本建築史	2
		西洋建築史	2
		建築デザイン論	2
		工芸デザイン入門	2
		プロダクトデザイン入門	2
		インテリアデザイン論	2
		応用人間工学	2
		生活とグラフィックデザイン	2
		映像文化史	2
		メディア文化史	2
		都市空間デザイン	2
		サステナブルデザイン入門	2
		地域デザイン入門	2
		現代幸福論	2
		文芸総論	2
		思想と文学	2
		文化財保存修復入門	2
		歴史遺産学総論	2
		文化遺産マネジメント	2
		考古学概論	2
		民俗・人類学概論	2
		地誌学概論	2
		アジア文化論	2
		ブランド・マーケティング入門	2
		広告表現入門	2
		商品開発・店舗プロデュース入門	2
		事業計画入門	2
		インターネットビジネス論	2
		クリエイター起業論	1
		クリエイター起業ゼミナール	1
		イノベーションプロジェクト	1
歴史遺産学科 文化財保	必修科目	文化財保存修復入門	2
		日本美術史	2
		西洋美術史	2
		歴史遺産学総論	2
		世界遺産総論	2
		文化財基礎化学	2
		絵画修復論	2
		立体作品修復論	2
		日本近代美術史	2
		保存科学概論	2
		文化財保護論	2
		文化財材質論	2
		文化遺産マネジメント	2
		絵画・立体基礎演習 1	4
		絵画・立体基礎演習 2	4
		文化財調査演習 1	2
		文化財調査演習 2	2
		保存科学演習	4
		論文講読	2
		キャリアマネジメント	2
		保存修復応用演習 1	4
		保存修復応用実習 1	2

(授業科目)

第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。

(別表第1)

履修区分		科目名		単位
存 修 復 コ ー ス			保存修復応用演習2	4
			保存修復応用実習2	2
			専門調査演習	2
			文化財保存修復研究1	4
			文化財保存修復研究2	6
			立体修復・技法演習	4
歴 史 遺 産 学 科 歴 史 遺 産 コ ー ス		科 必 選 目 修 択	東洋絵画修復演習	4
			西洋絵画修復演習	4
			日本史概論	2
	選 択 科 目		考古学概論	2
			民俗・人類学概論	2
			近現代美術史	2
			民俗・人類学特論	2
			先史考古学特論	2
			歴史考古学特論	2
			中世歴史学特論	2
			近世歴史学特論	2
			歴史遺産学総論	2
			日本史概論	2
			考古学概論	2
			民俗・人類学概論	2
			日本建築史	2
			西洋建築史	2
			世界遺産総論	2
	必 修 科 目		文化財保存修復入門	2
			文化財保護論	2
			文化遺産マネジメント	2
			民俗・人類学特論	2
			歴史遺産基礎演習1	2
			歴史遺産基礎演習2	2
			フィールドワーク1	4
			フィールドワーク2	4
			フィールドワーク3	4
			キャリアマネジメント	2
			歴史遺産文献講読1	2
			歴史遺産文献講読2	2
			歴史遺産研究1	4
			歴史遺産研究2	6
			先史考古学特論	2
	選 択 必 修 科 目		歴史考古学特論	2
			中世歴史学特論	2
			近世歴史学特論	2
			考古学応用演習1	4
			歴史学応用演習1	4
			民俗・人類学応用演習1	4
			考古学応用演習2	4
			歴史学応用演習2	4
	選 択 科 目		民俗・人類学応用演習2	4
			社会文化環境論	2
			世界史概論	2
			地誌学概論	2
			アジア文化論	2
			保存科学概論	2
			文化財基礎化学	2
			文化財材質論	2
	全 コ ー ス		美術概論	2
			美術素材学	2
			近現代美術史	2
			アート展示概論	2
			美術基礎演習1	2
			美術基礎演習2	6
			コミュニケーションデザイン演習	2
			セルフプロデュース演習	2
			アートメディア演習A	2
			アートメディア演習B	2
	日 本 画 コ ー ス		日本画基礎演習1	4
			日本画基礎演習2	6
			日本画基礎演習3	6
			日本画演習1	6
			日本画演習2	6
			日本画演習3	4
			日本画演習4	4
			日本画演習5	4
			日本画演習6	4
			日本画演習7	4

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名		単位
美術科	必修科目	日本画	日本画演習 8	4
			日本画研究 1	4
		洋画コース	日本画研究 2	6
			洋画基礎演習 1	4
			洋画基礎演習 2	6
			洋画基礎演習 3	6
			洋画演習 1	6
			洋画演習 2	6
			洋画演習 3	4
			洋画演習 4	4
			洋画演習 5	4
			洋画演習 6	4
			洋画演習 7	4
			洋画演習 8	4
			洋画研究 1	4
			洋画研究 2	6
		グラフィック・アートコース	版画基礎演習 1	4
			版画基礎演習 2	6
			版画基礎演習 3	6
			版画演習 1	6
			版画演習 2	6
			版画演習 3	6
			版画演習 4	6
			版画演習 5	4
			版画演習 6	4
			版画演習 7	4
			版画演習 8	2
			版画研究 1	4
		彫刻・キャラクター造形コース	版画研究 2	6
			彫刻基礎演習 1	4
			彫刻基礎演習 2	6
			彫刻基礎演習 3	6
			彫刻演習 1	6
			彫刻演習 2	6
			彫刻演習 3	6
			彫刻演習 4	6
			彫刻演習 5	4
			彫刻演習 6	4
		総合美術コース	彫刻演習 7	4
			彫刻演習 8	2
			彫刻研究 1	4
			彫刻研究 2	6
			生涯学習と社会教育	2
			総合美術基礎演習 1	4
			総合美術基礎演習 2	4
			総合美術基礎演習 3	4
			総合美術基礎演習 4	4
			総合美術演習 1	4
			総合美術演習 2	4
			総合美術演習 3	4
			総合美術演習 4	4
			総合美術演習 5	4
			総合美術演習 6	4
			総合美術演習 7	4
			総合美術演習 8	8
			総合美術研究 1	4
			総合美術研究 2	6
	選択必修科目	アートキャリア論		2
	選択科目	アーティストマネジメント		2
		アーティストマネジメント特論		2
工芸デザイン	必修科目	工芸デザイン	工芸デザイン入門	2
			プロダクトデザイン入門	2
			工芸デザイン論	2
			インテリアデザイン論 1	2
			近現代美術史	2
			伝達方法論	2
			応用人間工学	2
			造形基礎演習	4
			表現基礎演習	4
			工芸素材基礎演習 1	4
			工芸素材基礎演習 2	4
			デザインコンピュータ演習 1	4
			工芸素材基礎演習 3	4
			工芸素材基礎演習 4	4
			デザインコンピュータ演習 2	4

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名	単位
所属学科専門科目	工芸学科	工芸デザイン基礎演習1	4
		工芸デザイン基礎演習2	4
		ポートフォリオ実習	4
		工芸デザイン応用演習1	4
		工芸デザイン応用演習2	4
		工芸デザイン実習1	2
		工芸デザイン実習2	2
		工芸デザイン研究制作	2
		卒業制作(工芸デザイン)	8
	選択科目	東北工芸・産業論	2
		プロフェッショナルスキル1	2
		プロフェッショナルスキル2	2
		東北工芸実践	2
	文芸学科	文芸総論	2
		作品読解A	2
		作品読解B	2
		編集表現A	4
		編集表現B	4
		創作表現A	4
		創作表現B	4
		原文講読A	2
		原文講読B	2
		創作実践A	4
		創作実践B	4
		編集実践A	4
		編集実践B	4
		デジタル表現演習	4
		DTP演習	4
		社会研究A	2
		社会研究B	2
		クリエイティブ演習A	4
		クリエイティブ演習B	4
		文芸研究1	4
		文芸研究2	6
	修選科目必	ライティング演習A	2
		ライティング演習B	2
		エディトリアル演習A	2
		エディトリアル演習B	2
	選択科目	文学史	2
		歴史と文学	2
		政治と文学	2
		表現と文学	2
		思想と文学	2
		エンタテインメントと文学	2
		児童文学の技法	2
		児童文学の発想	2
		現代文芸1	2
		現代文芸2	2
		プロジェクト演習1	2
		プロジェクト演習2	2
	プロダクトデザイン	視覚表現と文字表現	2
		ゲームデザイン構築	2
		プロダクトデザイン入門	2
		プロダクトデザイン論1	2
		プロダクトデザイン論2	2
		プロダクトデザイン論3	2
		デッサン・スケッチ	4
		コンピュータ基礎演習	2
		コンピュータ演習	2
		思考・構想演習	4
		素材・造形1	4
		素材・造形2	4
		表現伝達演習1	4
		表現伝達演習2	4
		UXデザイン演習1	4
		UXデザイン演習2	2
		プロダクトデザイン演習1	4
		プロダクトデザイン演習2	4
		プロダクトデザイン演習3	4
		プロダクトデザイン演習4	4
		プロダクトデザイン研究1	4
		プロダクトデザイン研究2	6
		材料加工技術論	2
		応用人間工学	2
		インタフェースデザイン論	2

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名	単位
学科	選択科目	インテリアデザイン論	2
		プロフェッショナルワークショップ1	1
		プロフェッショナルワークショップ2	1
		デジタルワークショップ1	1
		デジタルワークショップ2	1
		デジタルワークショップ3	1
		デジタルワークショップ4	1
		産学共創ワークショップ1	1
		産学共創ワークショップ2	1
		建築構法	2
		建築設計論	2
		建築計画	2
		建築設備	2
		構法デザイン	2
		建築法規	2
		建築施工	2
		建築材料	2
	必修科目	建築・環境概論	2
		西洋建築史	2
		風土形成論	2
		都市計画	2
		建築構法	2
		エコロジカル地域論	2
		エコロジカル建築論	2
		建築設計論	2
		建築・環境基礎演習	2
		インテリア基礎演習	2
		図学製図演習	2
		CAD演習	2
		建築・環境施工演習	2
		デジタル表現演習	2
		建築設計演習1	3
		建築設計演習2	3
		環境計画演習1	3
		環境計画演習2	3
		建築・環境応用演習	2
		建築・環境デザイン研究1	4
		建築・環境デザイン研究2	6
	選択必修科目	建築設計演習3	3
		建築設計演習4	3
		建築設計演習5	3
		建築設計演習6	3
		環境計画演習3	3
		環境計画演習4	3
建築・環境デザイン学科	選択科目	環境計画演習5	3
		環境計画演習6	3
		インテリア設計論	2
		建築デザイン論	2
		日本建築史	2
		風景の計画	2
		構法デザイン	2
		建築計画	2
		生態学基礎	2
		建築設備	2
		建築構造力学	2
		都市空間デザイン	2
		リノベーション建築論	2
		建築法規	2
		環境基盤学	2
		建築施工	2
		建築材料	2
		測量学	2
		線形代数学	2
		地理学概論	2
		地誌学概論	2
		建築構造力学演習	2
		測量演習	2
		建築実践演習	2
		職業指導	2
	グラフィック	生活とグラフィックデザイン	2
		UIデザイン概論	2
		表現基礎1A	2
		表現基礎1B	2
		表現基礎2A	2
		表現基礎2B	2

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名	単位
デザイン学科 レーションコース グラフィックデザインコース／イラスト	必修科目	コミュニケーションデザイン基礎1 A	2
		コミュニケーションデザイン基礎1 B	2
		コミュニケーションデザイン基礎2	2
		デジタル表現演習	4
		コミュニケーションデザイン応用1 A	2
		コミュニケーションデザイン応用1 B	2
		コミュニケーションデザイン応用2	2
		メディア表現1	4
		メディア表現2	4
		メディア表現3	2
		メディア表現4	2
		メディア表現5	4
		メディア表現6	4
		ビジュアルデザイン応用1	2
		ビジュアルデザイン応用2	2
		グラフィックデザイン研究1	4
		グラフィックデザイン研究2	6
	選択必修科目	ビジュアルデザイン実践1	4
		ビジュアルデザイン実践2	4
		ビジュアルデザイン実践3	4
		ビジュアルデザイン実践4	4
		ビジュアルデザイン実践5	4
		ビジュアルデザイン実践6	4
		ビジュアルデザイン実践7	4
		ビジュアルデザイン実践8	4
映像学科 キャラクター／映像クリエーション／CG・アニメーション	必修科目	映像文化史	2
		メディア文化史	2
		コミュニケーションデザイン基礎	2
		ビジュアル・ランゲージ	2
		映像制作基礎演習1	4
		映像制作基礎演習2	4
		映像デザイン基礎演習1	4
		映像デザイン基礎演習2	4
		コミュニケーションデザイン応用	4
		コミュニケーションデザイン実践1	4
		コミュニケーションデザイン実践2	4
		メディア基礎演習1	4
		メディア基礎演習2	4
		メディア応用演習1	4
		メディア応用演習2	4
		メディア実践演習1	4
		メディア実践演習2	4
		メディア実習	2
		映像研究1	4
		映像研究2	6
	選択必修科目	アニメーション1	4
		アニメーション2	4
		アニメーション3	4
		ビジュアルデザイン1	4
		ビジュアルデザイン2	4
		ビジュアルデザイン3	4
		ムービーデザイン1	4
		ムービーデザイン2	4
		ムービーデザイン3	4
企画構想学科 企画構想コース／	必修科目	企画の哲学	2
		企画書表現入門	2
		サステナブルデザイン入門	2
		インターネットビジネス論	2
		WEB制作入門	2
		地域デザイン入門	2
		プロモーションディレクション入門	2
		ブランド・マーケティング入門	2
		事業計画入門	2
		商品開発・店舗プロデュース入門	2
		広告表現入門	2
		イベントプロデュース実践	2
		アイデア発想演習	4
		フィールドワーク演習	4
		グラフィックデザイン演習	4
		プロモーションディレクション演習	4
		調査分析演習	4
		キャリアデザイン演習	4
		プロデュース演習1	4
		プロデュース演習2	4
		企画構想演習1	4

(授業科目)
第27条 開設する授業科目及びその単位数は別表第1の通りとする。
(別表第1)

履修区分		科目名	単位
食文化デザインコース	選択科目	企画構想演習2	4
		企画構想研究1	4
		企画構想研究2	6
		ツーリズムビジネス入門	2
		イノベーション理論	2
		地域デザイン実践	2
		エンターテインメント実践	2
		PR 広報実践	2
		広告ビジネス実践	2
		ブランドマーケティング実践	2
		事業計画実践	2
		ツーリズムビジネス実践	2
		地域/産業研究演習	4
		サステナブルデザイン演習	4
		プレゼンテーション演習	4
		メディアプランニング演習	4
	必修科目	コミュニティデザイン基礎	2
		現代幸福論	2
		コミュニティデザイン応用	2
		地域課題研究1	4
		地域課題研究2	4
		情報デザイン演習1	4
		ワークショップデザイン演習1	4
		ワークショップデザイン演習2	4
		ワークショップデザイン演習3	4
		ワークショップデザイン演習4	4
		ソーシャルデザイン演習1	4
		ソーシャルデザイン演習2	4
		コミュニティデザイン実習1	3
		コミュニティデザイン実習2	3
		コミュニティデザイン実習3	3
		コミュニティデザイン実習4	3
		コミュニティデザイン実習5	3
		コミュニティデザイン実習6	3
		商品開発演習	4
		地域研究	4
		コミュニティデザイン研究1	4
		コミュニティデザイン研究2	6
	選択科目	環境共生型コミュニティ論	2
		公共セクター論	2
		情報デザイン演習2	4
		地域プロジェクト演習	4

※1.2については、工芸デザイン学科のみ対象

※3.4については、工芸デザイン学科以外の学科が対象

※各教育課程において主要と認められる授業科目（主要授業科目）は、本学のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、教育研究に専念し教育課程の編成や学部の運営に責任を持つ教員（基幹教員）が原則として担当する。

(別表第2)								
	学科	学科	科目区分	科目	単位			
教科及び教科の指導法に関する科目	歴史遺産学科	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2			
				歴史遺産学総論	2			
				考古学概論	2			
				民俗・人類学概論	2			
				民俗・人類学特論	2			
				先史考古学特論	2			
				歴史考古学特論	2			
				中世歴史学特論	2			
				近世歴史学特論	2			
				歴史遺産基礎演習 1	2			
				歴史遺産基礎演習 2	2			
				考古学応用演習 1	4			
				歴史学応用演習 1	4			
				民俗・人類学応用演習 1	4			
				歴史遺産文献講読 1	2			
				歴史遺産文献講読 2	2			
			外国史	世界史概論	2			
				アジア文化論	2			
			中学：地理学（地誌を含む。） 高校：人文地理学及び自然地理学	地理学概論	2			
				世界遺産総論	2			
				社会文化環境論	2			
			「法学、政治学」	地誌学概論	2			
				社会と政治	2			
			「社会学、経済学」	日本国憲法	2			
				現代社会学	2			
			「哲学、倫理学、宗教学」	倫理と哲学	2			
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			社会科教育法 1	2		
					社会科教育法 2	2		
					社会科教育法 3	2		
					社会科教育法 4	2		
	美術科	教科に関する専門的事項	絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画・デッサン	2			
				アートメディア演習A	2			
				アートメディア演習B	2			
				日本画基礎演習 1	4			
				日本画基礎演習 2	6			
				日本画基礎演習 3	6			
				洋画基礎演習 1	4			
				洋画基礎演習 2	6			
				洋画基礎演習 3	6			
				版画基礎演習 1	4			
				版画基礎演習 2	6			
				版画基礎演習 3	6			
				彫刻	総合美術基礎演習 4	4		
			美術基礎演習 2		6			
			立体造形基礎論		2			
			総合美術基礎演習 1		4			
			彫刻基礎演習 1		4			
			デザイン（映像メディア表現を含む。）	彫刻基礎演習 2	6			
				彫刻基礎演習 3	6			
				デザイン演習（教職）	2			
			工芸（中一種取得希望者のみ）	コミュニケーションデザイン演習	2			
				総合美術基礎演習 3	4			
			美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	工芸デザイン入門	2			
				美術概論	2			
				美術史概論	2			
				総合芸術概論 1	2			
				総合芸術概論 2	2			
				美術素材学	2			
				近現代美術史	2			
				アート展示概論	2			
				デザイン史概論	2			
				日本美術史	2			
				西洋美術史	2			
				色彩学概論	2			
				各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			美術科教育法 1	2
						美術科教育法 2	2	
						美術科教育法 3	2	
						美術科教育法 4	2	
			プロダクトデザイン学科	教科に関する専門的事項	絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画・デッサン	2	
						表現伝達演習 2	2	
					彫刻	立体造形基礎論	4	
						コンピュータ演習	2	
					デザイン（映像メディア表現を含む。）	素材・造形 1	4	
						素材・造形 2	4	
						表現伝達演習 1	4	
						プロダクトデザイン演習 1	4	
		プロダクトデザイン演習 2				4		
		プロダクトデザイン演習 3				4		
		プロダクトデザイン演習 4				4		
		工芸（中一種取得希望者のみ）			工芸デザイン入門	2		
	美術史概論				2			
	総合芸術概論 1				2			
	総合芸術概論 2				2			
	デザイン史概論				2			
	日本美術史				2			
	西洋美術史				2			
	近現代美術史				2			
	色彩学概論				2			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）				美術科教育法 1	2		
					美術科教育法 2	2		
					美術科教育法 3	2		
					美術科教育法 4	2		
	建築・環境デザイン学科	教科に関する専門的事項	工業の関係科目	建築・環境概論	2			
				建築・環境施工演習	2			
				図学製図演習	2			
				建築設計演習 1	3			
				環境計画演習 1	3			
				建築設計演習 2	3			
				環境計画演習 2	3			
				建築設計論	2			
建築構造力学				2				
建築構造力学演習				2				
建築材料				2				
都市計画				2				
建築設備				2				
建築構法				2				
建築法規				2				
建築施工				2				
西洋建築史				2				
CAD演習				2				
コンピュータ基礎演習				2				
構法デザイン				2				
測量学				2				
環境基盤学				2				
職業指導				職業指導	2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）				工業科教育法 1	2			
				工業科教育法 2	2			
					絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画・デッサン	2	
		メディア表現 1	4					
		彫刻	立体造形基礎論			2		
			デジタル表現演習			4		
			コミュニケーションデザイン基礎 1A	2				

教育の基礎的理解に関する科目等	グラフィックデザイン学科	教科に関する専門的事項	デザイン（映像メディア表現を含む。）	コミュニケーションデザイン基礎1B	2	
				コミュニケーションデザイン応用2	2	
				メディア表現2	4	
				メディア表現3	2	
				メディア表現4	2	
				メディア表現5	4	
				メディア表現6	4	
				ビジュアルデザイン応用1	2	
				ビジュアルデザイン応用2	2	
				工芸（中一種取得希望者のみ）	工芸デザイン入門	2
				美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	美術史概論	2
					総合芸術概論1	2
		総合芸術概論2	2			
		デザイン史概論	2			
		日本美術史	2			
		西洋美術史	2			
		近現代美術史	2			
		色彩学概論	2			
		美術科教育法1	2			
		美術科教育法2	2			
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	美術科教育法3	2		
			美術科教育法4	2		
			美術科教育法1	2		
	美術科教育法2		2			
	美術科教育法3		2			
	美術科教育法4		2			
	美術科教育法1		2			
	美術科教育法2		2			
	映像学科	教科に関する専門的事項	絵画（映像メディア表現を含む。）	絵画・デッサン	2	
				メディア基礎演習2	4	
			彫刻	立体造形基礎論	2	
				映像制作基礎演習1	4	
			デザイン（映像メディア表現を含む。）	映像制作基礎演習2	4	
				コミュニケーションデザイン応用	4	
				映像デザイン基礎演習1	4	
				メディア基礎演習1	4	
				メディア応用演習1	4	
				メディア応用演習2	4	
			工芸（中一種取得希望者のみ）	工芸デザイン入門	2	
				美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	美術史概論	2
		総合芸術概論1	2			
		総合芸術概論2	2			
		デザイン史概論	2			
		日本美術史	2			
		西洋美術史	2			
		近現代美術史	2			
		色彩学概論	2			
		美術科教育法1	2			
		美術科教育法2	2			
		美術科教育法3	2			
美術科教育法4		2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		美術科教育法1	2			
		美術科教育法2	2			
		美術科教育法3	2			
		美術科教育法4	2			
	美術科教育法1	2				
	美術科教育法2	2				
	美術科教育法3	2				
	美術科教育法4	2				
教育に関する基礎的理解に関する科目等	教育に関する基礎的科目等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育原理	2		
			教育職員論	2		
			教育社会学	2		
			教育心理学	2		
			特別支援教育概論	2		
			教育課程論	2		
		道徳、総合的な学習の時間、特別活動に関する科目等	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導論	2	
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	
			特別活動の指導法	特別活動論	2	
			教育の方法及び技術	教育方法（情報通信技術活用の教育理論及び方法を含む）	2	
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
			生徒指導の理論及び方法			
	教育実践に関する科目等	教育実習	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育指導1（生徒指導・進路指導）	2	
			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育指導2（教育相談）	2	
			教育実習	教育実習事前事後指導（社会・地理歴史）	1	
				教育実習事前事後指導（美術）	1	
				教育実習事前事後指導（工業）	1	
	教育実習（社会・地理歴史）1	2				
	教育実習（社会・地理歴史）2	2				
	教育実践に関する科目等	教育実習	教育実習（美術）1	2		
			教育実習（美術）2	2		
			教育実習（工業）	2		
			教職実践演習	2		
教職実践演習（中・高）			2			

（別表第2の2）

区分	科目名	単位
博物館に関する科目	生涯学習概論	2
	ミュージアム概論	2
	ミュージアム経営論	2
	ミュージアム資料論	2
	ミュージアム資料保存論	2
	ミュージアム展示論	2
	ミュージアム教育論	2
	ミュージアム情報メディア論	2
	ミュージアム実習 1	2
	ミュージアム実習 2	1

（別表第2の3）

学部	学科	免許状の種類	教科
芸術学部	歴史遺産学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	美術科	中学校教諭一種免許状	美術
		高等学科教諭一種免許状	美術
	工芸デザイン学科	中学校教諭一種免許状	美術
デザイン工学部	プロダクトデザイン学科	中学校教諭一種免許状	美術
		高等学科教諭一種免許状	美術
	環境・環境デザイン学科	高等学科教諭一種免許状	工業
	グラフィックデザイン学科	中学校教諭一種免許状	美術
		高等学科教諭一種免許状	美術
	映像学科	中学校教諭一種免許状	美術
		高等学科教諭一種免許状	美術

（別表第2の4）

学部	学科	資格
芸術学部	歴史遺産学科	学芸員
	美術科	
	工芸デザイン学科	
	文芸学科	
デザイン工学部	プロダクトデザイン学科	
	建築・環境デザイン学科	
	グラフィックデザイン学科	
	映像学科	
	企画構想学科	

(別表第3)

入学検定料	総合型選抜入学試験[専願体験型] 総合型選抜入学試験[併願型] 一般選抜入学試験[専願型] 一般選抜入学試験[前期] 一般選抜入学試験[面接型] 帰国生特別選抜試験 外国人留学生特別選抜試験 社会人特別選抜試験 シニア特別選抜試験 編入学試験	33,000円
	大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] 大学入学共通テスト利用入学試験[2科目利用 前期] 一般選抜入学試験[後期] 大学入学共通テスト利用入学試験[2科目利用 後期]	15,000円
入学金		275,000円
授業料	歴史遺産学科（文化財保存修復コース）	1,200,000円
	歴史遺産学科（歴史遺産コース）、文芸学科	1,135,000円
	美術科、工芸デザイン学科、プロダクトデザイン学科、建築・環境デザイン学科、グラフィックデザイン学科、映像学科	1,320,000円
	企画構想学科	1,220,000円

学則の変更事項を記載した書類及び新旧対照表

1 変更事項

学則第2条に定める入学定員を下記のとおり変更する。

芸術学部 文化財保存修復学科	入学定員 26名（募集停止）
デザイン工学部 コミュニティデザイン学科	入学定員 30名（募集停止）
芸術学部 歴史遺産学科	入学定員 51名（定員増）
デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	入学定員 90名（定員増）
デザイン工学部 映像学科	入学定員 90名（定員増）
デザイン工学部 企画構想学科	入学定員 80名（定員増）

2 変更の時期

令和8年4月1日から施行する。

3 変更条文等の新旧対照表

下表のとおり

改正後	改正前																																																																																																				
（学部及び学生定員） 第2条 本学において設置する学部及び学科並びにその学生定員は、次の通りとする 芸術学部 （削除） <table><tr><td>歴史遺産学科</td><td>入学定員</td><td>51 人</td><td>総定員</td><td>204 人</td></tr><tr><td>美術科</td><td>入学定員</td><td>124 人</td><td>総定員</td><td>496 人</td></tr><tr><td>工芸デザイン学科</td><td>入学定員</td><td>45 人</td><td>総定員</td><td>180 人</td></tr><tr><td>文芸学科</td><td>入学定員</td><td>42 人</td><td>総定員</td><td>168 人</td></tr></table> デザイン工学部 <table><tr><td>プロダクトデザイン学科</td><td>入学定員</td><td>62 人</td><td>総定員</td><td>248 人</td></tr><tr><td>建築・環境デザイン学科</td><td>入学定員</td><td>52 人</td><td>総定員</td><td>208 人</td></tr><tr><td>グラフィックデザイン学科</td><td>入学定員</td><td>90 人</td><td>総定員</td><td>360 人</td></tr><tr><td>映像学科</td><td>入学定員</td><td>90 人</td><td>総定員</td><td>360 人</td></tr><tr><td>企画構想学科</td><td>入学定員</td><td>80 人</td><td>総定員</td><td>320 人</td></tr></table> （削除） 附則 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。但し、令和7年度以前の入学生については、従前の定めによるものとする。 2 この学則施行の際、文化財保存修復学科及びコミュニティデザイン学科は、令和8年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。	歴史遺産学科	入学定員	51 人	総定員	204 人	美術科	入学定員	124 人	総定員	496 人	工芸デザイン学科	入学定員	45 人	総定員	180 人	文芸学科	入学定員	42 人	総定員	168 人	プロダクトデザイン学科	入学定員	62 人	総定員	248 人	建築・環境デザイン学科	入学定員	52 人	総定員	208 人	グラフィックデザイン学科	入学定員	90 人	総定員	360 人	映像学科	入学定員	90 人	総定員	360 人	企画構想学科	入学定員	80 人	総定員	320 人	（学部及び学生定員） 第2条 本学において設置する学部及び学科並びにその学生定員は、次の通りとする 芸術学部 <table><tr><td>文化財保存修復学科</td><td>入学定員</td><td>26 人</td><td>総定員</td><td>104 人</td></tr><tr><td>歴史遺産学科</td><td>入学定員</td><td>32 人</td><td>総定員</td><td>128 人</td></tr><tr><td>美術科</td><td>入学定員</td><td>124 人</td><td>総定員</td><td>496 人</td></tr><tr><td>工芸デザイン学科</td><td>入学定員</td><td>45 人</td><td>総定員</td><td>180 人</td></tr><tr><td>文芸学科</td><td>入学定員</td><td>42 人</td><td>総定員</td><td>168 人</td></tr></table> デザイン工学部 <table><tr><td>プロダクトデザイン学科</td><td>入学定員</td><td>62 人</td><td>総定員</td><td>248 人</td></tr><tr><td>建築・環境デザイン学科</td><td>入学定員</td><td>52 人</td><td>総定員</td><td>208 人</td></tr><tr><td>グラフィックデザイン学科</td><td>入学定員</td><td>68 人</td><td>総定員</td><td>272 人</td></tr><tr><td>映像学科</td><td>入学定員</td><td>62 人</td><td>総定員</td><td>248 人</td></tr><tr><td>企画構想学科</td><td>入学定員</td><td>50 人</td><td>総定員</td><td>200 人</td></tr><tr><td>コミュニティデザイン学科</td><td>入学定員</td><td>30 人</td><td>総定員</td><td>120 人</td></tr></table>	文化財保存修復学科	入学定員	26 人	総定員	104 人	歴史遺産学科	入学定員	32 人	総定員	128 人	美術科	入学定員	124 人	総定員	496 人	工芸デザイン学科	入学定員	45 人	総定員	180 人	文芸学科	入学定員	42 人	総定員	168 人	プロダクトデザイン学科	入学定員	62 人	総定員	248 人	建築・環境デザイン学科	入学定員	52 人	総定員	208 人	グラフィックデザイン学科	入学定員	68 人	総定員	272 人	映像学科	入学定員	62 人	総定員	248 人	企画構想学科	入学定員	50 人	総定員	200 人	コミュニティデザイン学科	入学定員	30 人	総定員	120 人
歴史遺産学科	入学定員	51 人	総定員	204 人																																																																																																	
美術科	入学定員	124 人	総定員	496 人																																																																																																	
工芸デザイン学科	入学定員	45 人	総定員	180 人																																																																																																	
文芸学科	入学定員	42 人	総定員	168 人																																																																																																	
プロダクトデザイン学科	入学定員	62 人	総定員	248 人																																																																																																	
建築・環境デザイン学科	入学定員	52 人	総定員	208 人																																																																																																	
グラフィックデザイン学科	入学定員	90 人	総定員	360 人																																																																																																	
映像学科	入学定員	90 人	総定員	360 人																																																																																																	
企画構想学科	入学定員	80 人	総定員	320 人																																																																																																	
文化財保存修復学科	入学定員	26 人	総定員	104 人																																																																																																	
歴史遺産学科	入学定員	32 人	総定員	128 人																																																																																																	
美術科	入学定員	124 人	総定員	496 人																																																																																																	
工芸デザイン学科	入学定員	45 人	総定員	180 人																																																																																																	
文芸学科	入学定員	42 人	総定員	168 人																																																																																																	
プロダクトデザイン学科	入学定員	62 人	総定員	248 人																																																																																																	
建築・環境デザイン学科	入学定員	52 人	総定員	208 人																																																																																																	
グラフィックデザイン学科	入学定員	68 人	総定員	272 人																																																																																																	
映像学科	入学定員	62 人	総定員	248 人																																																																																																	
企画構想学科	入学定員	50 人	総定員	200 人																																																																																																	
コミュニティデザイン学科	入学定員	30 人	総定員	120 人																																																																																																	

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	- 2 -
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	- 2 -
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	- 5 -
（ア）教育課程の変更内容	- 5 -
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	- 7 -
（ウ）教員組織の変更内容	- 7 -
（エ）大学全体の施設整備の変更内容	- 8 -

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

東北芸術工科大学（以下、「本学」という。）は、学則第2条に定める入学定員及び収容定員（総定員）を、令和8（2026）年度から、下記の表のとおり変更する。

※下線部が変更箇所

申請学部等の名称	現 状		変更内容		増減	
	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
芸術学部						
文化財保存修復学科	2 6	1 0 4	募集停止		<u>－ 2 6</u>	<u>－ 1 0 4</u>
歴史遺産学科	3 2	1 2 8	<u>5 1</u>	<u>2 0 4</u>	<u>1 9</u>	<u>7 6</u>
美術科	1 2 4	4 9 6	変更なし		0	0
工芸デザイン学科	4 5	1 8 0	変更なし		0	0
文芸学科	4 2	1 6 8	変更なし		0	0
デザイン工学部						
プロダクトデザイン学科	6 2	2 4 8	変更なし		0	0
建築・環境デザイン学科	5 2	2 0 8	変更なし		0	0
グラフィックデザイン学科	6 8	2 7 2	<u>9 0</u>	<u>3 6 0</u>	<u>2 2</u>	<u>8 8</u>
映像学科	6 2	2 4 8	<u>9 0</u>	<u>3 6 0</u>	<u>2 8</u>	<u>1 1 2</u>
企画構想学科	5 0	2 0 0	<u>8 0</u>	<u>3 2 0</u>	<u>3 0</u>	<u>1 2 0</u>
コミュニティデザイン学科	3 0	1 2 0	募集停止		<u>－ 3 0</u>	<u>－ 1 2 0</u>

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、「東北ルネサンス」の建学の理念実現のため、中学校、高等学校と連携して、創造力溢れる探究的な学びをデザインする探究型学習協働プロジェクトや、地域社会とアート・デザインの新たな関係を目指し、研究の社会実践を産業界や地域と連携したプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）型の演習を行うなど、芸術・デザイン系大学として他に類を見ない特色ある教育研究を通じて社会課題の解決に貢献できる人材の育成に取り組んできた。また、芸術教育のさらなる推進と拡充を目指し、これまで多岐にわたる芸術やデザイン分野に関する学科や大学院の研究科を設置するとともに、文化財保存修復研究センターや美術館大学センターなどの研究センターを開設し、教育研究の充実をはかってきた。しかし、全国規模で見ると今日、地方都市では少子高齢化や人口減少に歯止めがきかず、政治や経済、科学技術などの力をもってしても解決の途を見出すことが困難な状況にある。今こそ芸術やデザインにより涵養されるクリエイティブな力を備えた人材育成の必要性が高まると確信している。

また、過去5年間の入学者の歩留まり率（入学者数／合格者数）が0.52～0.89（令和6（2024）年度【資料1】と、全国の私立大学の歩留まり率である0.33（私立学校振興・共済事業団「令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より）を上回り、入学意欲の高い志願者を確保できている。

さらに、令和2（2020）年度からの過去5年間の志願者数を支えるのは、教育の質であり、本学の教育内容が世の中から評価されたものとする。本学ではその評価の指標の一つとなるのが進路決定率（（就職決定者＋進学決定者）÷卒業者）であると捉え、恒常的に進路決定率9割を維持し、志願者の安定確保に繋げている。

この度の収容定員変更は、今日の高等教育を取り巻く社会情勢を念頭に、本学が持続的発展を遂げ、社会の負託に応えるために実施するものである。そこで、各学部・学科の教育成果、入学実績の推移、及び近年の全国芸術系大学における志望動向などをもとに、一部学科の再編を伴う入学定員の増加を図る。これにより、本学への入学を希望する多くの受験生に対して、できる限り本学の教育を受ける機会を提供し、社会からの人材育成需要の高まりに応えつつ、同時に適正な学生の定員管理を行うことができる。ゆえに、現在の入学者数や志願者数等を基に、前述の4学科について必要かつ適切な範囲での収容定員変更を行うものである。

1. 歴史遺産学科

日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会が令和5（2023）年にまとめた「地域社会の継承・発展を支える文化財保護のあり方について」の中で、「文化財保護の将来を担う専門人材育成の強化について」として、「文化財保護の持続的な継承・発展を図るためには、意欲ある学生の増加を期待するだけの受け身的な姿勢でなく、専門人材を育成し送り出す大学と専門職員的能力向上を図る文化庁や自治体の文化財行政当局が連携・接続して後継人材の積極的な育成を図ることが必要」としており、本学の附置機関である「文化財保存修復研究センター」を通じて文化財行政当局等と接続しながら学修ができる歴史遺産学科の環境は、まさに求められているものである。

また、山形県が令和4（2022）年に策定した「山形県文化財保存活用大綱」において、全体理念を「文化財は未来に伝える地域の宝～保存と活用の好循環によって文化財を確実に次世代へ継承する～」としており、それを支える視点として「地域全体での継承の視点」「関係者による連携の視点」の2つをあげている。

さらに、宮城県が令和3（2021）年に策定した「宮城県文化財保存活用大綱においては、基本方針として《方針1 文化財を守り育む土台をつくる》《方針2 文化財を適切に理解する》《方針3 文化財を循環型社会システムに組み込む》《方針4 文化財の災害対応力を高める》を掲げ、特に《方針1 文化財を守り育む土台をつくる》において、「行政組織の中に文化財を知る専門職員を配置することが重要であり、かつ継続的に配置する」「埋蔵文化財に限らず、専門職員が不在、あるいは少人数の市町村に対しては継続的に協力するとともに、職員の配置・増員を模索・指向しながら、近隣市町村との連携で問題解消ができるような体制整備を促進」「大学や専修学校、専門技術者や研究者が組織する団体と連携を取り、平時だけでなく非常時を想定した仕組みづくりを検討」などとしており、地域的にも歴史遺産分野の人材が求められていることが示されている。

学生募集の状況は、【資料1】のとおり過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願者数は平均99名、志願倍率は平均3.09倍となっており、十分な選抜機能を果たすものと思われる。また、埋蔵文化財やこれまで文化財保存修復学科で美術品の保存・修復分野を希望する志願者が歴史遺産学科に応募した場合は、過去5年間の2学科の志願者数合計が平均210名、志願倍率が平均3.62倍であることから、十分な入学者の確保が可能となっている。

2. グラフィックデザイン学科

公益財団法人日本デザイン振興会と三菱総合研究所が令和5（2023）年3月に実施した「第2回 企業経営におけるデザイン活用実態調査」では、デザイン経営がビジネスにプラスの影響を与える可能性が再確認された。しかし一方で、「新商品やサービスのデザインをリードできるデザイナーの不足」など、デザイン経営の進展状況や課題に大きな変化が見られない点が課題として指摘されている。この結果は、将来的にデザインへの投資がさまざまな業種・業界で期待されていることを示しており、デザイン経営のさらなる普及に向けた基盤が形成されつつあるといえる。

また、山形県商工観光部が平成24（2012）年に策定した「山形県デザイン振興指針」では、「ものづくりには生活や文化を進化させ、新たなライフスタイルを創造する力が求められ、時代とともに多様化する個人や社会のニーズに応える必要がある」とされている。特に、企業側の視点（プロダクトアウト）ではなく市場の視点（マーケットイン）を重視し、「ニーズを発想し新しい価値を創造する」ために、感性を意識したデザインが重要とされている。そのため、企業のデザイン力向上やデザインに関する相談・支援体制の充実が必要であり、デザインスキルを持つ人材の育成や「山形発」のオリジナルデザインの創出が求められている。このような背景から、グラフィックデザインを学んだ人材が特に期待されている。

学生募集の状況は、【資料1】のとおり過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願者数は平均415名、志願倍率は平均6.11倍であり、恒常的に志願者数及び志願倍率を伸ばしつつ、安定的に定員を充足することができている。

3. 映像学科

近年、映像コンテンツは、エンターテインメントや広告業界にとどまらず、教育、医療、観光、地域活性化といったさまざまな分野で活用される重要なツールとなっている。特に、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展に伴い、映像を用いた効果的なコミュニケーションやプロモーションの需要が急速に拡大している。デジタルコンテンツ協会（DCAJ）が令和5（2023）年4月に発行した「動画配信市場調査レポート2023」では、国内外での動画配信市場の成長率が年平均7%を超え、令和9（2027）年には5,670億円まで成長するとした。

また、地域レベルでは、総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課放送コンテンツ海外流通推進室が令和5（2023）年にまとめた「映像コンテンツを活用した地域情報発信に関する調査研究」において、情報発信主体（地方自治体等）と地元映像制作者がエリアプロモーションの映像コンテンツを協力して作るということや映像コンテンツの作り方と波及効果について言及されており、今後ますます自治体や企業が地域ブランドの強化や観光資源のPRに映像を活用する事例が増加し、地元の文化や自然、産業を効果的に発信できる映像制作スキルを持つ人材が不足していることが明らかとなっている。

さらに、映像技術の進化による多様な表現手法の登場や、AIやVR（仮想現実）、AR（拡張現実）といった新技術の普及は、映像制作の可能性を大きく広げており、このような技術を活用できるクリエイターは、国内外問わず多くの業界から求められている。

学生募集の状況は、【資料1】のとおり過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願者数は平均355名、志願倍率は平均5.73倍となっており、恒常的に志願者数及び志願倍率を伸ばしつつ、安定的に定員を充足することができている。

4. 企画構想学科

現代社会において、急速な技術革新や価値観の多様化、地域課題の複雑化が進む中、創造的な企画力や構想力を持つ人材の需要が高まっている。特に、地域社会の活性化や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められる中で、地域の特性を活かしたデザインや企画を通じて課題解決を図る人材の育成が重要視されている。

経済産業省が2022年に発表した「未来の人材ビジョン」では、デジタル化やグローバル化が進む中で、単なる技術的スキルだけでなく、課題を発見し解決するための「創造的思考力」や「企画力」を持つ人材の重要性が強調されており、特に、社会課題の解決や新しい価値の創出が求められる現代において、こうした能力を持つ人材は、企業や地域社会において不可欠であるとされている。

全国的な動向として、地方創生や地域活性化に関連する政策が進む中、地域資源を活用した新たな価値創造や、地域住民と連携したプロジェクトの企画・運営ができる人材が求められている。総務省や内閣府が推進する「地方創生推進交付金」や「地域おこし協力隊」などの施策により、地域課題に取り組む人材の需要は今後も増加すると予測される。また、観光業や農業、伝統工芸など、地域の特色を活かした産業振興においても、デザイン思考を活用した新たなビジネスモデルの構築が期待されている。

一方、地域的な視点では、東北地方を含む地方都市において、人口減少や高齢化、若年層の流出といった課題が深刻化している。これらの課題に対処するためには、地域の文化や歴史、自然資源を活かしながら、地域住民と協働して持続可能な社会を構築するための企画力を持つ人材が必要であり、特に、地域の課題を的確に分析し、解決策を提案・実行できる人材の需要が高まっている。

さらに、社会的な視点では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みが世界的に進む中で、環境や社会、経済のバランスを考慮した企画・構想が求められている。特に、食文化や地域資源を活用した持続可能なビジネスモデルの構築や、地域コミュニティの再生を目指したプロジェクトの企画・運営が注目されている。これに伴い、食文化デザインや地域デザインの分野で活躍できる人材の育成が、社会的にも重要な課題となっている。

学生募集の状況は、【資料1】のとおり過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願者数平均は217名、志願倍率は平均4.34倍となっている。また、従来、地域デザインの科目を展開していたコミュニティデザイン学科との合計では、志願者数平均が349名、志願倍率平均4.36倍となっており、安定した志願者数を維持できる状況にある。

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

本学では、「人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り拓くことができる人材の育成」を教育目標に掲げ、令和8（2026）年度の教育課程は、以下の方針で編成する。

1. 教育理念と目標

本学は、建学の理念に基づき、東北の豊かな歴史観と自然環境を活かし、芸術とデザインの力で現代社会の課題を解決する人材を育成する。この理念のもと、地域社会と共生しながら新しい世界観を創生する「東北ルネサンス」の実現を目指すものである。

また、本学の長期展望「ビジョン2034」では、AIやテクノロジーの進化を背景に、「良心に基づく科学技術の運用」と「芸術と文化の融合」を推進し、地域の持続可能性の向上と世界に平和に貢

献する。その一環として、地域の課題に本気で取り組む人材を育成し、ローカルをデザインし、クリエイトする思考を促す。

この「ビジョン2034」の実現に向け、中期計画2029では、「ビジネス」「テクノロジー」「クリエイティビティ」の3つの要素を越境して思考できる人材の育成を重視し、教育の質を高めることを目指す。これにより、学生が希望する進路に進めるよう、社会で活躍できる力を育成する。

2. 教育課程編成

本学の教育課程は、全学共通の《基盤科目》と学科毎の《学科科目》を有機的に連動させ、ディプロマ・ポリシーで定める「4つの力」と「10の能力要素」の修得を可能にする。特に、初年次教育では、大学の理念を学ぶ科目やICTリテラシーなどを導入し、大学の学びへのスムーズな接続を図る。

身につけるべき4つの力	10の能力要素	内容
本質を見ようとする姿勢、純粋な目 〈想像力〉	知識・理解	人間、社会、自然に関する体系的知識の習得と理解
	思考力	正しい情報をもとに、物事を理論的・体系的に考えぬく力
	課題発見力	対象の本質や成り立ちを探究し、その課題を考えぬく力
想いを形にできる力 〈創造力〉	発想・構想力	豊かな感性からの直感を、概念・イメージなどにまとめあげる力
	表現力	概念・イメージなどを、適切な技術・技法を用いて様々な媒体によって視覚化する力
問題提起と解決への強い意志 〈意志〉	倫理性	〔芸術学部〕 自らの良心に従い、社会のために芸術の力を用いる姿勢 〔デザイン工学部〕 自らの良心に従い、社会のためにデザインの力を用いる姿勢
	実行力	〔芸術学部〕 主体性を持って粘り強く課題に取り組み、周囲を動かし確実に実行する力 〔デザイン工学部〕 自ら設定した課題に粘り強く取り組み、周囲を動かし確実に実行する力
社会的・職業的自立のための能力・態度 〈社会性〉	基礎学力	読み・書き・計算・コンピュタリテラシー、情報リテラシー
	自己管理力	自らを律し将来の成長のために主体的に学ぼうとする力
	人間関係形成力	多様な他者を理解し、自分の考えを正確に伝えつつ、他者と協力・協働して社会に参画する力

3. 副専攻プログラムの導入

令和8（2026）年度から、新たに「副専攻プログラム」を導入する。これにより学生は自身の専門を社会で活かす力を養い、将来のキャリア選択に柔軟に対応できる力を身につけることを目指す。本プログラムでは、学習領域を拡大（広い選択）することで、知識の拡張（広い学修）と拡充（深い中身）を実現する。副専攻プログラムでは、2つの副専攻（グローバル・コミュニケーション、クリエイティブ・キャリア）を配置して、専門性の応用力、多様なキャリアパス、イノベーションと創造性の促進を図る。

本学は、これらの教育課程を通じて、学生が地域社会や国際社会で活躍できる力を身につけられるよう、教育の質をさらに向上させていく。

副専攻の名称	設置目的
グローバル・コミュニケーション	実践的な英語力と国際的な視野を養い、グローバル環境で活躍できる人材を育成する。
クリエイティブ・キャリア	アートやデザインの専門的な知識とスキルを活かし、ビジネスや起業の場で実践できる能力を養い、幅広いキャリアパスを開拓できる人材を育成する。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学では、学位授与方針に基づき、学生が身につけるべき4つの力と10の能力要素を設定している。これを実現するために、少人数制の演習授業と能動的授業の2つを重視した教育方法を採用している。少人数制の授業では、学生一人ひとりの特性を伸ばし、能動的授業では、他者と協調する姿勢を育むことができる。今回の収容定員の変更では、学科毎の入学定員を増加させるものであり、一部の科目ではクラス数を増設する等の対応を行うため、現行の教育方法には影響がないと考えている。

履修指導では、各学期の初めに、学科毎に学年別の履修ガイダンスを実施し、さらに各学科の事務担当職員による個別履修相談会を設けている。また、学期毎の成績確定の後には、各学生の成績状況を踏まえた次学期の履修指導の機会も提供している。このように、年間を通じて組織的に履修指導を行っているため、今回の収容定員の変更による履修指導上の問題は発生しないと考えている。

また、本学では、学生の学修を支援する「学生ポータルサイト [NETBUS]」を導入し、①シラバス閲覧と履修登録、②授業資料の閲覧と課題提出、③時間割確認と成績確認、④アセスメントテスト結果閲覧が可能である。これにより学生自身が学修状況や成果を俯瞰し、計画的に学習を進められる環境が整備されている。

（ウ）教員組織の変更内容

教員組織は、教育課程の編成方針に基づき、主要な授業科目に応じて優れた教育・研究実績や実務経験を有する基幹教員を配置する。

今回の収容定員の変更に伴い、令和11（2029）年度の完成年次までに、現在のS/T比と同水準を維持できるよう、計画的に組織編制を行う。これにより、変更前と同等の教員組織を確保し、教育の質を維持する。

変更前後の教員数とS/T比

学科名	変更前			変更後		
	収容定員	教員数	S/T 比	収容定員	教員数	S/T 比
歴史遺産学科	232	9	25.7	204	8	25.5
グラフィックデザイン学科	272	9	30.2	360	13	27.7
映像学科	248	9	27.6	360	13	27.7
企画構想学科	320	12	26.7	320	12	26.7

※変更前の歴史遺産学科の収容定員、教員数には、文化財保存修復学科を含む。

※変更前の企画構想学科の収容定員、教員数には、コミュニティデザイン学科も含む。

(エ) 大学全体の施設整備の変更内容

本学は、蔵王の雄大な自然を背景に、山形の市街地に向かって開かれた丘陵地帯に位置している。東西約200m、南北約1kmにわたる約21haの広大な敷地を有し、そのうち校舎敷地・運動場用地として約163,624.76㎡（校地面積）を使用している。

1. 校地面積と運動施設

幼保連携型認定こども園との共用面積2,907.19㎡を除いた大学専用の校地面積は163,624.76㎡であり、今回の収容定員増加後の2,544人に対して、大学設置基準上で求められる必要面積25,440㎡の6.4倍にあたる広さを有している。

運動場としては、400mトラックが優に収まる全面芝生のグラウンド（35,282.00㎡）とテニスコート（2面）を備えており、授業やサークル活動などに活用されている。また、大学正面には約2,000㎡の池が広がり、滝下に設置された風と水で動く彫刻作品「フォンテーヌ」とともに親水空間として学生や市民に親しまれている。

さらに、本学の東側には山形県が管理する都市公園「悠創の丘」（約30ha）が広がり、同敷地内にある展示施設「悠創館」では、本学と連携した芸術作品の展示が定着している。

このように、本学は芸術創造に恵まれた良質な環境と設置基準の約6倍の校地内で、創作活動に取り組むことができる。定員増に合わせた校地の拡張の予定はないが、引き続き広大な敷地を適切に管理することで、教育環境を維持・向上することは可能である。

2. 施設整備の方針

現在の校舎面積は、39,189.82㎡であり、収容定員増加後の大学設置基準上で必要な28,878㎡の1.35倍と、講義室、演習室、研究室等も十分な面積を確保している。従って、新たな施設を建設しなくても大学設置基準上は可能であるが、入学定員を合計50名増やすデザイン工学部においては、新校舎「デザイン工学実習棟D（仮称）」（地上2階建て・建築面積931.25㎡／延べ床面積1,845.00㎡）を建設し、多様な教育方法に対応する。なお、新校舎の利用開始は令和9（2027）年10月を予定している。また、新校舎増築後の校舎面積は、41,034.82㎡となり大学設置基準上必要な28,878㎡の1.42倍となる。

3. 学科毎の施設の再配置

新校舎の建設と既存施設の再配置により、以下のとおり教育環境を向上させる。

グラフィックデザイン学科は、新校舎の可動式ホワイトボードで間仕切り可能な演習室4室を専用化し、既存の「デザイン工学実習棟B」2階演習室と合わせて1,753㎡（475㎡増）を割り当てる。

映像学科は、「デザイン工学実習棟B」2階の4演習室を新たに配置し、同棟1階の演習室1,189㎡と合わせて1,785㎡（596㎡増）を割り当てる。

企画構想学科は、募集停止するコミュニティデザイン学科の施設である「デザイン工学実習棟A」の演習室554㎡を再配置し、既存の「デザイン工学実習棟C」の演習室と合わせて1,156㎡（554㎡増）を割り当てる。

これらのことから、収容定員増を行うデザイン工学部3学科の学生1人あたりの占有面積は平均0.3㎡の増加となり、教育環境を向上させることが可能となる。

グラフィックデザイン学科が使用する新校舎の利用開始は令和9（2027）年10月を予定していることから、令和9（2027）年9月末までの期間の経過措置については次のとおり対応する。

定員増となるグラフィックデザイン学科、映像学科ともに講義系科目／全学共通科目は現在と同様に本館講義室（含むりモート授業）に配置することで対応する。

グラフィックデザイン学科の1年次、2年次前期に配当される演習科目は本館205講義室（155.73㎡）、本館206講義室（159.51㎡）を時間割に応じて活用することで対応する。

映像学科については、1年次配当科目は207講義室／208講義室（共に208.78㎡）を割り当て、2年次前期配当科目のうち3クラス以上（上限30人/クラス）で編成する科目は、デザイン工学実習棟B1階の既存演習室で対応することが可能である。1～2クラス編成で収容人数が45～90人となる科目は205講義室（155.73㎡）、本館206講義室（159.51㎡）を時間割に応じて活用することで対応する。

歴史遺産学科（入学定員19名増：収容定員204名）は、募集停止する文化財保存修復学科（入学定員26名、収容定員104名）の施設である「文化財保存修復研究センター」を引き継ぐことで、既存の本館演習室261㎡と合わせて898㎡（637㎡増）となることから、新たな施設・設備を拡充しなくても現在よりも教育環境が向上する。

4. 教育設備の整備

ICT環境は、全学生がノートパソコンを必携とするBYOD（Bring Your Own Device）に対応した無線LAN環境を整備し、SINET（学術情報ネットワーク）による10Gbpsの高速回線を導入している。新校舎についても同様の環境となるよう整備する。

演習室は、プロジェクション対応の可動式ホワイトボードで間仕切りし、可動式の机・椅子により少人数から学年単位のグループ学習、ディスカッションに対応可能な仕様とする。さらに、ICTにより地域課題を抱える自治体・地域住民と双方向でやり取りを可能とするAV設備を備え、共通演習室には3Dプリンタや多機能プリンタを設置することで、多様化する学びに対応する計画である。

以上のとおり校舎・設備については、新校舎の建設と既存施設の再配置により、教育環境の充実を図ることができる。よって、収容定員の増加による教育水準の低下はなく、既存施設を有効活用しながら大学の活性化と経営の安定化を図るものである。

【資料１】収容定員の変更を計画する学科の過去５年間（令和２（２０２０）年度～令和６（２０２４）年度）の志願倍率および定員充足率

歴史遺産学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度 5 年間の平均
入学定員	32	32	32	32	32	32
志願者数	99	92	99	101	103	99
志願倍率	3.09	2.88	3.09	3.16	3.22	3.09
受験者数	99	91	94	86	102	94.4
合格者数	55	55	48	61	50	53.8
不合格者数	44	36	46	25	52	40.6
入学者数	30	34	31	32	29	31.2
歩留まり率	0.55	0.62	0.65	0.52	0.58	0.58
定員充足率	93.75%	106.25%	96.88%	100.00%	90.63%	97.50%

グラフィック デザイン学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度 5 年間の平均
入学定員	68	68	68	68	68	68
志願者数	467	367	436	450	357	415
志願倍率	6.87	5.40	6.41	6.62	5.25	6.11
受験者数	465	358	421	440	352	407.2
合格者数	87	87	91	82	80	85.4
不合格者数	378	271	330	358	272	321.8
入学者数	71	67	72	69	71	70
歩留まり率	0.82	0.77	0.79	0.84	0.89	0.82
定員充足率	104.41%	98.53%	105.88%	101.47%	104.41%	102.94%

映像学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度 5 年間の平均
入学定員	62	62	62	62	62	62
志願者数	402	301	389	390	294	355
志願倍率	6.48	4.85	6.27	6.29	4.74	5.73
受験者数	399	294	380	383	287	348.6
合格者数	76	71	79	79	77	76.4
不合格者数	323	223	301	304	210	272.2
入学者数	63	63	65	61	62	62.8
歩留まり率	0.83	0.89	0.82	0.77	0.81	0.82
定員充足率	101.61%	101.61%	104.84%	98.39%	100.00%	101.29%

企画構想学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度 5 年間の平均
入学定員	50	50	50	50	50	50
志願者数	295	220	196	224	148	217
志願倍率	5.90	4.40	3.92	4.48	2.96	4.34
受験者数	292	219	195	217	148	214.2
合格者数	68	58	59	57	59	60.2
不合格者数	224	161	136	160	89	154
入学者数	51	49	51	50	51	50.4
歩留まり率	0.75	0.84	0.86	0.88	0.86	0.84
定員充足率	102.00%	98.00%	102.00%	100.00%	102.00%	100.80%

学位又は称号	学位（芸術）	学位又は学科の分野	美術関係	
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法			授業期間等	
文化財保存修復コースでは、学科専門必修科目70単位、学科専門選択必修科目8単位、基盤科目30単位以上、学科専門選択科目6単位以上、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、立体修復・技法演習、東洋絵画修復演習、西洋絵画修復演習から8単位修得すること。 学科専門選択科目は、選択科目から選択必修科目を除いた科目から6単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし） 歴史遺産コースでは、学科専門必修科目54単位、学科専門選択必修科目20単位、基盤科目30単位以上、学科専門選択科目8単位以上、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、先史考古学特論、歴史考古学特論から2単位、中世歴史学特論、近世歴史学特論から2単位、考古学応用演習1、歴史学応用演習1、民俗・人類学応用演習1から8単位、考古学応用演習2、歴史学応用演習2、民俗・人類学応用演習2から8単位、計20単位修得すること。 学科専門選択科目は、選択科目から選択必修科目を除いた科目から8単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）			1 学年の学期区分	2 期
			1 学期の授業期間	1 4 週
			1 時限の授業の標準時間	8 0 分

- (注)
- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

学位又は称号	学位（芸術）	学位又は学科の分野	美術関係
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等	
学科専門必修科目26単位、コース専門必修科目62単位または64単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、アートキャリア論、アーティストマネジメントから2単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	1 4 週
		1 時限の授業の標準時間	8 0 分

- (注)
- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校¹の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行う場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合は届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行う場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学等又は短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - （１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加えて前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - （２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - （３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

学位又は称号	学士（芸術）	学位又は学科の分野	美術関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
工芸デザイン学科専門必修科目80単位、全学共通科目より35単位、工芸デザイン学科専門選択科目及び、全学共通専門科目より9単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	1 4 週
		1 時限の授業時間	8 0 分

- （注）
- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

グローバルコミュニケーション	多文化理解	2・3・4前後			2		○							1	メディア											
	ENGLISH 101	1・2・3前後			2			○						4	複数クラス											
	ENGLISH 102	1・2・3前後			2			○						1												
	日本語 1（留学生のみ）	1前			2			○						2	オムニバス											
	Presentation in ENGLISH	2・3・4前			1			○						1												
	Communicative ENGLISH	2・3・4後			1			○						1												
	Academic ENGLISH	1・2・3・4前後			1			○						1												
	Practical ENGLISH (for TOEIC test)	1・2・3・4前後			1			○						1												
	日本語 2（留学生のみ）	1後			2			○						2	オムニバス											
	小計（9科目）	－	－	0	14	0	－			0	0	0		7												
アート＆デザイン【コア科目】	総合芸術概論 1	1前後		2			○							2	共同											
	総合芸術概論 2	1・2・3・4前後			2		○							2	共同											
	美術史概論	1・2・3前後			2		○							2	複数クラス											
	デザイン史概論	1・2・3前後			2		○							2	複数クラス											
	色彩学概論	1・2・3前後			2		○							1	メディア											
	立体造形基礎論	1・2・3後			2		○							1												
	編集ディレクション演習	2・3・4前後			2			○						1												
	絵画・デッサン	1・2・3前後			2			○						3	共同											
	小計（8科目）	－	－	2	14	0	－			0	0	0		11	複数クラス											
	小計（32科目）	－	－	0	61	0	－			0	0	0		60												
合計（80科目）		－	－	12	136	0	－			2	0	1		103												
合計（119科目）		－	－	84	172	0	－			4	1	1		109												
学位又は称号		学位（芸術）			学位又は学科の分野				美術関係																	
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等																		
学科専門必修科目72単位、学科専門選択必修科目4単位、基盤科目30単位、学科専門選択科目8単位以上、基盤科目アート＆デザイン エクспанション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、ライティング演習A、ライティング演習B、エディトリアル演習A、エディトリアル演習Bから4単位修得すること。 学科専門選択科目は、選択科目から選択必修科目を除いた科目から8単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）								1 学年の学期区分			2 期															
								1 学期の授業期間			1 4 週															
								1 時限の授業の標準時間			8 0 分															
(注)																										
1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。																										
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。																										
3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。																										
4 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。																										
5 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。																										
6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。																										
7 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。																										
8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。																										
9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。																										
10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。 （1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。 （2）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。 （3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。																										
11 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。																										

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(デザイン工学部プロダクトデザイン学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外を除く教員		
必修科目	プロダクトデザイン入門	1前	○	2			○			5	2	2				オムニバスメディア	
	プロダクトデザイン論 1	1後	○	2			○			1						オムニバスメディア オムニバス	
	プロダクトデザイン論 2	2前	○	2			○			3							
	プロダクトデザイン論 3	3前	○	2			○			1	2	1					
	デッサン・スケッチ	1前	○	4				○		1						1	共同
	コンピュータ基礎演習	1前	○	2				○			1					1	共同
	コンピュータ演習	1後	○	2				○			1						
	思考・構想演習	1前	○	4				○		1							
	素材・造形 1	1前	○	4				○			1	1				1	共同
	素材・造形 2	1後	○	4				○			2	1					オムニバス
	表現伝達演習 1	1後	○	4				○		1		1				1	共同
	表現伝達演習 2	2前	○	4				○		1						1	共同
	UXデザイン演習 1	1後	○	4				○		2							共同
	UXデザイン演習 2	2後	○	2				○		1						1	共同
	プロダクトデザイン演習 1	2前	○	4				○		2	1	1					オムニバス
	プロダクトデザイン演習 2	2後	○	4				○		2		1				1	オムニバス
	プロダクトデザイン演習 3	3前	○	4				○		5	2	1					共同
	プロダクトデザイン演習 4	3後	○	4				○		5	2	1					共同
	プロダクトデザイン研究 1	4前	○	4				○		5	2	1					複数クラス
	プロダクトデザイン研究 2	4後	○	6				○		5	2	1					複数クラス
小計（20科目）	—	—		68	0	0	—			5	2	2			6		
選択科目	材料加工技術論	1・2・3・4後			2		○			2	1					オムニバスメディア	
	応用人間工学	1・2・3・4後			2		○								1	メディア	
	インタフェースデザイン論	2・3・4前			2		○			2						オムニバスメディア	
	インテリアデザイン論	2・3・4前			2		○			1	1				1	オムニバスメディア	
	プロフェッショナルワークショップ 1	1・2・3・4後			1				○		1						
	プロフェッショナルワークショップ 2	1・2・3・4後			1				○						1		
	デジタルワークショップ 1	1・2・3・4前			1			○							1		
	デジタルワークショップ 2	1・2・3・4後			1			○							1		
	デジタルワークショップ 3	2・3・4前			1				○		1				1	共同	
	デジタルワークショップ 4	2・3・4後			1				○		1				1	共同	
	産学共創ワークショップ 1	2・3・4後			1				○	1							
	産学共創ワークショップ 2	3・4後			1				○						1	共同	
	建築構法	1後			2		○								1		
	建築設計論	2後			2		○								1		
	建築計画	2・3・4後			2		○								1	メディア	
	建築設備	2・3・4後			2		○								1	メディア	
	構法デザイン	2・3・4前			2		○								1		
	建築法規	3・4後			2		○								1		
	建築施工	3・4後			2		○								3	共同	
	建築材料	3・4前			2		○								1		
小計（20科目）	—	—		0	32	0	—			5	2	0					

人文社会	現代社会学	1・2・3・4後			2		○								1	メディア	
	社会と政治	2・3・4前後			2		○								1		
	倫理と社会	2・3・4前後			2		○								1		
	日本国憲法	1・2・3・4前			2		○								1		
	知的所有権	2・3・4前後			2		○								1		
	地理学概論	2・3・4前			2		○								1		
	小計（6科目）	—	—	0	12	0	—			0	0	0			4		
自然科学	健康科学論	1・2・3前後		2			○								1	メディア	
	アートデザインのための数理	2・3・4前後			2		○								1		
	データの科学	2・3・4前			2		○								1		
	環境と心理	2・3・4前後			2		○								1		
	生物と自然	2・3・4前後			2		○								1		
	線形代数学	2・3・4後			2		○								1		
	小計（6科目）	—	—	2	10	0	—			0	0	0			4		
グローバルコミュニケーション	多文化理解	2・3・4前後			2		○								1	メディア	
	ENGLISH 101	1・2・3前後			2			○			1				3		複数クラス
	ENGLISH 102	1・2・3前後			2			○							1		
	日本語 1（留学生のみ）	1前			2			○							2	オムニバス	
	Presentation in ENGLISH	2・3・4前			1			○							1		
	Communicative ENGLISH	2・3・4後			1			○							1		
	Academic ENGLISH	1・2・3・4前後			1			○			1						
	Practical ENGLISH (for TOEIC test)	1・2・3・4前後			1			○			1						
	日本語 2（留学生のみ）	1後			2			○							2	オムニバス	
	小計（9科目）	—	—	0	14	0	—			0	1	0			6		
アート&デザイン【コア科目】	総合芸術概論 1	1前後		2			○								2	共同	
	総合芸術概論 2	1・2・3・4前後			2		○								2		共同
	美術史概論	1・2・3前後			2		○								2	複数クラス	
	デザイン史概論	1・2・3前後			2		○								2		複数クラス
	色彩学概論	1・2・3前後			2		○								1	メディア	
	立体造形基礎論	1・2・3後			2		○								1		
	編集ディレクション演習	2・3・4前後			2			○							1		
	絵画・デッサン	1・2・3前後			2			○							3	共同	
	小計（8科目）	—	—	2	14	0	—			0	0	0			11		複数クラス
	アート&デザイン【エクспанション科目】	日本美術史	2・3・4前			2		○								1	
西洋美術史		2・3・4後			2		○								1	メディア	
近現代美術史		2・3・4前			2		○								2	共同	
文化財保存修復入門		2・3・4前			2		○								8	オムニバス	
文化遺産マネジメント		2・3・4後			2		○								1	メディア	
歴史遺産学総論		2・3・4前			2		○								5	オムニバス	
日本建築史		2・3・4後			2		○								1	メディア	
西洋建築史		2・3・4前			2		○								1	メディア	
考古学概論		2・3・4前			2		○								1	メディア	
民俗・人類学概論		2・3・4後			2		○								1	メディア	
地誌学概論		2・3・4後			2		○								1	メディア	
アジア文化論		2・3・4前			2		○								1	メディア	
工芸デザイン入門		2・3・4前			2		○								7	オムニバス	
文芸総論		2・3・4前			2		○								6	メディア	
思想と文学		2・3・4前			2		○								1	メディア	
プロダクトデザイン入門		2・3・4前			2		○								9	オムニバス	
インテリアデザイン論		2・3・4前			2		○								3	メディア	
応用人間工学		2・3・4後			2		○								1	メディア	
生活とグラフィックデザイン		2・3・4前			2		○								1	メディア	
映像文化史		2・3・4前			2		○								8	オムニバス	
メディア文化史		2・3・4後			2		○								6	メディア	
サステナブルデザイン入門		2・3・4前			2		○								1	メディア	
地域デザイン入門		2・3・4後			2		○								1	メディア	
ブランド・マーケティング入門		2・3・4前			2		○								1	メディア	
広告表現入門		2・3・4後			2		○								1	メディア	
商品開発・店舗プロデュース入門		2・3・4前			2		○								1	メディア	
事業計画入門		2・3・4前			2		○								1	メディア	
インターネットビジネス論		2・3・4前			2		○								1	メディア	
現代幸福論		2・3・4後			2		○								1	メディア	
クリエイター起業論		2・3・4後			1		○								1	メディア	
クリエイター起業ゼミナール		2・3・4後			1				○						1	メディア	
イノベーションプロジェクト		2・3・4後			1					○					1	メディア	
障害者・高齢者の心理と福祉		2前			2		○								1	メディア	
教育学研究 1（子供の心理）	2・3・4後			2		○								1	メディア		
教育学研究 2（障害者の病理・心理・教育）	2・3・4後			2		○								1	メディア		
教育学研究 3（児童問題）	2・3・4後			2		○								1	メディア		
教育学研究 4（子供の学びと遊び）	1・2・3・4前			2		○								1	メディア		
教育学研究 5（環境教育）	2・3・4前			2		○								1	メディア		
小計（38科目）	—	—	0	73	0	—			0	0	0			69			
合計（86科目）	—	—	12	148	0	—			0	1	1			112			
合計（138科目）		—	—	64	218	0	—			5	2	1			120		
学位又は称号		学位（デザイン工学）			学位又は学科の分野				工学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
学科専門必修科目52単位、学科専門選択必修科目12単位、基盤科目30単位、学科専門選択科目10単位以上、基盤科目アート&デザイン エクспанション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、建築設計演習3～6及び環境計画演習3～6から12単位修得すること。 学科専門選択科目は、選択科目から選択必修科目を除いた科目から10単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）									1 学年の学期区分				2 期				
									1 学期の授業期間				1 4 週				
									1 時限の授業の標準時間				8 0 分				

-
- (注)
- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 4 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - （１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - （２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - （３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 11 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

アート & デザイン 【コア科目】	総合芸術概論 1	1前後		2		○			1					1	共同
	総合芸術概論 2	1・2・3・4前後		2		○			1					1	共同
	美術史概論	1・2・3前後		2		○								2	複数クラス
	デザイン史概論	1・2・3前後		2		○								2	複数クラス
	色彩学概論	1・2・3前後		2		○								1	メディア
	立体造形基礎論	1・2・3後		2		○								1	
	編集ディレクション演習	2・3・4前後		2			○							1	
	絵画・デッサン	1・2・3前後		2			○							3	共同
	小計（8科目）	—	—	2	14	0	—		0	0	0			11	複数クラス
	アート & デザイン 【エクス パンシ ョン科 目】	日本美術史	2・3・4前			2		○							1
西洋美術史		2・3・4後			2		○							1	メディア
近現代美術史		2・3・4前			2		○							2	共同
文化財保存修復入門		2・3・4前			2		○							8	オムニバス
文化遺産マネジメント		2・3・4後			2		○							1	メディア
歴史遺産学総論		2・3・4前			2		○							5	オムニバス
日本建築史		2・3・4後			2		○							1	メディア
西洋建築史		2・3・4前			2		○							1	メディア
考古学概論		2・3・4前			2		○							1	メディア
民俗・人類学概論		2・3・4後			2		○							1	メディア
地誌学概論		2・3・4後			2		○							1	メディア
アジア文化論		2・3・4前			2		○							1	メディア
工芸デザイン入門		2・3・4前			2		○							7	オムニバス
文芸総論		2・3・4前			2		○							6	オムニバス
思想と文学		2・3・4前			2		○							1	
プロダクトデザイン入門		2・3・4前			2		○							9	オムニバス
インテリアデザイン論		2・3・4前			2		○							3	オムニバス
応用人間工学		2・3・4後			2		○							1	メディア
建築デザイン論		2・3・4後			2		○							1	
都市空間デザイン		2・3・4後			2		○							1	メディア
映像文化史		2・3・4前			2		○							8	オムニバス
メディア文化史		2・3・4後			2		○							6	オムニバス
サステナブルデザイン入門		2・3・4前			2		○							1	
地域デザイン入門		2・3・4後			2		○							1	メディア
ブランド・マーケティング入門		2・3・4前			2		○							1	メディア
広告表現入門		2・3・4後			2		○							1	メディア
商品開発・店舗プロデュース入門		2・3・4前			2		○							1	
事業計画入門		2・3・4前			2		○							1	メディア
インターネットビジネス論		2・3・4前			2		○							1	メディア
現代幸福論		2・3・4後			2		○							1	
クリエイター起業論		2・3・4後			1		○							1	
クリエイター起業ゼミナール		2・3・4後			1			○						1	
イノベーションプロジェクト		2・3・4後			1			○						1	
障害者・高齢者の心理と福祉		2前			2		○							1	
教育学研究 1（子供の心理）		2・3・4後			2		○							1	
教育学研究 2（障害者の病理・心理・教育）		2・3・4後			2		○							1	
教育学研究 3（児童問題）	2・3・4後			2		○							1		
教育学研究 4（子供の学びと遊び）	1・2・3・4前			2		○							1		
教育学研究 5（環境教育）	2・3・4前			2		○							1		
小計（39科目）	—	—	0	75	0	—		0	0	0			71		
合計（87科目）	—	—	12	150	0	—		3	2	1			110		
合計（118科目）		—	—	74	182	0	—		6	4	3			114	
学位又は称号		学位（デザイン工学）			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等								
学科専門必修科目62単位、学科専門選択必修科目16単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、ビジュアルデザイン実践1、ビジュアルデザイン実践2から4単位、ビジュアルデザイン実践3、ビジュアルデザイン実践4から4単位、ビジュアルデザイン実践5、ビジュアルデザイン実践6から4単位、ビジュアルデザイン実践7、ビジュアルデザイン実践8から4単位、計16単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）							1 学年の学期区分				2 期				
							1 学期の授業期間				1 4 週				
							1 時限の授業の標準時間				8 0 分				

- (注)
- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 4 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
（1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
（2）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
（3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 11 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

アート&デザイン【コア科目】	総合芸術概論 1	1前後		2		○		1				1	共同	
	総合芸術概論 2	1・2・3・4前後		2		○		1				1	共同	
	美術史概論	1・2・3前後		2		○						2	複数クラス	
	デザイン史概論	1・2・3前後		2		○						2	複数クラス	
	色彩学概論	1・2・3前後		2		○						1	メディア	
	立体造形基礎論	1・2・3後		2		○						1		
	編集ディレクション演習	2・3・4前後		2			○	1						
	絵画・デッサン	1・2・3前後		2			○					3	共同	
	小計（8科目）	—	—	2	14	0	—	1	0	0			11	複数クラス
	アート&デザイン【エクスパンション科目】	日本美術史	2・3・4前			2		○						1
西洋美術史		2・3・4後			2		○						1	メディア
近現代美術史		2・3・4前			2		○						2	共同
文化財保存修復入門		2・3・4前			2		○						8	オムニバス
文化遺産マネジメント		2・3・4後			2		○						1	メディア
歴史遺産学総論		2・3・4前			2		○						5	オムニバス
日本建築史		2・3・4後			2		○						1	メディア
西洋建築史		2・3・4前			2		○						1	メディア
考古学概論		2・3・4前			2		○						1	メディア
民俗・人類学概論		2・3・4後			2		○						1	メディア
地誌学概論		2・3・4後			2		○						1	メディア
アジア文化論		2・3・4前			2		○						1	メディア
工芸デザイン入門		2・3・4前			2		○						7	オムニバス
文芸総論		2・3・4前			2		○						6	メディア
思想と文学		2・3・4前			2		○						1	
プロダクトデザイン入門		2・3・4前			2		○						9	オムニバス
インテリアデザイン論		2・3・4前			2		○						3	オムニバス
応用人間工学		2・3・4後			2		○						1	メディア
建築デザイン論		2・3・4後			2		○						1	
都市空間デザイン		2・3・4後			2		○						1	メディア
生活とグラフィックデザイン		2・3・4前			2		○						1	メディア
サステナブルデザイン入門		2・3・4前			2		○						1	
地域デザイン入門		2・3・4後			2		○						1	メディア
ブランド・マーケティング入門		2・3・4前			2		○						1	メディア
広告表現入門		2・3・4後			2		○						1	メディア
商品開発・店舗プロデュース入門		2・3・4前			2		○						1	
事業計画入門		2・3・4前			2		○						1	メディア
インターネットビジネス論		2・3・4前			2		○						1	メディア
現代幸福論		2・3・4後			2		○						1	
クリエイター起業論		2・3・4後			1		○						1	
クリエイター起業ゼミナール		2・3・4後			1			○					1	
イノベーションプロジェクト		2・3・4後			1			○					1	
障害者・高齢者の心理と福祉		2前			2		○						1	
教育学研究 1（子供の心理）		2・3・4後			2		○						1	
教育学研究 2（障害者の病理・心理・教育）		2・3・4後			2		○						1	
教育学研究 3（児童問題）		2・3・4後			2		○						1	
教育学研究 4（子供の学びと遊び）		1・2・3・4前			2		○						1	
教育学研究 5（環境教育）		2・3・4前			2		○						1	
小計（38科目）		—	—	0	73	0	—	0	0	0			59	
合計（86科目）		—	—	12	148	0	—	2	1	1			100	
合計（115科目）		—	—	84	184	0	—	5	4	4			106	
学位又は称号		学位（デザイン工学）			学位又は学科の分野			工学関係						
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等							
学科専門必修科目72単位、学科専門選択必修科目12単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 学科専門選択必修科目は、アニメーション1～3、ビジュアルデザイン1～3、ムービーデザイン1～3のいずれか1分野12単位修得すること。 （履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）							1 学年の学期区分			2 期				
							1 学期の授業期間			1 4 週				
							1 時限の授業の標準時間			8 0 分				

（注）

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
（１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
（２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
（３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

アート & デザイン 【エク スパン ション 科目 目】	日本美術史	2・3・4前			2	○							1	メディア
	西洋美術史	2・3・4後			2	○							1	メディア
	近現代美術史	2・3・4前			2	○							2	共同
	文化財保存修復入門	2・3・4前			2	○							8	オムニバス メディア
	文化遺産マネジメント	2・3・4後			2	○							1	メディア
	歴史遺産学総論	2・3・4前			2	○							5	オムニバス メディア
	日本建築史	2・3・4後			2	○							1	メディア
	西洋建築史	2・3・4前			2	○							1	メディア
	考古学概論	2・3・4前			2	○							1	メディア
	民俗・人類学概論	2・3・4後			2	○							1	メディア
	地誌学概論	2・3・4後			2	○							1	メディア
	アジア文化論	2・3・4前			2	○							1	メディア
	工芸デザイン入門	2・3・4前			2	○							7	オムニバス メディア
	文芸総論	2・3・4前			2	○							6	オムニバス メディア
	思想と文学	2・3・4前			2	○							1	
	プロダクトデザイン入門	2・3・4前			2	○							9	オムニバス メディア
	インテリアデザイン論	2・3・4前			2	○							3	オムニバス メディア
	応用人間工学	2・3・4後			2	○							1	メディア
	建築デザイン論	2・3・4後			2	○							1	
	都市空間デザイン	2・3・4後			2	○							1	メディア
	生活とグラフィックデザイン	2・3・4前			2	○							1	メディア
	映像文化史	2・3・4前			2	○							8	オムニバス メディア
	メディア文化史	2・3・4後			2	○				1			6	オムニバス メディア
	現代幸福論	2・3・4後			2	○								
	クリエイター起業論	2・3・4後			1	○							1	
	クリエイター起業ゼミナール	2・3・4後			1		○						1	
	イノベーションプロジェクト	2・3・4後			1		○						1	
小計（27科目）	—	—	0	51	0	—		0	1	0			61	
合計（231科目）	—	—	36	390	0	—		3	2	2			89	
合計（331科目）		—	—			—		6	3	3			89	
学位又は称号		学位（デザイン工学）			学位又は学科の分野			工学関係						
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等							
企画構想コースでは、学科専門必修科目74単位、学科専門選択科目16単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。（履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし） 地域デザインコースでは、学科専門必修科目78単位、学科専門選択科目4単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。（履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし） 食文化デザインコースでは、学科専門必修科目74単位、学科専門選択科目16単位、基盤科目30単位、基盤科目アート&デザイン エクスパンション科目群4単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。（履修科目の半期毎の登録上限：前学期GPA値1.5未満の者18単位、GPA値1.5以上3.0未満の者22単位、GPA値3.0以上の者：制限なし）							1 学年の学期区分			2 期				
							1 学期の授業期間			1 4 週				
							1 時限の授業の標準時間			8 0 分				

- (注)
- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 4 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
（1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
（2）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
（3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 11 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

（１）収容定員を増加する組織の概要.....	- 2 -
① 収容定員を増加する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）...	- 2 -
② 収容定員を増加する組織の特色.....	- 2 -
（２）人材需要の社会的な動向等	- 3 -
① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析.....	- 3 -
② 中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析.....	- 5 -
③ 収容定員を増加する組織の主な学生募集地域.....	- 6 -
④ 既設組織の定員充足の状況	- 6 -
（３）学生確保の見通し	- 8 -
① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	- 8 -
ア 既設組織における取組とその目標	- 8 -
イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標.....	- 8 -
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，定員を増加する組織での入学者の見込み数	- 9 -
② 競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）....	- 9 -
ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性	- 9 -
イ 競合校の入学志願動向等.....	- 12 -
ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）	- 13 -
エ 学生納付金等の金額設定の理由.....	- 13 -
③ 先行事例分析	- 14 -
先行事例がないため省略	- 14 -
④ 学生確保に関するアンケート調査.....	- 14 -
⑤ 人材需要に関する状況について.....	- 16 -
ア 本学に寄せられる人材需要（求人状況）について.....	- 16 -
イ 就職率と進路決定率について	- 17 -
（４）定員を増加する組織の定員設定の理由.....	- 19 -

(1) 収容定員を増加する組織の概要

① 収容定員を増加する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

収容定員を増加する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科	51	0	204	山形県山形市上桜田三丁目4番5号
東北芸術工科大学 デザイン工学部 グラフィックデザイン学科	90	0	360	山形県山形市上桜田三丁目4番5号
東北芸術工科大学 デザイン工学部 映像学科	90	0	360	山形県山形市上桜田三丁目4番5号
東北芸術工科大学 デザイン工学部 企画構想学科	80	0	320	山形県山形市上桜田三丁目4番5号

② 収容定員を増加する組織の特色

(1) 歴史遺産学科

地域に伝わる生活文化や歴史遺産を大切な文化資源として次世代へつなぎ、特色ある地域社会の実現に貢献できる人材、また、文化財の保存と修復の実践を通して、美と文化の大切さを次世代に伝え、人々の心豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

地域文化とりわけ東北の民俗・文化と考古遺跡・歴史的建築・文化的景観などを後世に残すための考え方や知識を学び、フィールドワークを中心とする演習プログラムを組み合わせるとともに、文化財を保存することの意義と修復の考え方、そして科学的な知識などを学ぶ科目群と、修復に必要なプロセスや技術を体系的に学ぶための演習プログラムを設定している。

(2) グラフィックデザイン学科

グラフィックデザインの実践を通じて、社会の様々な場面でクリエイティブな発想により問題解決ができ、広く社会に貢献する人材を育成する。

社会における視覚伝達の役割や生活におけるグラフィックデザインの本質を学ぶ科目と、グラフィックデザインの基礎スキルや表現技法を修得する体系的な演習を基礎とし、作品制作を通じてクリエイティブ思考を養う教育を行う。

(3) 映像学科

映像表現や技術を探究し続けながら、映像作品として世の中に発信し、映像デザインで地域や社会の課題解決に貢献する人材を育成する。

多様な映像メディアに関する知識とスキル、およびその創造性を探求するための科目群と、映像を用いた多様な価値の創造を追求する思考を養うための演習プログラムを設定し、実践的な教育を行う。

(4) 企画構想学科

コトのデザインの視点から、日常生活を彩る様々な企画の立案と実践を通じて、人と地域の喜びのために「幸せをデザイン」できる人材、および、地域社会をデザインし、持続可能

な社会の実現のために、地域住民と協働でより良い社会づくりに貢献できる人材を育成する。

アイデア発想法の基礎から企画立案に欠かせない知識とスキルを学ぶ総合的な科目群と、それに連動するプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）型の演習を段階的に展開し、商品開発やイベント企画、情報発信など実践的な教育を行うほか、持続可能な地域社会のあり方とワークショップデザインで必要とされる知識とスキルを学ぶ体系的な科目群と、実際の地域を対象に行うコミュニティ・ベースド・ラーニング（CBL）演習によって地域社会の問題解決能力を養う体験的な教育を行う。

（2）人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

（ア） 歴史遺産学科

日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会が令和5（2023）年にまとめた「地域社会の継承・発展を支える文化財保護のあり方について」の中で、「文化財保護の将来を担う専門人材育成の強化について」として、「文化財保護の持続的な継承・発展を図るためには、意欲ある学生の増加を期待するだけの受け身の姿勢でなく、専門人材を育成し送り出す大学と専門職員の能力向上を図る文化庁や自治体の文化財行政当局が連携・接続して後継人材の積極的な育成を図ることが必要」としており、本学の附置機関である「文化財保存修復研究センター」を通じて文化財行政当局等と接続しながら学修ができる歴史遺産学科の環境は、まさに求められているものである。

また、山形県が令和4（2022）年に策定した「山形県文化財保存活用大綱」において、全体理念を「文化財は未来に伝える地域の宝～保存と活用の好循環によって文化財を確実に次世代へ継承する～」としており、それを支える視点として「地域全体での継承の視点」「関係者による連携の視点」の2つをあげている。

さらに、宮城県が令和3（2021）年に策定した「宮城県文化財保存活用大綱」においては、基本方針として《方針1 文化財を守り育む土台をつくる》《方針2 文化財を適切に理解する》《方針3 文化財を循環型社会システムに組み込む》《方針4 文化財の災害対応力を高める》を掲げ、特に《方針1 文化財を守り育む土台をつくる》において、「行政組織の中に文化財を知る専門職員を配置することが重要であり、かつ継続的に配置する」「埋蔵文化財に限らず、専門職員が不在、あるいは少人数の市町村に対しては継続的に協力するとともに、職員の配置・増員を模索・指向しながら、近隣市町村との連携で問題解消ができるような体制整備を促進」「大学や専修学校、専門技術者や研究者が組織する団体と連携を取り、平時だけでなく非常時を想定した仕組みづくりを検討」などとしており、地域的にも歴史遺産分野の人材が求められていることが示されている。

このように、今回の収容定員の変更は、歴史遺産学科が養成する人材の、全国的、地域的、社会的動向を踏まえたものであり、今後も継続して需要があると判断している。

（イ） グラフィックデザイン学科

公益財団法人日本デザイン振興会と三菱総合研究所が令和5（2023）年3月に実施した「第2回 企業経営におけるデザイン活用実態調査」では、デザイン経営がビジネスにプラスの影響を与える可能性が再確認された。しかし一方で、「新商品やサービスのデザインをリードできるデザイナーの不足」など、デザイン経営の進展状況や課題に大きな変化が見られない点が課題として指摘されている。この結果は、将来的にデザインへの投資がさまざまな業種・

業界で期待されていることを示しており、デザイン経営のさらなる普及に向けた基盤が形成されつつあるといえる。

また、山形県商工観光部が平成24（2012）年に策定した「山形県デザイン振興指針」では、「ものづくりには生活や文化を進化させ、新たなライフスタイルを創造する力が求められ、時代とともに多様化する個人や社会のニーズに応える必要がある」とされている。特に、企業側の視点（プロダクトアウト）ではなく市場の視点（マーケットイン）を重視し、「ニーズを発想し新しい価値を創造する」ために、感性を意識したデザインが重要とされている。そのため、企業のデザイン力向上やデザインに関する相談・支援体制の充実が必要であり、デザインスキルを持つ人材の育成や「山形発」のオリジナルデザインの創出が求められている。このような背景から、グラフィックデザインを学んだ人材が特に期待されている。

以上より、今回の収容定員変更は、グラフィックデザイン学科で育成する人材が、全国的・地域的・社会的な動向に基づいて引き続き需要があると判断された結果といえる。

（ウ） 映像学科

近年、映像コンテンツは、エンターテインメントや広告業界にとどまらず、教育、医療、観光、地域活性化といったさまざまな分野で活用される重要なツールとなっている。特に、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展に伴い、映像を用いた効果的なコミュニケーションやプロモーションの需要が急速に拡大している。デジタルコンテンツ協会（DCAJ）が令和5（2023）年4月に発行した「動画配信市場調査レポート2023」では、国内外での動画配信市場の成長率が年平均7%を超え、令和9（2027）年には5,670億円まで成長するとした。

また、地域レベルでは、総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課放送コンテンツ海外流通推進室が令和5（2023）年にまとめた「映像コンテンツを活用した地域情報発信に関する調査研究」において、情報発信主体（地方自治体等）と地元映像制作者がエリアプロモーションの映像コンテンツを協力して作るということや映像コンテンツの作り方と波及効果について言及されており、今後ますます自治体や企業が地域ブランドの強化や観光資源のPRに映像を活用する事例が増加し、地元の文化や自然、産業を効果的に発信できる映像制作スキルを持つ人材が不足していることが明らかとなっている。

さらに、映像技術の進化による多様な表現手法の登場や、AIやVR（仮想現実）、AR（拡張現実）といった新技術の普及は、映像制作の可能性を大きく広げており、このような技術を活用できるクリエイターは、国内外問わず多くの業界から求められている。

今回の収容定員変更は、映像学科で育成する人材が、全国的・地域的・社会的な動向に基づいて引き続き需要があると判断された結果といえる。

（エ） 企画構想学科

現代社会において、急速な技術革新や価値観の多様化、地域課題の複雑化が進む中、創造的な企画力や構想力を持つ人材の需要が高まっている。特に、地域社会の活性化や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められる中で、地域の特性を活かしたデザインや企画を通じて課題解決を図る人材の育成が重要視されている。

経済産業省が令和4（2022）年に発表した「未来の人材ビジョン」では、デジタル化やグローバル化が進む中で、単なる技術的スキルだけでなく、課題を発見し解決するための「創造的思考力」や「企画力」を持つ人材の重要性が強調されており、特に、社会課題の解決や新しい価値の創出が求められる現代において、こうした能力を持つ人材は、企業や地域社会において不可欠であるとされている。

全国的な動向として、地方創生や地域活性化に関連する政策が進む中、地域資源を活用した新たな価値創造や、地域住民と連携したプロジェクトの企画・運営ができる人材が求められている。総務省や内閣府が推進する「地方創生推進交付金」や「地域おこし協力隊」などの施策により、地域課題に取り組む人材の需要は今後も増加すると予測される。また、観光業や農業、伝統工芸など、地域の特色を活かした産業振興においても、デザイン思考を活用した新たなビジネスモデルの構築が期待されている。

一方、地域的な視点では、東北地方を含む地方都市において、人口減少や高齢化、若年層の流出といった課題が深刻化している。これらの課題に対処するためには、地域の文化や歴史、自然資源を活かしながら、地域住民と協働して持続可能な社会を構築するための企画力を持つ人材が必要であり、特に、地域の課題を的確に分析し、解決策を提案・実行できる人材の需要が高まっている。

さらに、社会的な視点では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みが世界的に進む中で、環境や社会、経済のバランスを考慮した企画・構想が求められている。特に、食文化や地域資源を活用した持続可能なビジネスモデルの構築や、地域コミュニティの再生を目指したプロジェクトの企画・運営が注目されている。これに伴い、食文化デザインや地域デザインの分野で活躍できる人材の育成が、社会的にも重要な課題となっている。

今回の収容定員変更は、企画構想学科で育成する人材が、全国的・地域的・社会的な動向に基づいて引き続き需要があると判断された結果といえる。

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

リクルート進学総研が発表した「マーケットリポート2023【全国版】」【資料1】によると、今回の収容定員変更を行う令和8（2026）年の18歳人口は109.3万人と予想されており、10年後の令和17（2035）年には97.0万人と、100万人を割ると予想されており、厳しい市場環境が見込まれる。

また、リクルート進学総研が発表した「マーケットリポート2023【東北版】」【資料2】によると、今回の収容定員変更を行う令和8（2026）年の本学のキャンパス所在地である山形県を含む東北エリアの18歳人口は71,988人と予想されており、10年後の令和17（2035）年には、60,112人となり16.5%減少するという、非常に厳しい市場環境が見込まれる。

一方で、本学のキャンパス所在地である山形県内の私立3大学（東北公益文科大学・東北文教大学・本学 ※電動モビリティシステム専門職大学は、すでに募集停止を発表しているため除外）の令和4（2022）年度からの3年間の定員充足率は、101.15%、96.76%、94.15%と減少しているが、宮城を除く東北エリアの定員充足率がここ3年間で91.71%から78.14%に急減している中においては、比較的安定した充足状況にある【資料3】。

なお、東北エリアにおける平成26（2014）年から令和5（2023）年までの進学率（現役）【資料4】は、6.9%上昇しており、本学入学者（令和6（2024）年度608名）の大半を占める山形県（令和6（2024）年度162名）および宮城県（令和6（2024）年度142名）における進学率もそれぞれ4.8%、6.3%の上昇を示している。

一方、日本私立学校振興・共済事業団の「令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」【資料5】では、入学定員充足率が100%を超えた学部系統は、全12の系統のうち、「医学」、「農学系」、「社会科学系」、「芸術系」の4つの系統となっている。「芸術系」の学部の過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の入学定員充足率は、105.2%となっており、過年度においても安定していることがわかる。

また、令和6（2024）年度における全学部系統別の歩留まり率の平均が0.33であるのに対して、「芸術系」は0.63と高く、一定の志願倍率を維持しながら、高い歩留まり率によって「芸術系」が定員充足していることがわかる。

以上より、18歳人口の減少を踏まえた場合、大学進学率の上昇、および芸術系志願者の安定によって、収容定員変更後も、入学定員の確保は可能と考えられる。

③ 収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

本学に入学した学生の出身地の割合は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均で、山形県25.9%、宮城県24.5%と、この両県で半数を占めている【資料6】。また、山形・宮城を含む東北6県で70.7%となっており、今後も東北6県から同等の構成比で入学者が推移すると見込まれる。

また、本学では外国人留学生の志願者数の増加に努め、現在ではソウルに現地事務所を開設し、現地の高校・美術予備校等で本学の活動を広く周知している。今後は、姉妹校である京都芸術大学が上海、台北に設置している現地事務所との連携を強化していく。独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が発表した「2023（令和5）年度外国人留学生在籍状況調査結果」によると、出身国（地域）別留学生数は、中国が115,493人（構成比1位：41.4%）、韓国が14,946人（構成比4位：5.4%）、台湾が6,998人（構成比6位：2.5%）となっており、3つの国と地域で49.3%を占めている【資料7】。このことから、外国人留学生を入学者として想定すること、及び主たる学生募集活動を行う国として中国・韓国・台湾を設定していることは妥当だと判断している。

また、芸術系大学への進学希望者を多く抱える国内の日本語学校との連携も強化している。すでに複数の日本語学校グループとの間で進学相談会を実施しており、今後は進学希望者の拡大が見込まれる。

④ 既設組織の定員充足の状況

【添付データ】

- ・既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2）

本学の入学定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が102.46%となっており、安定して入学定員の充足ができていることに加え、志願者数の平均は2,727名、志願倍率は4.60倍となっており、入学者選抜の機能を十分に果たしている【資料8】。

合格者が入学に至る歩留まり率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均で、0.71と高い水準となっている。

（ア）歴史遺産学科

歴史遺産学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が97.50%となっており、100%を切っている。これは、入学定員が32名と少ないことから入学者1名あたりにかかる充足率が大きく、歩留予測の成否によって入学者数が左右されることが原因であり、入学定員の充足は比較的安定してできている。

また、今回の収容定員増においては、募集停止となる文化財保存修復学科で開設されていた分野を歴史遺産学科内で展開する予定により、従来の歴史遺産学科の志願者に加えて、文化財

保存修復分野の志願者も獲得が可能となる。文化財保存修復学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が98.46%となっており、100%を切っているが、歴史遺産学科と同様に入学定員が26名と少なく、入学者1名あたりにかかる充足率が大きいことに起因する。

歴史遺産学科の過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の都道府県別入学者は、東北6県出身者が80%【資料9】を占めているが、文化財保存修復学科の過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の都道府県別入学者は、東北以外の出身者が60%となっており、今後はより東北以外の出身者の獲得が見込まれる。

（イ）グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が102.94%となっており、安定して入学定員の充足ができていることに加え、志願者数の平均は415名、志願倍率の平均は6.11倍となっており、入学者の選抜が十分に機能している。

また、歩留まり率が0.82と非常に高い【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-8）】。

入学定員を現状の68名から90名にした場合の志願倍率の試算は4.61倍となり、引き続き入学者の選抜は十分機能する。

（ウ）映像学科

映像学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が101.29%となっており、安定して入学定員の充足ができていることに加え、志願者数の平均は355名、志願倍率の平均は5.73倍となっており、入学者の選抜が十分に機能している。

また、歩留まり率が0.82と非常に高い【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-9）】。

入学定員を現状の62名から90名にした場合の志願倍率の試算は3.94倍となり、引き続き入学者の選抜は十分機能する。

（エ）企画構想学科

企画構想学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が100.80%となっており、安定して入学定員の充足ができていることに加え、志願者数の平均は217名、志願倍率の平均は4.34倍となっており、入学者の選抜が十分に機能している。

今回の収容定員増においては、募集停止となるコミュニティデザイン学科で開設されていた分野を企画構想学科内で展開する予定により、従来の企画構想学科の志願者に加えて、コミュニティデザイン分野の志願者も獲得が可能となる。コミュニティデザイン学科の定員充足率は、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の平均が104%となっており、安定して入学定員の充足ができていることに加え、志願者数の平均は132名、志願倍率の平均は4.41倍となっており、入学者の選抜が十分に機能している。

また、両学科ともに、学校推薦型選抜〔指定校〕での志願者・入学者の割合が高まっており、東北地方の高校より学科の学修内容について十分な理解を得られているため、今後とも安定した定員の充足が見込まれる。

(3) 学生確保の見直し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

【添付データ】

- ・既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙3）

既設組織における学生募集のための令和6（2024）年度の PR 活動は、他大学との合同説明会を年間46件（参加者数全体：1,644名、受験対象者数289名、出願者123名、出願率42.6%）、高校や美術予備校等で年間110件（参加者数全体：1,641名、受験対象者数257名、出願者73名、出願率28.4%）の説明会等を行い、本学の教育・研究活動の特色や学びの実態に加え、本学の進路決定状況などについて広く周知を図っている。

また、山形県立山形東高等学校、山形県立山形西高等学校、山形県立山形北高等学校、山形県立酒田光陵高等学校、山形県立山形工業高等学校、山形県立長井工業高等学校と本学は連携協定を締結しており、模擬授業の実施や探究型学習の指導支援などを通じて、本学の学びに対する理解を深めながら進学意識の醸成を図っている。

さらに、平成26（2014）年から平成28（2016）年にかけて、主に高校教員を対象とした「探究型学習・デザイン思考に関わる研究会」を本学主催で開催し、平成29（2017）年からは「探究型学習研究大会」を開催している。基調講演や実践報告などによって、探究型学習をより一層深化させるための手がかりを提供している。令和6（2024）年度は対面・オンラインで200名を超える高校教員が参加しており、多くの高校教員との信頼関係構築ができています。

また、本学では教職員・学生が一丸となってオープンキャンパスを実施している。ミニオープンキャンパス等も含め、5月、7月、11月、2月、3月に実施しており、5月と7月は、学科・コース別説明会や総合型選抜入試〔専願体験型〕の模擬体験、教員・学生との個別相談などを行い、学内すべての施設を開放している。2月には多くの市民が来場する「卒業・修了研究／制作展」の会期に合わせて実施し、作品や研究成果を通じて、本学入学4年後の姿を目の当たりにすることで、高校生のロールモデルを示すことができています。

これらによって、オープンキャンパスの受験対象参加者（令和6（2024）年度932名）の入学試験受験率は70%を超える高い状況となっている。今後は、受験対象者の参加者1,000名、受験率72%を目標とし、志願者を確保していく。

イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

いずれの学科においても、教育内容の充実と、産業界から求められる人材育成により、進路の選択肢が大幅に広がることを学生募集活動の中心に据えながら、オープンキャンパスへの来場に結びつけ、高校生と本学学生・教職員が直接接することで、本学希望者を獲得していく。これらにより、ミニオープンキャンパス、5月オープンキャンパス、7月オープンキャンパスの3回のいずれかに参加する受験対象者数の目標として、1,000名を目指す（令和7（2025）年度に向けた募集活動では達成済み）。

また、山形県小国町、山形県立小国高等学校と本学は、人材育成及び地域活性化に関する包括連携協定を締結しており、本学教職員と学生による山形県立小国高等学校への授業支援をはじめ、自治体推薦型入学試験への参画、小国町が実施する地域づくりなどに関する事業への山形県立小国高等学校生徒および本学学生の派遣などを通じて、相互の理解を深めながら、地域に根差し活躍する人材を継続して育成しており、これに賛同する志願者を獲得していくほか、他自治体・高等学校からも連携協

定締結の申し出を受けており、特に歴史遺産学科と企画構想学科においては、より能動的な学修ができる入学者の確保につなげていく。

さらに、本学の教育の取り組みや学生、卒業生、教員は、地元紙を中心に多くのメディアで取り上げられており、新聞においては令和5（2023）年度通算で679件の掲載実績がある。特に、グラフィックデザイン学科、映像学科、企画構想学科では、産学連携による実践的な教育にこれまで以上に注力し、その成果を高校生やその保護者のみならず、メディアを通じて多くの市民に広めることで学科の教育成果の周知を図っていき、結果的に志願へと結びつけていく。また、これらによって採用にも結び付け、高い進路実績を実現することでさらなる志願者の獲得につなげていく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、定員を増加する組織での入学者の見込み数

いずれの学科においても、過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願倍率は3.09～6.11倍であり、定員を増加した場合の定員をすでに超えた志願者の確保が来ている。さらに、オープンキャンパスの開催内容の見直し等を行い、受験対象者数の拡大とオープンキャンパスからの出願率を維持・向上させることにより、入学者選抜の水準を維持しつつ定員増加した場合の入学定員を充足できると判断している。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

立地条件、養成人材、教育内容等と方法の類似性と定員充足状況を踏まえ、競合校として次の通り選定する。

1) 歴史遺産学科

競合校 東北学院大学文学部歴史学科（定員170名）

○競合校選定の理由

隣県の宮城県仙台市に所在しており、毎年入学者へ依頼する「新入生アンケート」内の設問に「本学以外で進学を比較・検討した大学」の入力欄があり、歴史遺産学科入学者の過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）では東北学院大学が最も回答が多い16名だったことから選定した【資料10】。

○競合校との比較分析

・教育内容と方法

東北学院大学文学部歴史学科では、日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学の5分野を学ぶことができ、本学にはない海外の歴史に関する学びが可能となっている。一方、本学では専門科目の約50%が演習やフィールドワークで、本物と向き合うことでしか得られない着眼点や発想を大切にし、地域に役立つ実践的な研究を行っており、地域に根差した学びや研究には本学に優位性がある。

・入試

東北学院大学文学部歴史学科では、令和6（2024）年度入学者179名中、11月に実施される学校推薦型選抜（指定校）による入学者が71名と39.67%を占めており、最も多くなっている。2月以降に実施される一般選抜が53名、大学入学共通テスト利用が3名とこれら3つの入学試

験で、入学者の70.9%を占めている。本学は、総合型選抜〔専願体験型〕を10月に実施しており、より志望度の高い受験生の志願を想定しても、適切な時期に入試を実施しているといえる。

・学生納付金

東北学院大学文学部歴史学科の初年度納付金は、入学金270,000円、授業料780,000円、施設設備資金210,000円、教育充実費20,000円、諸会費29,500円の合計1,309,500円である。対して、本学歴史遺産学科の初年度納付金は、入学金275,000円、授業料1,135,000円または1,200,000円、諸会費等20,660円の合計1,430,660円または1,495,660円であり、東北学院大学に優位性がある。

・奨学制度

本学は独自制度を設定していないが、東北学院大学は「東北学院大学予約型入学時給付奨学金〈LIGHT UP奨学金〉」として、受験生対象に入学手続時の学生納付金の納入を猶予し、入学後に採用された場合、入学手続時の学生納付金の納入に充当する制度などを設定している【資料11】。

・取得できる資格

東北学院大学文学部歴史学科および本学歴史遺産学科のどちらでも、学芸員資格および教育職員免許状の中学校一種（社会）・高等学校一種（地理歴史）が取得可能である。

・進路支援

本学歴史遺産学科の過去5年間の平均就職率（就職決定者÷就職希望者）は93.5%であり、学校基本調査における文系理系を含む全国の大学平均就職率95.2%より下回っているが、東北学院大学文学部歴史学科の過去5年間の平均就職率は93.5%であり、本学と同じである【資料12】【資料20】。

2) グラフィックデザイン学科

3) 映像学科

競合校 長岡造形大学造形学部デザイン学科（定員150名）

※令和4（2022）年度入学者までは視覚デザイン学科（定員110名）

○競合校選定の理由

隣県の新潟県長岡市に所在しており、毎年入学者へ依頼する「新入生アンケート」内の設問に「本学以外で進学を比較・検討した大学」の入力欄において、過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）では長岡造形大学がグラフィックデザイン学科25名、映像学科14名と最も回答が多かったことから選定した【資料10】。公立大学ではあるが、本学の併願校として近隣他私大よりも圧倒的に長岡造形大学が多い点も考慮した。

○競合校との比較分析

・教育内容と方法

長岡造形大学造形学部デザイン学科は、製品デザイン、テキスタイル/ファブリックデザイン、ファッションデザイン、映像、写真、グラフィックデザイン、イラストレーション、UI/UXデザイン、Web・アプリ、メディアアートなど幅広い分野から主体的に選択し学ぶ。一方、本学のグラフィックデザイン学科では、これらの要素も含みながら、グラフィックデザ

インの実践を通じて、社会の様々な場面でクリエイティブな発想により問題解決ができ、広く社会に貢献する人材を育成するプログラムとなっている。また、映像学科では、多様な映像メディアに関する知識とスキル、およびその創造性を探求するための科目群と、映像を用いた多様な価値の創造を追求する思考を養うための演習プログラムを設定し、実践的な教育を行う。いずれも、本学はより専門性に特化した教育内容としており、優位性があると考え

・入試

長岡造形大学造形学部デザイン学科では、10月に実施する総合型選抜での定員が60名、12月実施の学校推薦型選抜が40名、2月に行われる一般選抜（前期日程）が65名、3月に行われる一般選抜（中期日程）が20名となっている。本学は、総合型選抜〔専願体験型〕を10月に、総合型選抜〔併願型〕を12月に実施しており、総合型選抜〔併願型〕では長岡造形大学の合格発表の数日後に試験となっていることから、併願もしやすくなっているため、受験生の選択肢が広がる状況の設定となっている。

・学生納付金

長岡造形大学造形学部デザイン学科の初年度納付金は、入学金282,000円、授業料535,800円、実習料50,000円、諸会費24,000円の合計598,900円である。対して、本学グラフィックデザイン学科・映像学科の初年度納付金は、入学金275,000円、授業料1,320,000円、諸会費等20,660円の合計1,615,660円であり、公立大学でもある長岡造形大学に優位性がある。

・奨学制度

本学は独自制度を設定していないが、長岡造形大学では、家庭の経済事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生を対象に、年額の授業料や実習料の2分の1を減免する減免制度を設定している【資料13】。

・取得できる資格

本学グラフィックデザイン学科・映像学科では、教育職員免許状の中学校一種（美術）・高等学校一種（美術）が取得可能であるが、長岡造形大学造形学部デザイン学科では取得ができない。なお、学芸員資格は両大学とも取得可能である。

・進路支援

本学グラフィックデザイン学科の過去5年間の平均就職率（就職決定者÷就職希望者）は95.2%、映像学科の過去5年間の平均就職率は89.0%である。学校基本調査における文系理系を含む全国の大学平均就職率95.2%とグラフィックデザイン学科は同じ、映像学科は下回っている。また、長岡造形大学造形学部デザイン学科の過去5年間の平均就職率は90.4%であり、グラフィックデザイン学科は本学に優位性があり、映像学科は同程度である【資料14】【資料20】。

4) 企画構想学科

競合校 宮城大学事業構想学群（定員200名）

○競合校選定の理由

隣県の宮城県に所在しており、毎年入学者へ依頼する「新入生アンケート」内の設問に「本学以外で進学を比較・検討した大学」の入力欄があり、企画構想学科入学者の過去3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）では宮城大学が最も回答が多い11名だったこと

から選定した【資料10】。

○競合校との比較分析

・教育内容と方法

宮城大学事業構想学群は、事業プランニング学類、地域創生学類、価値創造デザイン学類の3つからなり、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指している。本学企画構想学科は、豊かな未来社会を実現するために「課題発見力」「企画構想力」「企画実践力」をAI・デジタル化視点、生活者視点、地域資源の視点、マーケティング視点から創造、実装できる人材育成を目指している。課題にリアルに向き合い、そこに営む人が育んできた文化、歴史、資源に敬意を払い、実践的な学びを通じて、持続可能なイノベーションへ昇華させていく。多種多様な産学連携事業案件をはじめ、地域に根差した学びや研究は本学に優位性があると考えられる。

・入試

宮城大学事業構想学群では、10～11月に実施する総合型選抜での定員が24名、2月実施の学校推薦型選抜が40名、同じく2月に行われる一般選抜（前期日程）が100名、3月に行われる一般選抜（中期日程）が20名となっている。本学は、総合型選抜〔専願体験型〕を10月に、総合型選抜〔併願型〕を12月に実施しており、いずれの入試制度の試験日でも本学の試験日と重複していないため、受験生の選択肢が広がる状況の設定となっている。

・学生納付金

宮城大学事業構想学群の初年度納付金は、入学金564,000円、授業料535,800円、諸経費等47,660円の合計1,099,800円である。対して、本学企画構想学科の初年度納付金は、入学金275,000円、授業料1,220,000円、諸会費等20,660円の合計1,515,660円であり、公立大学でもある宮城大学に優位性がある。

・奨学制度

本学および宮城大学とも独自制度を設定していない。

・取得できる資格

宮城大学事業構想学群では、一級建築士資格が取得可能だが学類に限りがある。本学企画構想学科では、学芸員資格が取得可能である。

・進路支援

本学企画構想学科の過去5年間の平均就職率（就職決定者÷就職希望者）は97.8%であり、学校基本調査における文系理系を含む全国の大学平均就職率95.2%を上回っている状況である。また、宮城大学事業構想学群の過去5年間の平均就職率は98.1%であり、本学とほぼ同程度である【資料15】【資料20】。

イ 競合校の入学志願動向等

○競合校との学生募集状況の比較

イ) 歴史遺産学科

競合校 東北学院大学文学部歴史学科（定員170名）

東北学院大学文学部歴史学科の過去5年間（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度）の学生募集状況は、平均志願倍率が4.88倍となっている。また、本学歴史遺産学科の過去5年間の平均志願倍率は3.09倍となっている。今回本学が行う収容定員の変更は、本学の志願者数の増加に対応することが目的であることから、収容定員の変更に支障はないと考える【資料16】。

ロ) グラフィックデザイン学科

ハ) 映像学科

競合校：長岡造形大学造形学部デザイン学科（定員150名）

長岡造形大学造形学部デザイン学科（令和4（2022）年度まで視覚デザイン学科）の過去5年間（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度）の学生募集状況は、平均志願倍率が5.89倍となっている。本学グラフィックデザイン学科の過去5年間の平均倍率は6.11倍、映像学科の平均倍率は5.73倍となっている。今回本学が行う収容定員の変更は、本学の志願者数の増加に対応することが目的であることから、収容定員の変更に支障はないと考える【資料16】。

ニ) 企画構想学科

競合校：宮城大学事業構想学群（定員200名）

宮城大学事業構想学群の過去5年間（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度）の学生募集状況は、平均志願倍率が4.01倍となっている。本学企画構想学科の過去5年間の平均倍率は4.34倍となっている。今回本学が行う収容定員の変更は、本学の志願者数の増加に対応することが目的であることから、収容定員の変更に支障はないと考える【資料16】。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

競合校の定員は充足しているため省略

エ 学生納付金等の金額設定の理由

産学連携やきめ細かな就職支援に加え、充実した教育環境を維持・管理することを考慮している。全国の私立大学芸術学部系統の学費と比較しても競争力を持った納付金額の設定と考えられる。

●歴史遺産学科（文化財保存修復コース）納付金（単位：円）

入学金	授業料	諸会費等	初年度納付金
275,000	1,200,000	20,660	1,495,660

●歴史遺産学科（歴史遺産コース）納付金（単位：円）

入学金	授業料	諸会費等	初年度納付金
275,000	1,135,000	20,660	1,430,660

●グラフィックデザイン学科・映像学科納付金（単位：円）

入学金	授業料	諸会費等	初年度納付金
275,000	1,320,000	20,660	1,615,660

●企画構想学科納付金（単位：円）

入学金	授業料	諸会費等	初年度納付金
275,000	1,220,000	20,660	1,515,660

◎私立大芸術学部系統の学費平均額

入学金	授業料	初年度納付金
234,018	1,030,607	1,652,452

旺文社教育情報センター作成「2023年度大学の学費平均額」より

③ 先行事例分析

先行事例がないため省略

④ 学生確保に関するアンケート調査

この度の収容定員増の申請はこれまでの志願状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込めるものと考えているが、定量的な数値を確認することを目的として、芸術学部歴史遺産学科およびデザイン工学部企画構想学科については、学生確保に関するアンケート調査を実施した【資料17】。

調査は、本学が収容定員の増加を予定する令和8（2026）年度入学者募集において大学進学時期を迎え、本学を受験する可能性が最も高い東北6県および新潟県に在住し、本学に令和6（2024）年12月までに資料請求をしている高校2年生（令和8（2026）年度3月卒業予定）を対象とし、令和6（2024）年12月～令和7（2025）年1月の間で実施、分析を行ったものである。

なお、高校所在地に茨城県・群馬県・山梨県・沖縄県とする回答が各県1～4件見られるのは、東北6県および新潟県在住だが、在籍している通信制高校所在地が茨城県・群馬県・山梨県・沖縄県にあるものと推測される。

対象者には郵送にてアンケート調査を依頼し、高校2年生1,301名から有効回答を得た。

また、アンケートの実施については信頼性の担保の観点から外部業者（株式会社進研アド）に委託して実施した。

調査にあたっては、学部・学科等の名称、開設年度、設置の理念、養成する人物像、アドミッション・ポリシー、想定する主な進路、設置場所（アクセス）、学生納付金、競合する大学及び学部の名称等を中心に、高校生が当該アンケートを回答するにあたって必要な情報を明示し、実施した。

（1）歴史遺産学科

卒業後の進路として「私立大学」を希望し、歴史遺産学科の学びと関連する学問分野へ興味を持つ265名の回答を分析した結果、歴史遺産学科の特色に対する魅力度（「とても魅力を感じる」及び「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値）は、いずれの項目でも80%を超え、高い興味と関心が示された。

歴史遺産学科を第一志望として受験すると回答した高校生は20名、第二志望として受験すると回

答した高校生が25名、第三志望以降として受験すると回答した高校生が64名あり、合計で109名にのぼった。また、入学意向に関しては、「入学する」と回答した高校生が17名、「ほかの学科・志望校が不合格なら入学する」という条件付きで回答した高校生が73名おり、入学意向をもつ高校生が90名にのぼる。

本調査は、高校2年生の12月段階における資料請求者を対象としているが、下表の通り過去3か年の本学歴史遺産学科出願者のうち、52.5%が高校2年生の1月以降に資料請求していることから、第一志望～第三志望以降として受験するとした回答者の合計109名の2倍以上の受験希望があるものと推測される。

また、過去3年間の歴史遺産学科入学者の22.2%が今回の調査対象である東北6県および新潟県以外の出身であること、および、募集停止により歴史遺産学科内で科目を開設する文化財保存修復学科入学者の58.4%が東北6県および新潟県以外の出身であることを踏まえると、今回の調査結果に加えて受験者・入学者が期待でき、変更後の入学定員を充足できる調査結果であると考ええる。

◎歴史遺産学科出願者のうち「高校2年生の12月以前」と「高校2年生の1月以降」本学へ資料請求している人数と割合

	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	3か年平均	
出願者数	99	101	103	101	構成比
高2・12月以前の請求者数 (a)	47	40	57	48	47.5%
高2・1月以降の請求者数 (b)	52	61	46	53	52.5%
(b)/(a)	110.6%	152.5%	80.7%	110.4%	

(2) 企画構想学科

卒業後の進路として「私立大学」を希望し、企画構想学科の学びと関連する学問分野へ興味を持つ324名の回答を分析した結果、企画構想学科の特色に対する魅力度（「とても魅力を感じる」及び「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値）は、いずれの項目でも84%を超え、高い興味と関心が示された。

企画構想学科を第一志望として受験すると回答した高校生は34名、第二志望として受験すると回答した高校生が42名、第三志望以降として受験すると回答した高校生が101名あり、合計で177名にのぼった。

また、入学意向に関しては、「入学する」と回答した高校生が35名、「ほかの学科・志望校が不合格なら入学する」という条件付きで回答した高校生が117名おり、入学意向をもつ高校生が152名にのぼる。

本調査は、高校2年生の12月段階における資料請求者を対象としているが、下表の通り過去3か年の本学企画構想学科出願者のうち、48.5%が高校2年生の1月以降に資料請求していることから、第一志望～第三志望以降として受験するとした回答者の合計152名の2倍弱の受験希望があるものと推測され、これらより変更後の入学定員を充足できる調査結果であると考ええる。

◎企画構想学科出願者のうち「高校2年生の12月以前」と「高校2年生の1月以降」 本学へ資料請求している人数と割合

	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	3か年平均	
出願者数	196	223	148	189	構成比
高2・12月以前の請求者数 (a)	88	128	76	97.3	51.5%
高2・1月以降の請求者数 (b)	108	95	72	91.7	48.5%
(b)/(a)	122.7%	74.2%	94.7%	94.2%	

⑤ 人材需要に関する状況について

ア 本学に寄せられる人材需要（求人状況）について

本学への求人件数は、過去3年間（令和3（2021）～令和5（2023）年度）の平均が9,441件となっており、卒業年次の学生一人に対し平均17.40件の求人が届いている。求人件数は年々増加しており、令和3（2021）年度の7,832件から令和5（2023）年度には、11,191件まで増加している。このことから、本学が育成する人材に対する産業界等からの需要や関心の高さが確認できる【資料18】。

1) 歴史遺産学科

歴史遺産学科の学びに関連する主な業種である「公務員（学芸員含む）」「教員」「観光サービス」「建築」「出版」に限定した求人状況は、過去3年間の平均が1,258件となっており、学生一人に対し、平均38.92件の求人が届いていることから、本学の歴史遺産学科で学んだ学生に対する産業界からの需要は高いといえる【資料19】。今回の収容定員変更によって歴史遺産学科の学生数は増加するが、現時点でも十分な求人が提供できることに加え、近年は、学科主催による公務員対策講座を実施し、公務員志望者への進路支援体制が出来ている。

2) グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科の学びに関連する主な職種である「グラフィックデザイナー」「webデザイナー」「UI/UXデザイナー」「イラストレーター」などを含むクリエイティブ関連職に限定した求人状況は、過去3年間の平均が925件となっており、学生一人に対し、平均15.16件の求人が届いていることから、本学のグラフィックデザイン学科で学んだ学生に対する産業界からの需要は高いといえる【資料19】。今回の収容定員の変更によってグラフィックデザイン学科の学生数は増加するが、現時点でも十分な求人提供が出来ている。

3) 映像学科

映像学科の学びに関連する主な業種である「CGデザイナー」「アニメーター」「映像制作職」「フォトグラファー」などを含むクリエイティブ関連職に限定した求人状況は、過去3年間の平均が925件となっており、学生一人に対し、平均17.34件の求人が届いていることから、映像学科で学んだ学生に対する産業界からの需要は高いといえる【資料19】。今回の収容定員の変更によって映像学科の学生数は増加するが、現時点でも十分な求人提供が出来ている。

4) 企画構想学科

企画構想学科の学びに関連する主な業種である「企画・プランナー」「営業」などを含む企画・マーケティング関連職に限定した求人状況は、過去3年間の平均が1,913件となっており、学生一人に対し、平均40.41件の求人が届いていることから、本学の企画構想学科で学んだ学生に対する産業界からの需要は高いといえる【資料19】。今回の収容定員の変更によって企画構想学科の学生数は増加するが、現時点でも十分な求人提供が出来ている。

イ 就職率と進路決定率について

本学全体の過去5年間（令和元（2019）年度～令和5（2023）年度）の進路決定率（（就職決定者＋進学決定者）÷卒業者）の平均は、89.5%となっている【資料20】。この進路決定率は、全国の芸術学部系統の過去5年間での平均71.9%（学校基本調査より算出）に対して、17.6ポイント高く、全国の文系理系を含む大学平均87.0%を2.5ポイント上回っている状況である。このことから、本学が育成する人材に対する産業界等からの人材需要は高いといえる。さらに、令和5（2023）年度の就職者における職種の内訳は、58.9%が学科の学びに関連した分野の職業に就き【資料21】、それ以外にも41.1%が総合職や営業職、販売職など、幅広い職種や業種に進路を決めている。このことから、専門分野に留まらず、本学で芸術やデザイン分野の学びを修めた学生が、幅広い職種や業種において必要とされていることがわかる。

1) 歴史遺産学科

収容定員の変更を行う歴史遺産学科の過去5年間の進路決定率の平均は、88.8%となっている【資料20】。この進路決定率は、全国の芸術学部系統の過去5年間の平均71.9%（学校基本調査より算出）に対して、16.9ポイント高く、全国の文系理系を含む大学平均87.0%と同水準であることから、歴史遺産学科が育成する人材に対する産業界等からの需要は高いといえる。

歴史遺産学科では、公務員（学芸員含む）、教員、観光サービス、建築（文化財コンサルタント）、出版などの学科の学びに関連した分野の職に就く割合が29.6%を占めるだけでなく【資料21】、山形県や宮城県に本社がある地域密着型の企業への就職も多く見られる。この多様な進路は、学科の専門性と地域社会への貢献意識が高く評価されていることを示しており、今後も学生の進路決定率を高く維持できると考えられる。

2) グラフィックデザイン学科

収容定員の変更を行うグラフィックデザイン学科の過去5年間の進路決定率の平均は、90.1%となっている【資料20】。この進路決定率は、全国の芸術学部系統の過去5年間の平均71.9%（学校基本調査より算出）に対して、18.2ポイント高く、全国の文系理系を含む大学平均87.0%を上回っていることから、グラフィックデザイン学科が育成する人材に対する産業界等からの需要は高いといえる。

また、グラフィックデザイン学科の令和5（2023）年度に就職した者のうち、グラフィックデザイナー、webデザイナー、UI/UXデザイナー、イラストレーターなど学科の学びに関連した分野の職に就く割合は86.4%となっている【資料21】。

3) 映像学科

映像学科の過去5年間の進路決定率の平均は、84.3%となっている【資料20】。この進路決定率は、全国の芸術学部系統の過去5年間の平均71.9%（学校基本調査より算出）に対して、12.4ポイント高く、全国の文系理系を含む大学平均87.0%と同水準であることから、映像学科が育成する人材に対する産業界等からの需要は高いといえる。

また、映像学科の令和5（2023）年度に就職した者のうち、CGデザイナー、アニメーター、映像制作職、フォトグラファーなど学科の学びに関連した分野の職に就く割合は85.7%となっている【資料21】。

4) 企画構想学科

企画構想学科の過去5年間の進路決定率の平均は、93.2%となっている【資料20】。この進路決定率は、全国の芸術学部系統の過去5年間の平均71.9%（学校基本調査より算出）に対して、21.3ポイント高く、全国の文系理系を含む大学平均87.0%と同水準であることから、企画構想学科が育成する人材に対する産業界等からの需要は高いといえる。

また、企画構想学科の令和5（2023）年度に就職した者のうち、企画・プランナー、営業など学科の学びに関連した分野の職に就く割合は65.9%となっている【資料21】。

ウ 人材需要について

リクルートワークス研究所による令和8（2026）年卒の新卒者を対象とした採用見通しに関する調査では、新卒採用数が「増える」企業の割合は13.2%であり、「減る」は5.4%であった。「増えるー減る」のポイントは+7.8%ポイントとなり、高い採用意欲を維持していることがうかがえる。

1) 歴史遺産学科、企画構想学科と関連性の高いサービス業においては、「増える」が10.7%であり、「減る」は6.6%であった。「増えるー減る」のポイントは+4.1%であり、採用に前向きな姿勢を示している。また、サービス業においては、地方観光や地域活性化を担う若い人材の需要が増加しており、歴史遺産マネジメントなどの学びにより歴史遺産学科が養成する人材とも合致している。企画構想学科の観光デザイン、地域デザイン、イベント企画制作、商品開発などの学びも同様である。さらに、サービス業においても専門性を備えた専門職の採用が増加傾向にあることから、企画構想学科のデジタルマーケティングなどの学びも実践的なスキルとして注目されており、新卒者にはこれらの知識やスキルを活かして即戦力として活躍することが期待されている。

2) グラフィックデザイン学科、映像学科、企画構想学科と関連性の高い情報通信業においては、「増える」が16.7%であり、「減る」は5.5%であった。「増えるー減る」のポイントは+11.2%であり、小売業の「増えるー減る」のポイント+15.4%に次いで2番目であり、人材需要としては堅調な業界であるといえる。

以上のとおり、今回行う収容定員の変更は、該当学科の学生の主たる進路先である業種の市場環境や現在の求人状況、社会的な人材需要を踏まえた判断するものである。

(4) 定員を増加する組織の定員設定の理由

1) 歴史遺産学科

歴史遺産学科の学生募集状況は、【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-2）】の通り、過去5年間の平均志願者数が99名であり、志願倍率も3.09倍となっている。志願者数が過去5年で最も少ない令和3（2021）年度の92名となった場合の、志願倍率は2.88倍となる。また、募集停止となる文化財保存修復学科の分野を歴史遺産学科で開設することから、文化財保存修復学科で志願者数が過去5年で最も少ない令和6（2024）年度の94名と、前述の令和3（2021）年度歴史遺産学科志願者数92名と加算した場合の志願倍率は3.65倍と高い水準で維持できることから、入学者選抜を適切に機能させながら、変更後の定員を充足することは可能と判断している。

2) グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科の学生募集状況は、【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-8）】の通り、過去5年間の平均志願者数が415名であり、志願倍率も6.11倍となっている。定員が90名となっても、志願倍率は4.61倍と高い水準で維持できることから、入学者選抜を適切に機能させながら、変更後の定員を充足することは可能と判断している。

3) 映像学科

映像学科の学生募集状況は、【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-9）】の通り、過去5年間の平均志願者数が355名であり、志願倍率も5.73倍となっている。定員が90名となっても、志願倍率は3.94倍と高い水準で維持できることから、入学者選抜を適切に機能させながら、変更後の定員を充足することは可能と判断している。

4) 企画構想学科

企画構想学科の学生募集状況は、【添付データ：既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近5年間）（別紙2-10）】の通り、過去5年間の平均志願者数が217名であり、志願倍率も4.34倍となっている。定員が80名となっても、志願倍率は2.71倍と高い水準で維持できることから、入学者選抜を適切に機能させながら、変更後の定員を充足することは可能と判断している。

収容定員の変更は、これまで述べてきたとおり、加速度的に進展する社会の変化による産業界等の人材要請の期待と、本学を志望する受験生の期待に応えるために実施するものである。

資料目次

【資料1】18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向全国版 リクルート進学総研 マーケットレポート2023 【全国版】 18歳人口予測より抜粋.....	2 -
【資料2】18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向全国版 リクルート進学総研 マーケットレポート2023 【東北版】 18歳人口予測より抜粋.....	3 -
【資料3】山形県内私立大学入学定員充足状況.....	4 -
【資料4】東北エリアにおける平成26（2014）年から令和5（2023）年までの進学率.....	5 -
【資料5】令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向学部系統別（日本私立学校振興・共済事業 団）.....	6 -
【資料6】過去5年間（令和2（2020）～令和6（2024）年度）の東北芸術工科大学入学者県別・地域別出身者 推移.....	8 -
【資料7】令和5（2023）年度外国人留学生在籍状況調査結果.....	9 -
【資料8】本学の過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願倍率および定員充足率.....	10 -
【資料9】歴史遺産学科・文化財保存修復学科 過去3年間（令和4（2022）～令和6（2024）年度）地域別入学 者状況.....	12 -
【資料10】新入生アンケート「本学以外で進学を比較・検討した大学」.....	13 -
【資料11】東北学院大学 奨学金制度一覧.....	14 -
【資料12】東北学院大学文学部歴史学科就職率.....	16 -
【資料13】長岡造形大学 奨学金制度一覧.....	16 -
【資料14】長岡造形大学造形学部デザイン学科就職率.....	17 -
【資料15】宮城大学事業構想学群就職率.....	17 -
【資料16】競合校 学生募集状況 過去5年間（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度）.....	17 -
【資料17】東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」 デザイン工学部「企画構想学科」設置に関するニー ズ調査.....	19 -
【資料18】過去3年間（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）に本学に寄せられた求人件数.....	48 -
【資料19】過去3年間（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）に本学に寄せられた、歴史遺産学科、グ ラフィックデザイン学科、映像学科、企画構想学科の人材養成の目的に関連する求人件数.....	48 -
【資料20】過去5年間（令和元（2019）年度～令和5（2023）年度）の本学の進路決定率.....	49 -
【資料21】就職者のうち専門領域関連職に就いた当該学科別人数、比率.....	49 -

【資料1】18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向全国版

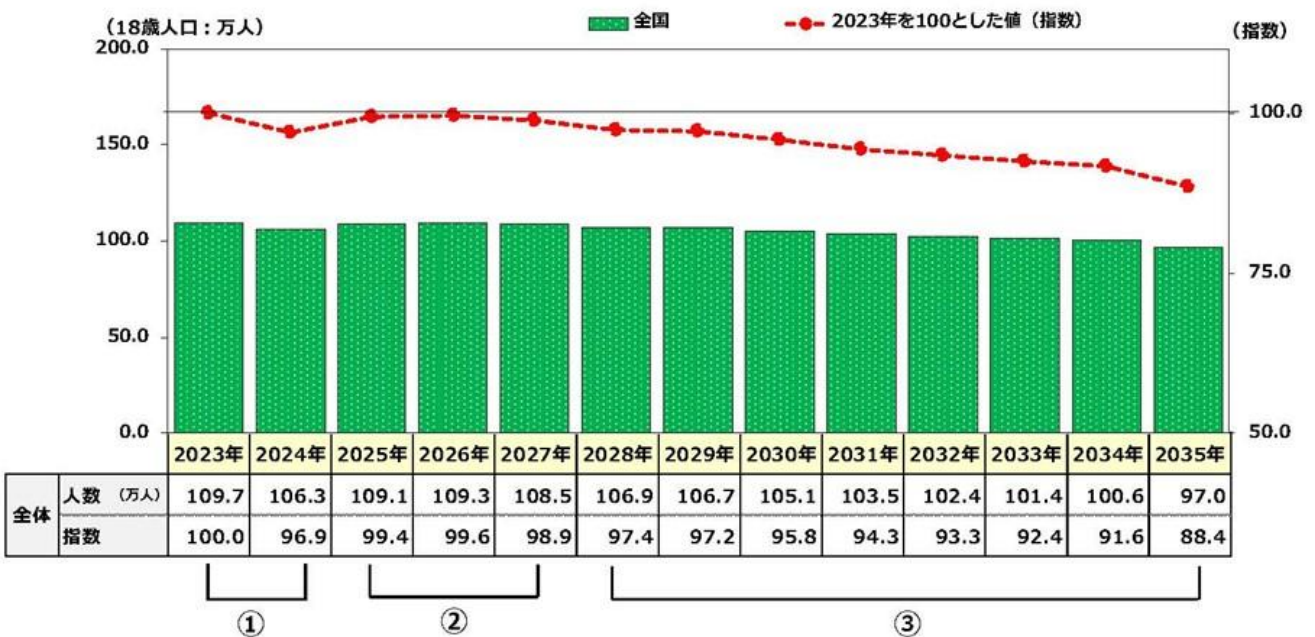
リクルート進学総研 マーケットレポート 2023 【全国版】 18歳人口予測より抜粋

18歳人口予測（全体：全国：2023～2035年）

■2023年109.7万人→2035年97.0万人（12.7万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2023年～2024年：2年連続減少（109.7万人から106.3万人、3.4万人減少）。
2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、
2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.5万人と微減が続く。
- ③ 2028年～2035年：2028年は106.9万人と2027年108.5万人に対し1.6万人と再び減少し、
以降、減少傾向が続く。2035年は97.0万人と2034年100.6万人から
3.6万人大きく減少して100万人を割り込む。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

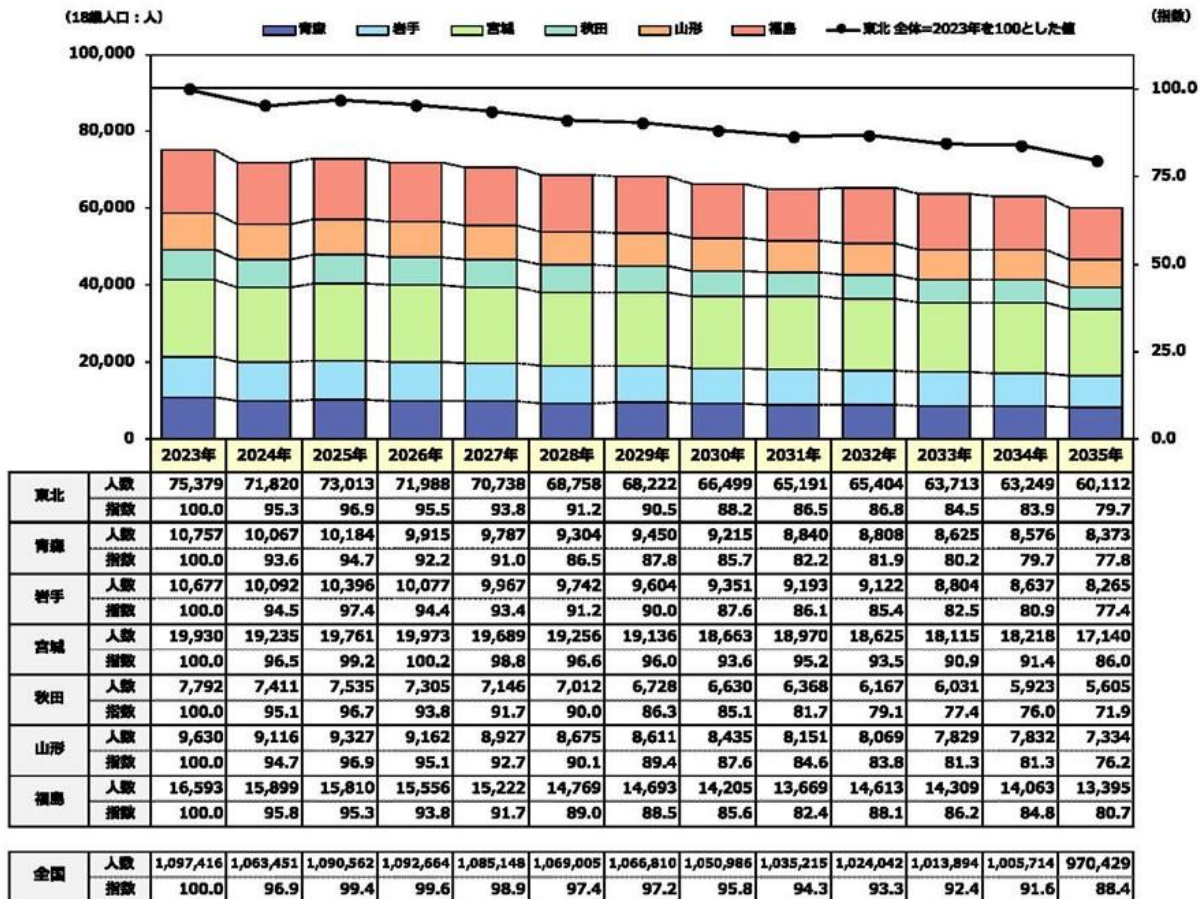
【資料2】18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向全国版

リクルート進学総研 マーケットレポート 2023 【東北版】 18歳人口予測より抜粋

18歳人口予測（全体：東北：2023～2035年）

■ 2023年75,379人→2035年60,112人（15,267人減少）

- ・東北エリアは15,267人・20.3%減少し、全国の減少率11.6%を8.7ポイント上回る。
- ・2024年に71,820人まで減少した翌年に1,193人増加するが、その後再び減少に転じ、2032年に微増するものの、2035年までに12,901人減少する。
- ・減少率が高いのは、秋田県（2023年比較28.1%減少）。
- ・減少数が多いのは、福島県（2023年16,593人→2035年13,395人、3,198人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

【資料3】山形県内私立大学入学定員充足状況

入学定員	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	
東北公益文科大学	235	234	245	204	180
東北文教大学	130	129	105	117	114
東北芸術工科大学	593	597	619	606	608
合計	958	960	969	927	902
定員充足率	-	100.21%	101.15%	96.76%	94.15%
※各大学HPより					
東北（宮城を除く）	-	94.25%	91.71%	84.00%	78.14%
※日本私立学校振興・共済事業団「令和6(2024)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より					
山形県私立大学入学 者に占める本学入学 者の割合	-	62.2%	63.9%	65.4%	67.4%

【資料4】東北エリアにおける平成26（2014）年から令和5（2023）年までの進学率

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：東北：2014～2023年）

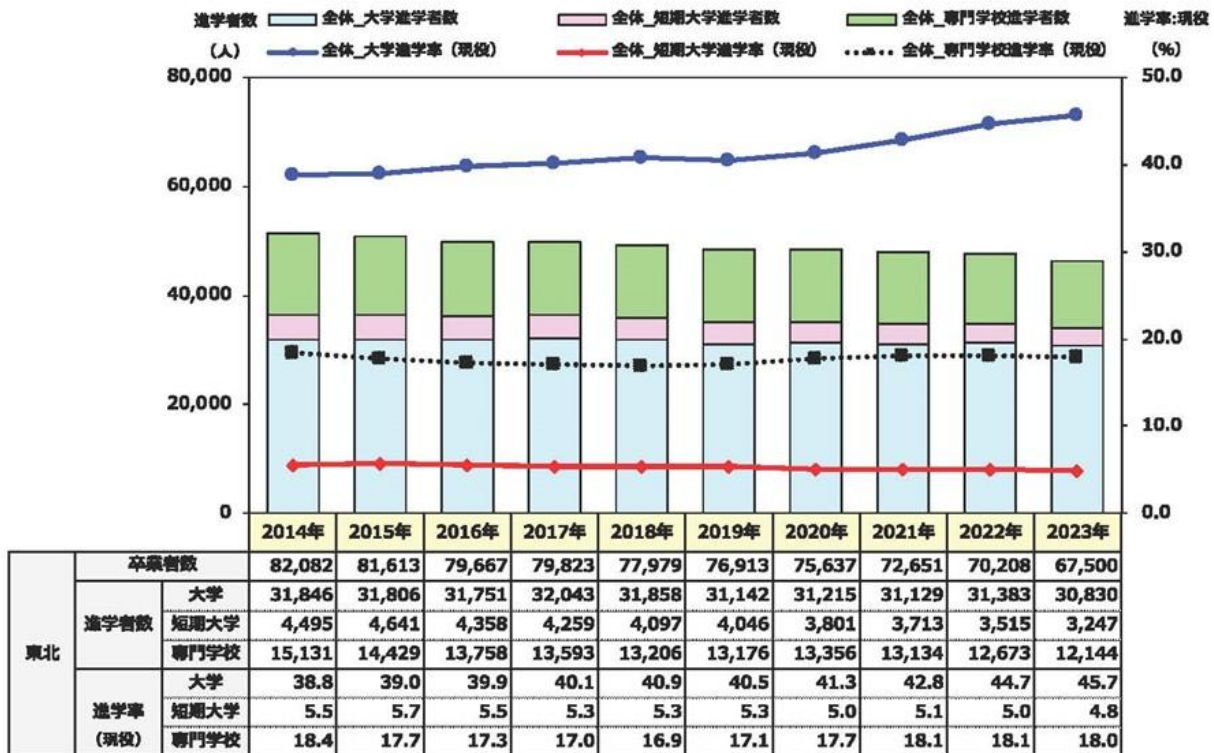
■10年で大学進学率は6.9ポイント上昇しているが、進学者数は全校種で減少（合計5,251人減少）

進学者数

- ・大学は、2014年31,846人→2023年30,830人（1,016人減少）と、3.2%減少。
- ・短期大学は、2014年4,495人→2023年3,247人（1,248人減少）と、27.8%減少。
- ・専門学校は、2014年15,131人→2023年12,144人（2,987人減少）と、19.7%減少。

進学率（現役）

- ・大学は、2014年38.8%→2023年45.7%（6.9ポイント上昇）。
- ・短期大学は、2014年5.5%→2023年4.8%（0.7ポイント低下）。
- ・専門学校は、2014年18.4%→2023年18.0%（0.4ポイント低下）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ・卒業生数：高等学校卒業した人数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）
- ・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数
- ・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）
- ※専門学校＝専修学校専門課程

4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

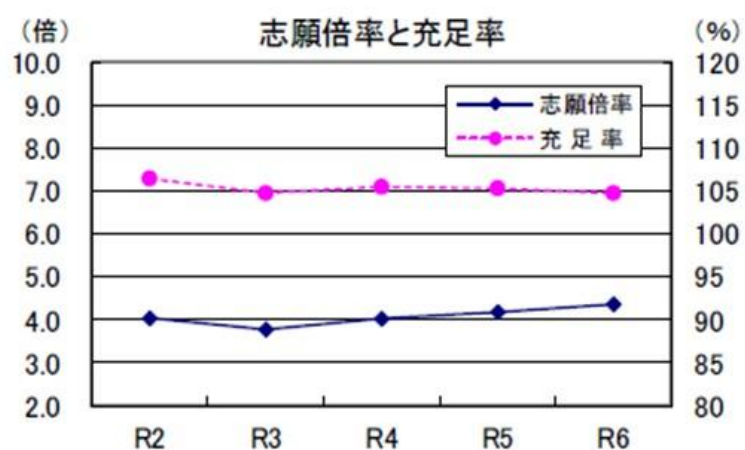
系 統 区 分	年 度	集 計 学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R5	31	4,153	102,449	94,948	9,455	4,171	24.67	9.96	44.11	100.43
	R6	31	4,243	113,753	105,149	9,751	4,261	26.81	9.27	43.70	100.42
	増減	0	90	11,304	10,201	296	90	2.14	△ 0.69	△ 0.41	△ 0.01
歯学	R5	17	1,995	7,423	6,811	3,875	1,566	3.72	56.89	40.41	78.50
	R6	17	1,995	7,982	7,286	3,795	1,525	4.00	52.09	40.18	76.44
	増減	0	0	559	475	△ 80	△ 41	0.28	△ 4.80	△ 0.23	△ 2.06
薬学	R5	60	11,276	74,627	69,834	32,753	10,674	6.62	46.90	32.59	94.66
	R6	62	11,416	71,663	67,239	31,993	10,304	6.28	47.58	32.21	90.26
	増減	2	140	△ 2,964	△ 2,595	△ 760	△ 370	△ 0.34	0.68	△ 0.38	△ 4.40
保健系	R5	272	40,720	171,920	164,994	80,009	39,414	4.22	48.49	49.26	96.79
	R6	279	41,435	153,563	147,498	78,305	37,724	3.71	53.09	48.18	91.04
	増減	7	715	△ 18,357	△ 17,496	△ 1,704	△ 1,690	△ 0.51	4.60	△ 1.08	△ 5.75
理・工学系	R5	172	60,899	745,076	709,765	293,618	62,044	12.23	41.37	21.13	101.88
	R6	171	60,725	753,291	718,490	298,211	60,355	12.40	41.51	20.24	99.39
	増減	△ 1	△ 174	8,215	8,725	4,593	△ 1,689	0.17	0.14	△ 0.89	△ 2.49
農学系	R5	25	8,850	82,069	77,130	32,361	9,144	9.27	41.96	28.26	103.32
	R6	25	8,890	86,942	82,152	31,883	9,028	9.78	38.81	28.32	101.55
	増減	0	40	4,873	5,022	△ 478	△ 116	0.51	△ 3.15	0.06	△ 1.77
人文科学系	R5	251	68,526	474,386	455,194	206,138	65,979	6.92	45.29	32.01	96.28
	R6	252	68,939	486,534	466,734	209,248	66,154	7.06	44.83	31.62	95.96
	増減	1	413	12,148	11,540	3,110	175	0.14	△ 0.46	△ 0.39	△ 0.32
社会科学系	R5	541	174,614	1,355,134	1,295,485	519,139	179,337	7.76	40.07	34.55	102.70
	R6	543	174,681	1,338,226	1,278,347	517,288	179,019	7.66	40.47	34.61	102.48
	増減	2	67	△ 16,908	△ 17,138	△ 1,851	△ 318	△ 0.10	0.40	0.06	△ 0.22
家政学	R5	81	15,113	46,651	44,251	26,088	13,452	3.09	58.95	51.56	89.01
	R6	82	15,114	41,015	38,585	24,687	12,662	2.71	63.98	51.29	83.78
	増減	1	1	△ 5,636	△ 5,666	△ 1,401	△ 790	△ 0.38	5.03	△ 0.27	△ 5.23
教育学	R5	114	19,038	90,525	86,541	43,267	17,433	4.75	50.00	40.29	91.57
	R6	115	18,838	89,036	84,860	42,165	17,244	4.73	49.69	40.90	91.54
	増減	1	△ 200	△ 1,489	△ 1,681	△ 1,102	△ 189	△ 0.02	△ 0.31	0.61	△ 0.03
体育学	R5	11	5,190	10,413	10,184	7,102	5,191	2.01	69.74	73.09	100.02
	R6	10	4,670	9,417	9,121	6,129	4,579	2.02	67.20	74.71	98.05
	増減	△ 1	△ 520	△ 996	△ 1,063	△ 973	△ 612	0.01	△ 2.54	1.62	△ 1.97
芸術系	R5	57	14,448	60,391	57,834	24,676	15,217	4.18	42.67	61.67	105.32
	R6	56	14,500	63,311	60,393	24,222	15,191	4.37	40.11	62.72	104.77
	増減	△ 1	52	2,920	2,559	△ 454	△ 26	0.19	△ 2.56	1.05	△ 0.55
その他	R5	318	77,813	491,737	470,837	215,543	76,977	6.32	45.78	35.71	98.93
	R6	327	78,428	489,738	468,680	213,003	76,684	6.24	45.45	36.00	97.78
	増減	9	615	△ 1,999	△ 2,157	△ 2,540	△ 293	△ 0.08	△ 0.33	0.29	△ 1.15
合 計	R5	1,950	502,635	3,712,801	3,543,808	1,494,024	500,599	7.39	42.16	33.51	99.59
	R6	1,970	503,874	3,704,471	3,534,534	1,490,680	494,730	7.35	42.17	33.19	98.19
	増減	20	1,239	△ 8,330	△ 9,274	△ 3,344	△ 5,869	△ 0.04	0.01	△ 0.32	△ 1.40

学部系統別の動向 過去5ヵ年の推移（大学）

過去5ヵ年における学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率を下表に示した。

芸術系

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
学 部 数	58	56	56	57	56
志願倍率	4.04	3.78	4.03	4.18	4.37
充 足 率	106.45	104.78	105.50	105.32	104.77



【資料6】過去5年間（令和2（2020）～令和6（2024）年度）の東北芸術工科大学入学者県別・地域別出身者推移

		令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	5年間 平均
合計	入学者数	608	597	619	606	608	607.6
山形県	入学者数	163	167	153	143	162	157.6
	割合	26.8%	28.0%	24.7%	23.6%	26.6%	25.9%
宮城県	入学者数	168	142	135	157	142	148.8
	割合	27.6%	23.8%	21.8%	25.9%	23.4%	24.5%
福島県	入学者数	34	53	64	56	61	53.6
	割合	5.6%	8.9%	10.3%	9.2%	10.0%	8.8%
岩手県	入学者数	37	33	42	33	40	37
	割合	6.1%	5.5%	6.8%	5.4%	6.6%	6.1%
秋田県	入学者数	11	14	13	17	18	14.6
	割合	1.8%	2.3%	2.1%	2.8%	3.0%	2.4%
青森県	入学者数	24	13	19	20	15	18.2
	割合	3.9%	2.2%	3.1%	3.3%	2.5%	3.0%
東北合計	入学者数	437	422	426	426	438	429.8
	割合	71.9%	70.7%	68.8%	70.3%	72.3%	70.7%
北海道	入学者数	24	20	26	22	24	23.2
	割合	3.9%	3.4%	4.2%	3.6%	4.0%	3.8%
関東	入学者数	72	86	86	77	78	79.8
	割合	11.8%	14.4%	13.9%	12.7%	12.9%	13.1%
中部 (北信越・東海)	入学者数	51	42	52	54	41	48
	割合	8.4%	7.0%	8.4%	8.9%	6.8%	7.9%
近畿以西	入学者数	13	16	20	21	21	18.2
	割合	2.1%	2.7%	3.2%	3.5%	3.5%	3.0%
検定	入学者数	5	6	5	3	5	4.8
	割合	0.8%	1.0%	0.8%	0.5%	0.8%	0.8%
海外	入学者数	6	5	4	2	1	3.6
	割合	1.0%	0.8%	0.6%	0.3%	0.2%	0.6%
専修学校	入学者数	0	0	0	1	0	0.2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%

【資料 7】 令和 5（2023）年度外国人留学生在籍状況調査結果

4. 出身国(地域)別留学生数

中国・ネパールからの留学生を合わせると、全留学生に占める割合は54.9%(前年度55.4%)となっている。

国(地域)名	留学生数	構成比	国(地域)名	留学生数	構成比
中国	115,493人 (103,882)	41.4% (44.9)	インド	1,612人 (1,532)	0.6% (0.7)
ネパール	37,878人 (24,257)	13.6% (10.5)	ロシア	1,575人 (989)	0.6% (0.4)
ベトナム	36,339人 (37,405)	13.0% (16.2)	ドイツ	1,282人 (801)	0.5% (0.3)
韓国	14,946人 (13,701)	5.4% (5.9)	英国	1,117人 (562)	0.4% (0.2)
ミャンマー	7,773人 (3,813)	2.8% (1.6)	パキスタン	896人 (631)	0.3% (0.3)
台湾	6,998人 (5,015)	2.5% (2.2)	イタリア	869人 (616)	0.3% (0.3)
スリランカ	6,819人 (3,857)	2.4% (1.7)	ブラジル	756人 (678)	0.3% (0.3)
インドネシア	6,552人 (5,763)	2.3% (2.5)	カナダ	591人 (317)	0.2% (0.1)
バングラデシュ	5,326人 (3,313)	1.9% (1.4)	カンボジア	590人 (882)	0.2% (0.4)
アメリカ合衆国	4,076人 (1,655)	1.5% (0.7)	オーストラリア	575人 (223)	0.2% (0.1)
モンゴル	3,677人 (2,941)	1.3% (1.3)	スペイン	568人 (380)	0.2% (0.2)
タイ	3,616人 (2,959)	1.3% (1.3)	メキシコ	533人 (361)	0.2% (0.2)
マレーシア	2,542人 (2,423)	0.9% (1.0)	シンガポール	407人 (316)	0.1% (0.1)
ウズベキスタン	2,315人 (1,659)	0.8% (0.7)	トルコ	335人 (246)	0.1% (0.1)
フィリピン	2,292人 (1,745)	0.8% (0.8)	その他	8,813人 (6,968)	3.2% (3.0)
フランス	2,113人 (1,256)	0.8% (0.5)	計	279,274人 (231,146)	100.0% (100.0)

()内は2022年5月1日現在の数

令和 5（2023）年度外国人留学生在籍状況調査結果

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/data/2405241100.html>

【資料8】 本学の過去5年間（令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）の志願倍率および定員充足率

全学	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	593	593	593	593	593	593
志願者数	3,061	2,317	2,810	2,908	2,541	2,727
志願倍率	5.16	3.91	4.74	4.90	4.28	4.60
受験者数	3,048	2,275	2,726	2,847	2,483	2,676
合格者数	891	845	848	827	851	852.4
不合格者数	2,157	1,430	1,878	2,020	1,632	1,823
入学者数	608	597	619	606	608	607.6
歩留まり率	0.68	0.71	0.73	0.73	0.71	0.71
定員充足率	102.53%	100.67%	104.38%	102.19%	102.53%	102.46%

歴史遺産学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	32	32	32	32	32	32
志願者数	99	92	99	101	103	99
志願倍率	3.09	2.88	3.09	3.16	3.22	3.09
受験者数	99	91	94	86	102	94.4
合格者数	55	55	48	61	50	53.8
不合格者数	44	36	46	25	52	40.6
入学者数	30	34	31	32	29	31.2
歩留まり率	0.55	0.62	0.65	0.52	0.58	0.58
定員充足率	93.75%	106.25%	96.88%	100.00%	90.63%	97.50%

文化財保存修復学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	26	26	26	26	26	26
志願者数	114	116	107	125	94	111
志願倍率	4.38	4.46	4.12	4.81	3.62	4.28
受験者数	114	114	105	121	92	109.2
合格者数	40	40	40	34	56	42
不合格者数	74	74	65	87	36	67.2
入学者数	25	26	27	25	25	25.6
歩留まり率	0.63	0.65	0.68	0.74	0.45	0.61
定員充足率	96.15%	100.00%	103.85%	96.15%	96.15%	98.46%

グラフィックデザイン学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	68	68	68	68	68	68
志願者数	467	367	436	450	357	415
志願倍率	6.87	5.40	6.41	6.62	5.25	6.11
受験者数	465	358	421	440	352	407.2
合格者数	87	87	91	82	80	85.4
不合格者数	378	271	330	358	272	321.8
入学者数	71	67	72	69	71	70
歩留まり率	0.82	0.77	0.79	0.84	0.89	0.82
定員充足率	104.41%	98.53%	105.88%	101.47%	104.41%	102.94%

映像学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	62	62	62	62	62	62
志願者数	402	301	389	390	294	355
志願倍率	6.48	4.85	6.27	6.29	4.74	5.73
受験者数	399	294	380	383	287	348.6
合格者数	76	71	79	79	77	76.4
不合格者数	323	223	301	304	210	272.2
入学者数	63	63	65	61	62	62.8
歩留まり率	0.83	0.89	0.82	0.77	0.81	0.82
定員充足率	101.61%	101.61%	104.84%	98.39%	100.00%	101.29%

企画構想学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	50	50	50	50	50	50
志願者数	295	220	196	224	148	217
志願倍率	5.90	4.40	3.92	4.48	2.96	4.34
受験者数	292	219	195	217	148	214.2
合格者数	68	58	59	57	59	60.2
不合格者数	224	161	136	160	89	154
入学者数	51	49	51	50	51	50.4
歩留まり率	0.75	0.84	0.86	0.88	0.86	0.84
定員充足率	102.00%	98.00%	102.00%	100.00%	102.00%	100.80%

コミュニティ デザイン学科	令和2（2020） 年度	令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和2（2020）～令和6（2024） 年度5年間の平均
入学定員	30	30	30	30	30	30
志願者数	172	126	117	133	114	132
志願倍率	5.73	4.2	3.9	4.43	3.8	4.41
受験者数	170	124	115	131	113	130.6
合格者数	61	54	57	48	47	53.4
不合格者数	109	70	58	83	66	77.2
入学者数	32	30	32	33	29	31.2
歩留まり率	0.52	0.56	0.56	0.69	0.62	0.58
定員充足率	106.67%	100.00%	106.67%	110.00%	96.67%	104.00%

【資料9】歴史遺産学科・文化財保存修復学科過去3年間（令和4（2022）～令和6（2024）年度）地域別入学者状況

歴史遺産学科				
	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	3年間平均
入学者数	31	32	29	30.7
青森県	1	2	0	1.0
岩手県	1	0	1	0.7
宮城県	10	5	6	7.0
秋田県	0	1	2	1.0
山形県	12	13	11	12.0
福島県	2	0	5	2.3
新潟県	0	0	0	0.0
東北・新潟合計	26	21	25	24
	83.9%	65.6%	86.2%	78.3%
東北・新潟以外	5	11	4	7
	16.1%	34.4%	13.8%	21.7%

文化財保存修復学科				
	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	3年間平均
入学者数	27	25	25	25.7
青森県	1	0	2	1.0
岩手県	3	1	0	1.3
宮城県	2	1	6	3.0
秋田県	0	3	0	1.0
山形県	1	3	5	3.0
福島県	1	1	0	0.7
新潟県	1	1	0	0.7
東北・新潟合計	9	10	13	11
	33.3%	40.0%	52.0%	41.6%
東北・新潟以外	18	15	12	15
	66.7%	60.0%	48.0%	58.4%

【資料10】新入生アンケート「本学以外で進学を比較・検討した大学」

歴史遺産学科

	令和4（2022） 入学者	令和5（2023） 入学者	令和6（2024） 入学者	3年間合計
東北学院大学	7	3	6	16
山形大学	2	7	3	12
宮城学院女子大学	0	1	2	3

グラフィックデザイン学科

	令和4（2022） 入学者	令和5（2023） 入学者	令和6（2024） 入学者	3年間合計
長岡造形大学	8	7	10	25
東北工業大学	5	6	3	14
秋田公立美術大学	4	7	2	13
多摩美術大学	3	4	3	10
東京造形大学	6	4	1	11
東北生活文化大学	4	4	1	9

映像学科

	令和4（2022） 入学者	令和5（2023） 入学者	令和6（2024） 入学者	3年間合計
長岡造形大学	4	3	7	14
武蔵野美術大学	1	3	2	6
東北工業大学	3	2	0	5
東北学院大学	2	1	2	5
東京工芸大学	1	1	2	4
多摩美術大学	0	3	0	3
京都芸術大学	0	0	2	2

企画構想学科

	令和4（2022） 入学者	令和5（2023） 入学者	令和6（2024） 入学者	3年間合計
宮城大学	4	5	2	11
東北学院大学	4	2	1	7
山形大学	2	3	2	7
東北工業大学	2	2	2	6
宮城学院女子大学	0	2	3	5
長岡造形大学	0	2	2	4

【資料 11】東北学院大学 奨学金制度一覧

奨学金制度・学費 経済面のサポート

奨学金には、返還の必要がない「給付型奨学金」と卒業後に返還する「貸与型奨学金」があります。
経済的支援を目的とする奨学金をはじめ、成績優秀者を奨励する奨学金などで修学を支援しています。

※奨学金に関する情報は本学ホームページをご確認ください。



東北学院大学の奨学金

本学では、勉学に励む意欲があり優良な人物でありながら経済的な理由によって学修が困難な学生に対して、学業を修めることができるよう支援する各種の奨学金制度を設けています。

受験生対象（編入学及び大学院を除く）

■東北学院大学予約型入学時給付奨学金（LIGHT UP^{ライトアップ}奨学金） [募集定員：60名]

入学試験出願前に予備申請を行い、受験前に候補者として採択されます。

日程等詳細は大学ホームページ等にてご確認ください。

申請時期：入学試験前 Ⅰ期 9月頃（12月まで実施される選抜試験対象） Ⅱ期 12月頃（1～3月に実施される選抜試験対象）

支給方法：入学手続時の学生納付金（諸会費除く）の納付を猶予し、入学後に本採用された場合に猶予した学生納付金に充当することで支給

支給期間：入学年度の前期

支給額：入学時納付金（前期）合計額から諸会費29,500円を除いた額 ※次ページ「学費その他の納付金」参照

入学時負担額：29,500円
（2024年度参考）

※次ページ「高等教育の修学支援新制度」対象者で当奨学金の採用者は、授業料等減免後の入学時納付金（諸会費除く）が支給上限額

受験生対象

■東北学院大学東日本地域別スカラシップ選抜給付奨学金 [募集定員：36名]

申請方法：東日本地域別スカラシップ選抜に出願（80ページ参照）

支給期間：1年間（継続条件を満たせば最大4年間継続受給可能）

支給額：50万円

■東北学院大学給付奨学金 [募集定員：400名（各期200名）]

申請時期：前期募集4～5月、後期募集9～10月頃（募集案内は前期、後期授業の開始頃）

支給期間：半期（学部在学中1～4年次の前期 および後期で最大8回受給可能、「高等教育の修学支援新制度」との併給は不可）

支給額：15万円

■東北学院大学緊急給付奨学金

申請時期：家計支持者の死亡、疾病、失業（定年退職を除く）等により家計状況が急変した事由発生から1年以内

支給期間等：採用当該学期、ただし在学中1回限り

支給額：当該学期の授業料相当額

■東北学院大学キリスト教伝道者養成奨学金（無利子貸与奨学金）

出願資格：総合人文学科の全学年

申請時期：前期授業開始頃

貸与期間：1年間（学部在学中1～4年次の最大4回貸与可能）

貸与額：年間授業料を上限とした希望金額

東北学院大学 特待生・優等生制度 [参考：2023年度 特待生81名、優等生240名]

建学の精神を理解し、学業成績が特に優秀な学生を特待生または優等生として表彰し学業を奨励する奨学金を給付する制度です。

申請方法：申請不要（前年度成績により判定され該当者に通知）

支給期間：1年間（学部在学中の2～4年次で最大3回受給可能）

奨学金給付額：特待生 30万円、優等生 10万円

●その他、入学時から卒業時までの成績が特に優秀な学生に対し、学長から表彰し記念品を授与する卒業時学業成績優秀学生表彰の制度もあります。

日本学生支援機構 貸与奨学金 [参考：2023年度 一種2,593名、二種2,777名] ※給付奨学金は次ページ「高等教育の修学支援新制度」参照

勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学を諦めることがないよう支援する国の制度です。

申請時期：高校在学時（予約採用）または大学入学後（在学採用4～5月、二次採用9～10月頃。全学年申請可能）

支給期間：採用時から卒業時まで（受給途中での金額変更や辞退も可能）

支給額：第一種（無利子貸与） 月額2万、3万、4万円と5.4万円（自宅通学）・5万、6.4万円（自宅外通学）から選択

※最高月額基準を満たす方のみ ※日本学生支援機構給付奨学金との併給調整により支給制限あり

第二種（有利子貸与） 月額2万円から12万円の間 1万円単位で選択

高等教育の修学支援新制度 [参考: 2023年度 1,333名]

お金の心配なく大学で学ぶことができるよう、①給付型奨学金と②授業料・入学金の減額(授業料等減免)を支給する国の制度です。世帯の所得金額に基づき、支援区分が決定されます。

2024年度より多子世帯(扶養する子の人数が3人以上の世帯)と理工農系学部の間層に支援対象が拡大されます。詳しくは文部科学省ホームページで最新の情報をご確認ください。



申請時期: 高校在学時(予約採用)または大学入学後(在学採用4~5月、二次採用9~10月頃。全学年申請可能)
申請方法: 日本学生支援機構給付奨学金に申請(給付奨学金の支援区分に合わせ、授業料等減免の支援区分も決定される)
支給方法: ①給付奨学金: 月額を毎月指定口座へ振込 ②授業料等減免: 各期納入期限までに学生納付金等を納入の後、各期減免額を還付
支給期間: 採用時から正規の卒業時まで(学業成績や収入・資産の判定により支給期間途中で停止や廃止、金額の変更あり)
支給額: ①給付奨学金(月額)(日本学生支援機構) ②授業料等減免(半期ごと)

(2023年度参考)

区分	自宅通学	自宅外通学
第I区分	38,300円(42,500円*)	75,800円
第II区分	25,600円(28,400円*)	50,600円
第III区分	12,800円(14,200円*)	25,300円

※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人はカッコ内金額

(2023年度参考)

区分	前期授業料減免額 ^{※1}	後期授業料減免額 ^{※1}	(年間授業料減免額) ^{※2}	入学金減免額 ^{※3}
第I区分	350,000円	350,000円	700,000円	260,000円
第II区分	233,400円	233,300円	466,700円	173,400円
第III区分	116,700円	116,700円	233,400円	86,700円

※1 授業料 減免額は授業料年額から支援を受ける月数により算出されるため、端数処理の都合上100円単位で増減する可能性があります。

※2 毎年9月に実施される適格認定により、前期と後期で支援区分が変わる可能性があります。実際の年間減免額は、前期と後期の該当する支援区分の減免額合計です。

※3 大学1年次の後期以降から支援を受ける人は「入学金」の減免は受けられません。

その他の奨学金

地方公共団体や民間育英団体からさまざまな奨学金の募集があります。都度、学内掲示とホームページでご案内します。

奨学金に関するお問い合わせ

東北学院大学 学生課 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1 tel.022-264-6472

学費その他の納付金

学生納付金等(2024年度入学生について)

(単位:円)

学部	文学部英文学科・総合人文学科・歴史学科 経済学部・経営学部・法学部			工学部			文学部教育学科・地域総合学部 人間科学部・国際学部			情報学部		
	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合計
入 学 金*	270,000	—	270,000	270,000	—	270,000	270,000	—	270,000	270,000	—	270,000
授 業 料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000	437,000	437,000	874,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	105,000	105,000	210,000	130,000	130,000	260,000	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
実験実習料	—	—	—	35,000	35,000	70,000	—	—	—	35,000	35,000	70,000
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
計	775,000	505,000	1,280,000	984,000	714,000	1,698,000	842,000	572,000	1,414,000	877,000	607,000	1,484,000
後援会費	16,000	—	16,000	16,000	—	16,000	16,000	—	16,000	16,000	—	16,000
同窓会入会費*	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000
同窓会費	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000
学術振興会費	500	—	500	500	—	500	500	—	500	500	—	500
学生会入会費*	1,000	—	1,000	1,000	—	1,000	1,000	—	1,000	1,000	—	1,000
学生会費	6,000	—	6,000	6,000	—	6,000	6,000	—	6,000	6,000	—	6,000
計	29,500	0	29,500	29,500	0	29,500	29,500	0	29,500	29,500	0	29,500
合 計	804,500	505,000	1,309,500	1,013,500	714,000	1,727,500	871,500	572,000	1,443,500	906,500	607,000	1,513,500

[注意]

- 1: 本学学生納付金は、スライド制を導入しているため、在学期間中(翌年度以降)に改定されることがあります。
- 2: ※は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。
- 3: 入学年度後期の学生納付金は10月に納入することになり、その振込依頼書は7月下旬を目安に送付します。
- 4: 入学翌年度からの学生納付金は、一括又は前期(5月)と後期(10月)の2期に分けて納入することになり、その振込依頼書は4月下旬を目安にまとめて送付します。

学生納付金に関するお問い合わせ

学校法人東北学院 財務課 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1 tel.022-264-6441

【資料 1 2】東北学院大学文学部歴史学科就職率

	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	5年間平均
卒業者	160	153	171	158	158	160
就職希望者	150	126	150	149	151	145
就職決定者	143	119	137	137	143	136
進学決定者	2	11	0	5	0	4
就職率	95.3%	94.4%	91.3%	91.9%	94.7%	93.5%

※就職率＝就職決定者÷就職希望者

【資料 1 3】長岡造形大学 奨学金制度一覧

令和 6 年 8 月

長岡造形大学授業料等の減免制度について

長岡造形大学では、家庭の経済事情あるいは不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対し、授業料および実習料の 2 分の 1 を減免する制度を設けています。

この度、この制度の適用を希望する学生を募集しますので、以下に基づき申請してください。

1. 減免額および減免方法

・減 免 額：授業料（年額）535,800 円、実習料（年額）50,000 円のそれぞれ 2 分の 1。

・減免方法：当該年度の後期分の授業料、実習料の納付を免除することにより減免とします。

2. 学業条件・家計条件

減免の申請にあたっては、以下の学業条件と家計条件のいずれも満たす必要があります。

<学業条件>

	学年	条件
学 部	1 年次	前期終了までに 20 単位以上を修得していること
	2 年次	前期終了までに 60 単位以上を修得していること
	3 年次	前期終了までに 94 単位以上を修得していること
	4 年次	前期終了までに 118 単位以上を修得していること
大 学 院	修士課程	大学等及び大学院における成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること。 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があると認められること。
	博士（後期）課程	大学等及び大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備え活動することができると認められること。 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があると認められること。

<家計条件>

以下の(1)～(3)のいずれかに該当する学生

- (1) 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）の定めによる保護を受けている世帯に属する者
- (2) 生計を一にする家族全員が、市町村民税が非課税である者
- (3) 天災その他特別の事情により、市町村民税の減免を受けた者の世帯に属する者

※上記以外の理由により、授業料の納付が困難になった場合等、特別な事由がある方は事前にご相談ください。

3. 減免対象外の学生

- (1) 出願前 1 年以内に学則上の懲戒処分を受けた者
- (2) 出願前 1 年以内に進級要件、卒業要件を満たさず留年した者。
ただし、疾病又は留学により休学し留年した者を除く。
- (3) 高等教育の修学支援新制度による授業料等減免の認定対象者。

4. 申請手続き

<申請期限>

令和 6 年 10 月 18 日（金）16:00 厳守（郵送の場合は必着）

<提出書類>

必 須 書 類	申請者は必ず①、②、③を提出してください	
	① 授業料等減免申請書（本学指定書式、保証人欄を除いて学生本人が記入のこと） 申請理由は具体的に記載ください	
	② 生計を一にする家族全員（本人を除く）の住民票の謄本 ③ 生計を一にする家族全員（就学者を除く）の所得証明書または課税（非課税）証明書 ※ただし、収入がある就学者は提出してください	
追 加 書 類 （ 該 当 者 の み ）	以下のいずれかに該当する人は必須書類に加え、提出してください	
	生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）の定めによる保護を受けている世帯に属する者	生活保護受給証明書
	天災その他特別の事情により、市町村民税の減免を受けた者の世帯に属する者	罹災証明書及び被害額を証明できる書類等、市町村民税減免通知書の写し

※上記の他、必要に応じて証明書類を提出してください

※原本の提出をお願いします（コピー不可）

※提出書類は、不備がないよう準備・提出してください
不備があるものは受け付けません

5. 決定

令和 6 年 11 月中旬

採択、不採択とも決定通知書を送付します。

6. 問い合わせ・書類提出先

長岡造形大学 学生支援課

電話 0258-21-3381

e-mail: gakusei@nagaoka-id.ac.jp

〒940-2088 新潟県長岡市千秋 4 丁目 197 番地

対応時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）8:30～17:00

【資料 1 4】長岡造形大学造形学部デザイン学科就職率

	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	5年間平均
卒業者	118	115	127	111	115	117
就職希望者	108	97	105	92	98	100
就職決定者	100	85	90	86	91	90
進学決定者	1	0	3	0	4	2
就職率	92.6%	87.6%	85.7%	93.5%	92.9%	90.4%

※就職率＝就職決定者÷就職希望者

【資料 1 5】宮城大学事業構想学群就職率

	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	5年間平均
卒業者	202	204	208	198	204	203
就職希望者	181	196	186	186	185	187
就職決定者	180	188	179	184	185	183
進学決定者	6	6	8	3	9	6
就職率	99.4%	95.9%	96.2%	98.9%	100.0%	98.1%

※就職率＝就職決定者÷就職希望者

【資料 1 6】競合校 学生募集状況 過去 5 年間（令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度）

イ）歴史遺産学科

東北学院大学		令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	5年間平均
文学部歴史学科	入学定員	170	170	170	170	170	170.0
	志願者数	849	710	878	786	925	829.6
	合格者数	313	391	435	465	405	401.8
	入学者数	174	176	177	176	179	176.4
	志願倍率	4.99	4.18	5.16	4.62	5.44	4.88
	入学定員充足率	102.00%	104.00%	104.00%	104.00%	105.00%	103.76%

※受験者数は掲載なし

ロ) グラフィックデザイン学科

ハ) 映像学科

長岡造形大学		令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	5年間平均
デザイン学科		視覚デザイン学科			デザイン学科		
	入学定員	110	110	110	150	150	126.0
	志願者数	664	696	620	862	871	742.6
	受験者数	542	602	539	742	730	631.0
	合格者数	130	131	136	178	178	150.6
	入学者数	118	124	125	169	168	140.8
	志願倍率	6.04	6.33	5.64	5.75	5.81	5.89
	入学定員充足率	107.27%	112.73%	113.64%	112.67%	112.00%	111.75%

ニ) 企画構想学科

宮城大学		令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	5年間平均
事業構想学群	入学定員	200	200	200	200	200	200.0
	志願者数	772	901	793	811	729	801.2
	受験者数	541	607	540	533	477	539.6
	合格者数	226	224	228	226	221	225.0
	入学者数	212	215	210	214	214	213.0
	志願倍率	3.86	4.51	3.97	4.06	3.65	4.01
	入学定員充足率	106.00%	107.50%	105.00%	107.00%	107.00%	106.50%

東北芸術工科大学
芸術学部「歴史遺産学科」
デザイン工学部「企画構想学科」
(いずれも仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和7年3月
株式会社 進研アド

学生確保(資料) - 19 -

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 調査目的

2026年4月開設予定の東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」、デザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称)の設置構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

高校生対象調査		
調査対象		高校2年生
調査エリア		青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、千葉県、新潟県、山梨県、沖縄県
調査方法		接触者調査
調査対象数	有効回収数	1,301名
調査時期		2024年12月18日(水)～2025年1月16日(木)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・学年 ・高校所在地 ・高校種別 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」デザイン工学部「企画構想学科」の特色に対する魅力度 ・東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」デザイン工学部「企画構想学科」への受験意向 ・東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」デザイン工学部「企画構想学科」への入学意向

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(1,301名)

回答者の属性

※本調査は、東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」、デザイン工学部「企画構想学科」に対する需要を確認するための調査として設計。東北芸術工科大学の主な学生募集エリアである青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、千葉県、新潟県、山梨県、沖縄県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、1,301名から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が35.0%、「女性」が61.4%である。
- 回答者の学年は「2年生」が100.0%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、東北芸術工科大学の所在地である「山形県」が36.4%を占め、最も多い。次に「宮城県」が25.7%、「福島県」が11.0%と続く。
- 回答者の高校種別は、「国立」が0.3%、「公立」が68.8%、「私立」が30.8%である。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が39.4%で最も多い。次に「理系クラス(理系コース)」が25.2%と続く。

回答者の属性

■性別

Q1. あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

	標 本 数	男 性	女 性	回 答 し な い	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	1,301	35.0 456	61.4 799	3.5 46	0.0 0

■学年

Q2. あなたの学年を教えてください。(1つ選択)

	標 本 数	1 年 生	2 年 生	3 年 生	そ の 他	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	1,301	0.0 0	100.0 1,301	0.0 0	0.0 0	0.0 0

■高校所在地

Q3. あなたが在籍している高校の都道府県を教えてください。

	標 本 数	青 森 県	岩 手 県	宮 城 県	秋 田 県	山 形 県	福 島 県	茨 城 県
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	1,301	6.9 90	7.7 100	25.7 335	5.8 76	36.4 473	11.0 143	0.3 4

	標 本 数	群 馬 県	千 葉 県	新 潟 県	山 梨 県	沖 縄 県	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)							
全体	1,301	0.1 1	0.2 2	5.5 72	0.2 3	0.2 2	0.0 0

回答者の属性

■高校種別

Q4. あなたが通っている高校の設置者を教えてください。(1つ選択)

	標 本 数	国 立	公 立	私 立	そ の 他	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	1,301	0.3 4	68.8 895	30.8 401	0.1 1	0.0 0

■所属クラス

Q6. あなたが所属しているクラス(コース)を教えてください。(1つ選択)

	標 本 数	文 系 ク ラ ス (文 系 コ ー ス)	理 系 ク ラ ス (理 系 コ ー ス)	コ ー ス 選 択 は な い	そ の 他	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	1,301	39.4 512	25.2 328	16.7 217	18.8 244	0.0 0

高校卒業後の希望進路

- ・ 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は80.7%と最も多い。次いで「専門学校」に進学が20.4%と続く。「短期大学」に進学は7.8%、「専門職大学」に進学は3.2%、「専門職短期大学」に進学は1.9%である。
- ・ 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。その結果、東北芸術工科大学の該当する「私立」への進学を希望する人は62.3%と最も多く、「国立」が49.8%、「公立」が40.0%であった。

■高校卒業後の進路

Q7. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	大 学	短 期 大 学	専 門 職 大 学	専 門 職 短 期 大 学	専 門 学 校	就 職	そ の 他	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)									
全体	1,301	80.7 1,050	7.8 102	3.2 42	1.9 25	20.4 265	12.5 162	1.8 24	0.0 0

※「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」
のいずれかを選択した1,097名を抽出

■希望する大学等の区分(設置者)

Q8. 前問で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した方に質問です。
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している(希望している)設置者をすべて選択してください。(複数選択可)

	標 本 数	私 立	国 立	公 立	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)					
全体	1,097	62.3 683	49.8 546	40.0 439	0.0 0

興味のある学問分野

- ・回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、各学科の学びと関連する学問分野は以下の通り。

「歴史遺産学科」・・・

美術(美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む):26.1%

史学(歴史遺産学、文化財学など含む):8.1%

「企画構想学科」・・・

総合デザイン工学:15.1%

情報メディア学:11.2%

人間コミュニケーション学:9.3%

企画構想学:8.3%

フードデザイン学:5.2%

商学・経済学(経営学、事業構想学など含む):12.4%

社会学(観光学、コミュニティデザイン学など含む):9.5%

- 回答者のうち、私立大学進学希望者に限定すると、各学科の学びと関連する学問分野は以下の通り。

「歴史遺産学科」・・・

美術(美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む):36.4%

史学(歴史遺産学、文化財学など含む):9.6%

「企画構想学科」・・・

総合デザイン工学:19.9%

情報メディア学:11.4%

人間コミュニケーション学:11.6%

企画構想学:12.3%

フードデザイン学:5.7%

商学・経済学(経営学、事業構想学など含む):12.5%

社会学(観光学、コミュニティデザイン学など含む):10.6%

<私立大学進学希望者>

- ① Q7で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q8で「私立」への進学を希望。

■興味のある学問分野

Q9. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野をすべて選択してください。(複数選択可)
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

	標本数	総合デザイン工学	情報メディア学	人間コミュニケーション学	その他工学（機械工学、土木建築工学など含む）	企画構想学	フードデザイン学	商業・経済学（経営学、事業構想学など含む）	社会学（観光学、コミュニケーションデザイン学など含む）	法学・政治学	美術（美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む）	その他芸術（音楽など含む）
上段：% 下段：件数 （名）												
全体	1,301	15.1 196	11.2 146	9.3 121	9.5 123	8.3 108	5.2 68	12.4 161	9.5 124	7.8 101	26.1 339	13.1 171

	標本数	文化史学（歴史遺産学、文化財学など含む）	その他人文科学（文学、哲学など含む）	農学（農芸化学・水産学など含む）	理学（数学・物理学など含む）	家政（家政学、被服学など含む）	教育（小学校課程、中学校課程など含む）	保健（医学、薬学、看護学など含む）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数 （名）											
全体	1,301	8.1 105	9.7 126	4.0 52	6.8 88	3.2 41	12.2 159	10.4 135	14.1 183	5.1 67	0.0 0

<私立大学進学希望者ベース>

	標本数	総合デザイン工学	情報メディア学	人間コミュニケーション学	その他工学（機械工学、土木建築工学など含む）	企画構想学	フードデザイン学	商業・経済学（経営学、事業構想学など含む）	社会学（観光学、コミュニケーションデザイン学など含む）	法学・政治学	美術（美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む）	その他芸術（音楽など含む）
上段：% 下段：件数 （名）												
私立大学 進学希望者	649	19.9 129	11.4 74	11.6 75	8.5 55	12.3 80	5.7 37	12.5 81	10.6 69	7.1 46	36.4 236	15.6 101

	標本数	文化史学（歴史遺産学、文化財学など含む）	その他人文科学（文学、哲学など含む）	農学（農芸化学・水産学など含む）	理学（数学・物理学など含む）	家政（家政学、被服学など含む）	教育（小学校課程、中学校課程など含む）	保健（医学、薬学、看護学など含む）	その他	わからない	無回答
上段：% 下段：件数 （名）											
私立大学 進学希望者	649	9.6 62	12.2 79	2.8 18	5.7 37	3.5 23	11.7 76	10.9 71	13.4 87	2.6 17	0.0 0

※%の母数は、私立大学進学希望者(649名)

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q7で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q8で「私立」への進学を希望。
- ③ Q9で、芸術学部「歴史遺産学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
(美術(美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む)、史学(歴史遺産学、文化財学など含む)のいずれかに興味あり)

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産
学科」クロス集計結果

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」クロス集計結果

- Q11. 東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。
※第一志望、第二志望は選択する志望順位が重ならないようにご回答ください。
- Q12. 前問で、いずれかの志望順位で「受験する」を選択した学科についてお答えください。
東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。
※「入学する」を選んだ学科が、1個または0個になるようにご回答ください。

回答者数 (合計)	Q7 卒業後の進路	Q8 進学希望の 大学設置者	Q9 興味のある 学問分野	Q11 新設組織の 受験希望有無	Q12 合格した場合の 入学希望有無
	うち、	うち、	うち、	うち、	うち、
1,301名	①大学 に進学 1,050名 (80.7%)	①私立 649名 (49.9%)	⑩美術(美術 史・文化財保 存修復学、歴 史遺産学など 含む) ⑪史学(歴史 遺産学、文化 財学など含 む) を選択 265名 (20.4%) ※新設組織に 該当する 学問分野 いずれかを 選択した者 のみ記載	①第一志望として 受験する 20名 (1.5%)	①入学する 15名 (1.2%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 5名 (0.4%)
					③入学しない 0名 (0.0%)
				②第二志望として 受験する 25名 (1.9%)	①入学する 0名 (0.0%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 23名 (1.8%)
					③入学しない 2名 (0.2%)
				③第三志望以降 として受験する 64名 (4.9%)	①入学する 2名 (0.2%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 45名 (3.5%)
					③入学しない 17名 (1.3%)
				④受験しない	

↓
入学見込者※
15名

※%の母数は、回答者全体(1,301名)
※「入学見込者」=ターゲット層のうち、Q11で芸術学部「歴史遺産学科」を「第一志望として受験する」かつQ12で「入学する」と回答した人

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」の特色に対する魅力度

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」の特色に対する魅力度

【芸術学部「歴史遺産学科」ターゲット層】

下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 265名(回答者全体の20.4%)

- ① Q7で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q8で「私立」への進学を希望。
- ③ Q9で、芸術学部「歴史遺産学科」の学びと関連する学問分野への興味あり(美術(美術史・文化財保存修復学、歴史遺産学など含む)、史学(歴史遺産学、文化財学など含む)のいずれかに興味あり)



- ・ターゲット層における芸術学部「歴史遺産学科」の特色に対する魅力度(※)を見ると、最も高いのは「特色2. 「文化財保存修復コース」では多様な分野の修復作業に挑戦することや、「歴史遺産コース」ではフィールドワークなど実際の現場で触れながら学ぶなど、知識の修得だけでなく、実践的に学ぶことができます。」(84.5%)。次いで「特色1. 歴史遺産学科には、文化財を守り伝えるための知識と技術を学ぶ「文化財保存修復コース」と、歴史の遺産を文化資源として次世代に繋ぐことを学ぶ「歴史遺産コース」の設置を予定しています。」(80.8%)と続く。
- ・同様に、ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)における芸術学部「歴史遺産学科」の特色を見ると、最も高いのは「特色1」「特色2」(いずれも100.0%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産 学科」の特色に対する魅力度

■東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」の特色に対する魅力度

Q10. 東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つ選択)

特色1. 【芸術学部 歴史遺産学科】歴史遺産学科には、文化財を守り伝えるための知識と技術を学ぶ「**文化財保存修復コース**」と、歴史の遺産を文化資源として次世代に繋ぐことを学ぶ「**歴史遺産コース**」の設置を予定しています。

特色2. 【芸術学部 歴史遺産学科】「**文化財保存修復コース**」では多様な分野の修復作業に挑戦することや、「**歴史遺産コース**」ではフィールドワークなど実際の現場で触れながら学ぶなど、知識の修得だけでなく、実践的に学ぶことができます。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	特色1	特色2
ターゲット層	265	80.8 214	84.5 224
第一志望者	15	100.0 15	100.0 15

※第一志望者:

ターゲット層(大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人

東北芸術工科大学 デザイン工学部 「企画構想学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
東北芸術工科大学 デザイン工学部「企画構想学科」のターゲット層と定義し、分析
を行う。

- ① Q7で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q8で「私立」への進学を希望。
- ③ Q9で、デザイン工学部「企画構想学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
(総合デザイン工学、情報メディア学、人間コミュニケーション学、企画構想学、
フードデザイン学、商学・経済学(経営学、事業構想学など含む)、社会学(観光
学、コミュニティデザイン学など含む)のいずれかに興味あり)

東北芸術工科大学 デザイン工学部 「企画構想学科」クロス集計結果

東北芸術工科大学 デザイン工学部「企画構想学科」 クロス集計結果

- Q11. 東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。
※第一志望、第二志望は選択する志望順位が重ならないようにご回答ください。
- Q12. 前問で、いずれかの志望順位で「受験する」を選択した学科についてお答えください。
東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。
※「入学する」を選んだ学科が、1個または0個になるようにご回答ください。

回答者数 (合計)	Q7 卒業後の進路	Q8 進学希望の 大学設置者	Q9 興味のある 学問分野	Q11 新設組織の 受験希望有無	Q12 合格した場合の 入学希望有無
	うち、	うち、	うち、	うち、	うち、
1,301名	①大学 に進学 1,050名 (80.7%)	①私立 649名 (49.9%)	①総合デザイン工学 ②情報メディア学 ③人間コミュニケーション学 ⑤企画構想学 ⑥フードデザイン学 ⑦商学・経済学(経営学、事業構想学など含む) ⑧社会学(観光学、コミュニティデザイン学など含む) を選択 324名 (24.9%) ※新設組織に該当する学問分野いずれかを 選択した者のみ記載	①第一志望として 受験する 34名 (2.6%)	①入学する 24名 (1.8%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 10名 (0.8%)
					③入学しない 0名 (0.0%)
				②第二志望として 受験する 42名 (3.2%)	①入学する 7名 (0.5%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 27名 (2.1%)
					③入学しない 8名 (0.6%)
				③第三志望以降 として受験する 101名 (7.8%)	①入学する 4名 (0.3%)
					②志望順位が 上位の他の学科・ 志望校が不合格 の場合に入学する 80名 (6.1%)
					③入学しない 17名 (1.3%)
				④受験しない	
					入学見込者※ 24名

※%の母数は、回答者全体(1,301名)
※「入学見込者」=ターゲット層のうち、Q11でデザイン工学部「企画構想学科」を「第一志望として受験する」かつQ12で「入学する」と回答した人

東北芸術工科大学 デザイン工学部 「企画構想学科」の特色に対する魅力度

東北芸術工科大学 デザイン工学部「企画構想学科」 の特色に対する魅力度

【デザイン工学部「企画構想学科」ターゲット層】

下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 324名(回答者全体の24.9%)

- ① Q7で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q8で「私立」への進学を希望。
- ③ Q9で、デザイン工学部「企画構想学科」の学びと関連する学問分野への興味あり

(総合デザイン工学、情報メディア学、人間コミュニケーション学、企画構想学、フードデザイン学、商学・経済学(経営学、事業構想学など含む)、社会学(観光学、コミュニティデザイン学など含む)のいずれかに興味あり)



- ・ターゲット層におけるデザイン工学部「企画構想学科」の特色に対する魅力度(※)を見ると、最も高いのは「特色3. 企画構想学科には、企画立案に欠かせない知識とスキルを学ぶ「**企画構想コース**」、地域住民と協力して社会の仕組みを改善する「**地域デザインコース**」、食を通じて地域を活性化させる「**食文化デザインコース**」の設置を予定しています。」「特色4. 徹底した「**プロジェクト実践型の学び**」により、地域と協力して社会の仕組み改善など「**コトや地域をデザインする力**」や、東北地方の豊かな自然と食材を学び「**食を通じて地域に貢献する力**」を身につけます。」(いずれも84.3%)である。
- ・同様に、ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)におけるデザイン工学部「企画構想学科」の特色を見ると、最も高いのは「特色3」「特色4」(いずれも100.0%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

東北芸術工科大学 デザイン工学部 「企画構想学科」の特色に対する魅力度

■東北芸術工科大学 デザイン工学部「企画構想学科」の特色に対する魅力度

Q10. 東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つ選択)

特色3. 【デザイン工学部 企画構想学科】企画構想学科には、企画立案に欠かせない知識とスキルを学ぶ「**企画構想コース**」、地域住民と協力して社会の仕組みを改善する「**地域デザインコース**」、食を通じて地域を活性化させる「**食文化デザインコース**」の設置を予定しています。

特色4. 【デザイン工学部 企画構想学科】徹底した「**プロジェクト実践型の学び**」により、地域と協力して社会の仕組み改善など「**コトや地域をデザインする力**」や、東北地方の豊かな自然と食材を学び「**食を通じて地域に貢献する力**」を身につけます。

上段: % 下段: 件数(名)	標本数	特色3	特色4
ターゲット層	324	84.3 273	84.3 273
第一志望者	24	100.0 24	100.0 24

※第一志望者:

ターゲット層(大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、東北芸術工科大学 デザイン工学部「企画構想学科」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人

卷末資料 調査票

C1

100%

■本調査で知った内容について、人に話したり、SNSなどに掲載しないようお願いいたします。

東北芸術工科大学では2026年（令和8年）4月より、現在の芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」（いずれも仮称、設置構想中）の学びをさらに充実させ、入学定員数を増やします。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、東北芸術工科大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することはありません。また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの本学への入学に影響を及ぼすことは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

.....✂ ここて改ページ

C2

◆はじめに、あなたご自身についてお聞きます。

.....✂ ここて改ページ

・ ①必須入力

Q1

あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

① 男性

② 女性

③ 回答しない

.....✂ ここて改ページ

- ① 必須入力

Q2

あなたの学年を教えてください。(1つ選択)

② 単一回答 ★ 必須回答

- ① 1年生
- ② 2年生
- ③ 3年生
- ④ その他



- ① 必須入力
- プルダウン選択肢：
 1. 北海道
 2. 青森県
 3. 岩手県
 4. 宮城県
 5. 秋田県
 6. 山形県
 7. 福島県
 8. 茨城県
 9. 栃木県
 10. 群馬県
 11. 埼玉県
 12. 千葉県
 13. 東京都
 14. 神奈川県
 15. 新潟県
 16. 富山県
 17. 石川県
 18. 福井県
 19. 山梨県
 20. 長野県
 21. 岐阜県
 22. 静岡県
 23. 愛知県
 24. 三重県
 25. 滋賀県
 26. 京都府
 27. 大阪府
 28. 兵庫県
 29. 奈良県
 30. 和歌山県
 31. 鳥取県
 32. 島根県
 33. 岡山県
 34. 広島県
 35. 山口県
 36. 徳島県
 37. 香川県
 38. 愛媛県
 39. 高知県
 40. 福岡県
 41. 佐賀県
 42. 長崎県
 43. 熊本県
 44. 大分県
 45. 宮崎県
 46. 鹿児島県
 47. 沖縄県
 48. 日本国外

Q3

あなたが在籍している高校の都道府県を教えてください。

⓪ 単一回答 ★ 必須回答

以下を選択



- ① 必須入力

Q4

あなたが通っている高校の設置者を教えてください。(1つ選択)

⓪ 単一回答 ★ 必須回答

① 国立

② 公立

③ 私立

④ その他



- ① 必須にする(全てのFA欄)

Q5

あなたが通っている高校名を教えてください。

高校名は省略せずに、正式名称でお書きください。

(例) ●●県立●●高等学校、●●市立●●高等学校、私立●●高等学校 など

※学校名が「●●高等学校」の名称でない方は、二つ目の枠内に学校名を省略せずに、正式名称でお書きください。

★ 必須回答

▲ とじる

立 高等学校



- ① 必須入力

Q6

あなたが所属しているクラス（コース）を教えてください。（1つ選択）

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

- ① 文系クラス （文系コース）
- ② 理系クラス （理系コース）
- ③ コース選択はない
- ④ その他



ここで改ページ

C3

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きます。



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q7

あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路をすべて選択してください。（複数選択可）

☒ 複数回答 ☒ 必須回答

▲ とじる

- ① 大学
- ② 短期大学
- ③ 専門職大学
- ④ 専門職短期大学
- ⑤ 専門学校
- ⑥ 就職
- ⑦ その他



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q7】で1-4と答えた方
- ①必須入力

Q8

前問で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した方に質問です。

志望する大学等の設置者の希望を選択してください。

現在検討している（希望している）設置者をすべて選択してください。（複数選択可）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 私立

2 国立

3 公立



- ①必須入力
- 排他選択肢：20. わからない
- 選択肢グループリバースランダムイズ：選択肢グループ1,2

- 画像必須

C4

◆東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」（いずれも仮称、設置構想中）についてお聞きます。

東北芸術工科大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2026年（令和8年）4月に、現在の芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」（いずれも仮称、設置構想中）の学びをさらに充実させ、入学定員数を増やします。

ここからの質問には、以下の東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」（いずれも仮称、設置構想中）の内容を説明したリーフレットを見てからお答えください。

※同じ内容のリーフレットを、「Webアンケートご協力のお願い」に同封しています。
お手元にリーフレットがある方は、リーフレットを見ながらご回答ください。

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須



※このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

..... ✂ ここて改ページ

- ①必須入力(全項目)

Q10

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」
(いずれも仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つ選択)

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
(閲覧は任意です)

※東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」
(いずれも仮称、設置構想中)の内容



○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/4

1 【芸術学部 歴史遺産学科】

歴史遺産学科には、文化財を守り伝えるための知識と技術を学ぶ「文化財保存修復コース」と、歴史の遺産を文化資源として次世代に繋ぐことを学ぶ「歴史遺産コース」の設置を予定しています。

2 【芸術学部 歴史遺産学科】

「文化財保存修復コース」では多様な分野の修復作業に挑戦することや、「歴史遺産コース」ではフィールドワークなど実際の現場で触れながら学ぶなど、知識の修得だけでなく、実践的に学ぶことができます。

3 【デザイン工学部 企画構想学科】

企画構想学科には、企画立案に欠かせない知識とスキルを学ぶ「企画構想コース」、地域住民と協力して社会の仕組みを改善する「地域デザインコース」、食を通じて地域を活性化させる「食文化デザインコース」の設置を予定しています。

4 【デザイン工学部 企画構想学科】

徹底した「プロジェクト実践型の学び」により、地域と協力して社会の仕組み改善など「コトや地域をデザインする力」や、東北地方の豊かな自然と食材を学び「食を通じて地域に貢献する力」を身につけます。

① とても魅力を感じる

② ある程度魅力を感じる

③ あまり魅力を感じない

④ まったく魅力を感じない

- **❗必須入力(全項目)**

Q11

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」
(いずれも仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。
それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

※第一志望、第二志望は選択する志望順位が重ならないようにご回答ください。

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
(閲覧は任意です)

※東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」（いずれも仮称、設置構想中）の内容



◎ 單一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/2

¹ 芸術学部 歴史遺産学科

2 デザイン工学部 企画構想学科

① 第一志望として受験する

② 第二志望として受験する

③ 第三志望以降として受験する

④ 受験しない



- セレクト条件 項目【1】 : Q11項目【1】で1-3と答えた方
- セレクト条件 項目【2】 : any(Q11S2, "1-3")
- ①必須入力(全項目)
- 回答参照 : 【Q11S1】
- 回答参照 : 【Q11S2】

Q12

前問で、いずれかの志望順位で「受験する」を選択した学科についてお答えください。

東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。それぞれの学科について、次より1つずつ選択してください。

※「入学する」を選んだ学科が、1個または0個になるようにご回答ください。

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
(閲覧は任意です)

※東北芸術工科大学 芸術学部「歴史遺産学科」とデザイン工学部「企画構想学科」(いずれも仮称、設置構想中)の内容



☉ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

1 芸術学部 歴史遺産学科 前問の回答 : 【【Q11S1の選択内容】】 ▼

2 デザイン工学部 企画構想学科 前問の回答 : 【【Q11S2の選択内容】】 ▲

① 入学する

② 志望順位が上位の他の学科・志望校が不合格の場合に入学する

③ 入学しない

【資料 18】過去 3 年間（令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度）に本学に寄せられた求人件数

	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度	令和 5（2023）年度	過去3年間の平均
求人件数	7,832	9,299	11,191	9,441
卒業年次学生数	561	546	528	545
一人あたりの平均求人件数	13.96	17.03	21.20	17.32

【資料 19】過去 3 年間（令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度）に本学に寄せられた、歴史遺産学科、グラフィックデザイン学科、映像学科、企画構想学科の人材養成の目的に関連する求人件数

1) 歴史遺産学科

	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度	令和 5（2023）年度	過去3年間の平均
求人件数	1,030	1,255	1,490	1,258
卒業年次学生数	34	34	29	32
一人あたりの平均求人件数	30.29	36.91	51.38	38.92

2) グラフィックデザイン学科

	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度	令和 5（2023）年度	過去3年間の平均
求人件数	723	928	1,123	925
卒業年次学生数	63	54	66	61
一人あたりの平均求人件数	11.48	17.19	17.02	15.16

3) 映像学科

	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度	令和 5（2023）年度	過去3年間の平均
求人件数	723	928	1,123	925
卒業年次学生数	57	59	44	53
一人あたりの平均求人件数	12.68	15.73	25.52	17.34

4) 企画構想学科

	令和 3（2021）年度	令和 4（2022）年度	令和 5（2023）年度	過去3年間の平均
求人件数	1,507	1,883	2,348	1,913
卒業年次学生数	49	47	46	47
一人あたりの平均求人件数	30.76	40.06	51.04	40.41

【資料 20】過去 5 年間（令和元（2019）年度～令和 5（2023）年度）の本学の進路決定率

		令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	過去5年間 平均
大学全体	進路決定率	89.6%	88.6%	89.8%	88.6%	91.1%	89.5%
	就職率	95.1%	94.0%	95.6%	96.5%	97.1%	95.7%
歴史遺産学科	進路決定率	76.9%	88.9%	100.0%	85.3%	93.1%	88.8%
	就職率	80.0%	91.3%	100.0%	96.4%	100.0%	93.5%
グラフィック デザイン学科	進路決定率	86.2%	81.5%	93.7%	98.1%	90.9%	90.1%
	就職率	96.6%	84.6%	96.7%	100.0%	98.3%	95.2%
映像学科	進路決定率	88.3%	88.5%	82.5%	78.0%	84.1%	84.3%
	就職率	91.2%	88.5%	85.2%	90.2%	89.7%	89.0%
企画構想学科	進路決定率	98.0%	95.5%	83.7%	95.7%	95.7%	93.2%
	就職率	100.0%	100.0%	93.2%	97.8%	97.8%	97.8%
全国の大学	進路決定率	88.2%	85.0%	85.9%	87.4%	88.3%	87.0%
	就職率	96.0%	93.9%	94.6%	95.5%	96.1%	95.2%
全国の芸術学部 系統の大学	進路決定率	73.2%	68.1%	70.8%	73.4%	74.2%	71.9%
	就職率	91.3%	86.0%	89.0%	90.5%	92.0%	89.8%

進路決定率 = (就職決定者 + 進学決定者) ÷ 卒業者

就職率 = 就職決定者 ÷ 就職希望者

【資料 21】就職者のうち専門領域関連職に就いた当該学科別人数、比率

		歴史遺産学科	グラフィック デザイン学科	映像学科	企画構想学科	大学全体
令和5 (2023) 年度	就職者数	27	59	35	44	440
	うち学科の専門領域関連職	8	51	30	29	259
	割合	29.6%	86.4%	85.7%	65.9%	58.9%

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	山形県	393人	43.5%
2	宮城県	148人	16.4%
3	福島県	71人	7.9%
4	岩手県	43人	4.8%
5	北海道	25人	2.8%
	全 体	904人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	山形県	101.15%	96.76%	94.15%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	芸術系	105.50%	105.32%	104.77%
2	理・工学系	104.35%	101.88%	99.39%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	38人	36人	32人	47人	26人	36人
		志願者数	38人	34人	30人	44人	34人
		受験者数	23人	21人	23人	20人	21人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	1人	0人	2人	1人
		辞退者数	38人	36人	32人	47人	36人
	実人数	38人	34人	30人	44人	26人	34人
		志願者数	38人	34人	30人	44人	34人
		受験者数	23人	21人	23人	20人	21人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	1人	0人	2人	1人
		辞退者数	19人	20人	23人	14人	19人
	入学者数	19人	20人	23人	20人	14人	19人
学校推薦型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	1人	0人	2人	1人	1人
		志願者数	0人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	1人	0人	2人	1人	1人
		志願者数	0人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	2人	1人	1人
一般選抜	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	25人	31人	32人	28人	24人	28人
		志願者数	25人	31人	32人	28人	28人
		受験者数	6人	8人	5人	13人	7人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	4人	3人	6人	4人
		辞退者数	25人	31人	32人	28人	28人
	実人数	25人	31人	32人	28人	24人	28人
		志願者数	25人	31人	32人	28人	28人
		受験者数	6人	8人	5人	13人	7人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	4人	3人	6人	4人
		辞退者数	2人	4人	2人	2人	3人
	入学者数	2人	4人	2人	2人	7人	3人
共通テスト利用入試	募集人数	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	49人	48人	43人	46人	43人	46人
		志願者数	49人	48人	43人	45人	46人
		受験者数	9人	10人	12人	6人	13人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	7人	9人	10人	6人	11人
		辞退者数	49人	48人	43人	46人	46人
	実人数	49人	48人	43人	45人	43人	46人
		志願者数	49人	48人	43人	45人	46人
		受験者数	9人	10人	12人	6人	13人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	7人	9人	10人	6人	11人
		辞退者数	2人	1人	2人	0人	2人
	入学者数	2人	1人	2人	0人	3人	2人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
		志願者数	2人	0人	0人	2人	1人
		受験者数	2人	0人	0人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	1人
	実人数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
		志願者数	2人	0人	0人	2人	1人
		受験者数	2人	0人	0人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	1人	1人
	入学者数	2人	0人	0人	1人	0人	1人
合計	募集人数	26人	26人	26人	26人	26人	26人
	延べ人数	114人	116人	107人	125人	94人	111人
		志願者数	114人	114人	105人	121人	109人
		受験者数	40人	40人	40人	34人	42人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	15人	14人	13人	9人	16人
		辞退者数	114人	116人	107人	125人	111人
	実人数	114人	114人	105人	121人	92人	109人
		志願者数	114人	114人	105人	121人	109人
		受験者数	40人	40人	40人	34人	42人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	15人	14人	13人	9人	16人
		辞退者数	25人	26人	27人	25人	26人
	入学者数	25人	26人	27人	25人	25人	26人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	26人	26人	26人	26人	26人	26
入 学 定 員 充 足 率	0.96	1.00	1.04	0.96	0.96	0.98
歩 留 率	0.63	0.65	0.68	0.74	0.45	0.63

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	19人	19人	19人	19人	19人	19人
	延べ人数	47人	23人	26人	19人	30人	29人
		受検者数	47人	22人	24人	17人	28人
		合格者数	26人	19人	21人	13人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	0人	1人	0人	1人
	実人数	47人	23人	26人	19人	30人	29人
		受検者数	47人	22人	24人	17人	28人
		合格者数	26人	19人	21人	13人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	0人	1人	0人	1人
	入学者数	20人	19人	20人	13人	17人	18人
学校推薦型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	1人	4人	5人	1人	2人	3人
		受検者数	1人	4人	4人	1人	2人
		合格者数	1人	4人	4人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	1人	4人	5人	1人	2人	3人
		受検者数	1人	4人	4人	1人	2人
		合格者数	1人	4人	4人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	1人	4人	4人	1人	2人	2人
一般選抜	募集人数	11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	22人	24人	26人	29人	27人	26人
		受検者数	22人	24人	25人	29人	25人
		合格者数	14人	11人	11人	17人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	4人	6人	6人	6人
	実人数	22人	24人	26人	29人	27人	26人
		受検者数	22人	24人	25人	29人	25人
		合格者数	14人	11人	11人	17人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	4人	6人	6人	6人
	入学者数	6人	7人	5人	11人	5人	7人
共通テスト利用入試	募集人数	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	26人	41人	42人	52人	44人	41人
		受検者数	26人	41人	41人	52人	44人
		合格者数	14人	21人	12人	30人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	17人	10人	23人	15人
	実人数	26人	41人	42人	52人	44人	41人
		受検者数	26人	41人	41人	52人	44人
		合格者数	14人	21人	12人	30人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	17人	10人	23人	15人
	入学者数	3人	4人	2人	7人	5人	4人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		受検者数	3人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人
	実人数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		受検者数	3人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数	32人	32人	32人	32人	32人	32人
	延べ人数	99人	92人	99人	101人	103人	99人
		受検者数	99人	91人	94人	77人	93人
		合格者数	55人	55人	48人	61人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	21人	17人	29人	23人
	実人数	99人	92人	99人	101人	103人	99人
		受検者数	99人	91人	94人	77人	93人
		合格者数	55人	55人	48人	61人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	21人	17人	29人	23人
	入学者数	30人	34人	31人	32人	29人	31人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	32人	32人	32人	32人	32人	32
入 学 定 員 充 足 率	0.94	1.06	0.97	1.00	0.91	0.98
歩 留 率	0.55	0.62	0.65	0.52	0.58	0.58

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－３

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学芸術学部美術科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	119人	119人	119人	87人	87人	106人
	延べ人数	259人	215人	327人	354人	344人	300人
		259人	212人	312人	341人	333人	291人
		211人	188人	195人	139人	152人	177人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		85人	68人	57人	39人	43人	58人
	実人数	259人	215人	327人	354人	344人	300人
		259人	212人	312人	341人	333人	291人
		211人	188人	195人	139人	152人	177人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		85人	68人	57人	39人	43人	58人
	入学者数	126人	120人	138人	100人	109人	119人
学校推薦型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	5人	10人	6人	7人	6人	7人
		5人	10人	6人	7人	6人	7人
		5人	14人	6人	7人	6人	8人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	4人	0人	0人	0人	1人
	実人数	5人	10人	6人	7人	6人	7人
		5人	10人	6人	7人	6人	7人
		5人	14人	6人	7人	6人	8人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	5人	10人	6人	7人	6人	7人
一般選抜	募集人数	41人	41人	41人	30人	30人	37人
	延べ人数	145人	156人	191人	204人	158人	171人
		145人	150人	181人	201人	149人	165人
		81人	108人	73人	70人	52人	77人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		59人	75人	51人	46人	42人	55人
	実人数	145人	156人	191人	204人	158人	171人
		145人	150人	181人	201人	149人	165人
		81人	108人	73人	70人	52人	77人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		59人	75人	51人	46人	42人	55人
	入学者数	22人	33人	22人	24人	10人	22人
共通テスト利用入試	募集人数	9人	9人	9人	7人	7人	8人
	延べ人数	229人	153人	205人	152人	135人	175人
		229人	153人	202人	149人	133人	173人
		108人	129人	86人	36人	64人	85人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		96人	123人	75人	32人	57人	77人
	実人数	229人	153人	205人	152人	135人	175人
		229人	153人	202人	149人	133人	173人
		108人	129人	86人	36人	64人	85人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		96人	123人	75人	32人	57人	77人
	入学者数	12人	6人	11人	4人	7人	8人
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	32人	2人	2人	1人	4人	8人
		32人	2人	2人	1人	4人	8人
		12人	1人	1人	1人	0人	3人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		8人	0人	1人	0人	0人	2人
	実人数	32人	2人	2人	1人	4人	8人
		32人	2人	2人	1人	4人	8人
		12人	1人	1人	1人	0人	3人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		8人	0人	1人	0人	0人	2人
	入学者数	6人	1人	0人	1人	0人	2人
合計	募集人数	169人	169人	169人	124人	124人	151人
	延べ人数	670人	536人	731人	718人	647人	660人
		670人	527人	703人	699人	625人	645人
		417人	440人	361人	253人	274人	349人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		248人	270人	184人	117人	142人	192人
	実人数	670人	536人	731人	718人	647人	660人
		670人	527人	703人	699人	625人	645人
		417人	440人	361人	253人	274人	349人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		248人	266人	184人	117人	142人	191人
	入学者数	171人	170人	177人	136人	132人	157人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	169人	169人	169人	124人	124人	151
入 学 定 員 充 足 率	1.01	1.01	1.05	1.10	1.06	1.05
歩 留 率	0.41	0.39	0.49	0.54	0.48	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-4

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学芸術学部工芸デザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
総合型選抜	募集人数					32人	32人	32人
	延べ人数	志願者数				77人	79人	78人
		受験者数				76人	77人	77人
		合格者数				40人	41人	41人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
	実人数	志願者数				77人	79人	78人
		受験者数				76人	77人	77人
		合格者数				40人	41人	41人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	2人	1人
	入学者数					38人	39人	39人
学校推薦型選抜	募集人数					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				1人	2人	2人
		受験者数				1人	2人	2人
		合格者数				1人	2人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				1人	2人	2人
		受験者数				1人	2人	2人
		合格者数				1人	2人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	2人	2人
一般選抜	募集人数					11人	1人	6人
	延べ人数	志願者数				49人	39人	44人
		受験者数				46人	36人	41人
		合格者数				10人	9人	10人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	4人	4人	2人
	実人数	志願者数				49人	39人	44人
		受験者数				46人	36人	41人
		合格者数				10人	9人	10人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	4人	4人	2人
	入学者数					6人	5人	6人
共通テスト利用入試	募集人数					2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数				62人	54人	58人
		受験者数				61人	54人	58人
		合格者数				9人	9人	9人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	8人	6人	3人
	実人数	志願者数				62人	54人	58人
		受験者数				61人	54人	58人
		合格者数				9人	9人	9人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	8人	6人	3人
	入学者数					1人	3人	2人
その他の特別選抜	募集人数					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人数		0人	0人	0人	45人	35人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	189人	174人	73人
		受験者数	0人	0人	0人	184人	169人	71人
		合格者数	0人	0人	0人	60人	61人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	14人	12人	5人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	189人	174人	73人
		受験者数	0人	0人	0人	184人	124人	62人
		合格者数	0人	0人	0人	60人	61人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	14人	12人	5人
	入学者数		0人	0人	0人	46人	49人	19人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員				45人	45人	45
入学定員充足率				1.02	1.09	1.06
歩留率				0.77	0.80	0.78

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：東北芸術工科大学芸術学部文芸学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		29人	29人	29人	29人	29人	29人
	延べ人数	志願者数	65人	34人	60人	62人	66人	57人
		受験者数	65人	34人	59人	60人	66人	57人
		合格者数	36人	31人	36人	36人	37人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	0人	1人	4人	2人
	実人数	志願者数	65人	34人	60人	62人	66人	57人
		受験者数	65人	34人	59人	60人	66人	57人
		合格者数	36人	31人	36人	36人	37人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	0人	1人	4人	2人
	入学者数		34人	30人	36人	35人	33人	34人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	26人	29人	31人	28人	26人	28人
		受験者数	25人	29人	30人	28人	23人	27人
		合格者数	8人	14人	10人	8人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	8人	3人	4人	3人	4人
	実人数	志願者数	26人	29人	31人	28人	26人	28人
		受験者数	25人	29人	30人	28人	23人	27人
		合格者数	8人	14人	10人	8人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	8人	3人	4人	3人	4人
	入学者数		4人	6人	7人	4人	7人	6人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	43人	32人	44人	45人	40人	41人
		受験者数	42人	32人	44人	45人	39人	40人
		合格者数	9人	17人	8人	7人	16人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	12人	7人	4人	13人	8人
	実人数	志願者数	43人	32人	44人	45人	40人	41人
		受験者数	42人	32人	44人	45人	39人	40人
		合格者数	9人	17人	8人	7人	16人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	12人	7人	4人	13人	8人
	入学者数		3人	5人	1人	3人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
		受験者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
		合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
		受験者数	15人	0人	0人	0人	0人	3人
		合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		3人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	募集人数		42人	42人	42人	42人	42人	42人
	延べ人数	志願者数	149人	95人	135人	135人	132人	129人
		受験者数	147人	95人	133人	133人	128人	127人
		合格者数	59人	62人	54人	51人	63人	58人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	21人	10人	9人	20人	15人
	実人数	志願者数	149人	95人	135人	135人	131人	129人
		受験者数	147人	95人	133人	133人	128人	127人
		合格者数	59人	62人	54人	51人	63人	58人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	21人	10人	9人	20人	15人
	入学者数		44人	41人	44人	42人	43人	43人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	42人	42人	42人	42人	42人	42
入 学 定 員 充 足 率	1.05	0.98	1.05	1.00	1.02	1.02
歩 留 率	0.75	0.66	0.81	0.82	0.68	0.75

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－６

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	149人	107人	115人	113人	120人	121人
		受験者数	149人	102人	110人	112人	119人	118人
		合格者数	51人	46人	55人	52人	58人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	7人	5人	3人	4人
	実人数	志願者数	149人	107人	115人	113人	120人	121人
		受験者数	149人	102人	110人	112人	119人	118人
		合格者数	51人	46人	55人	52人	58人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	7人	5人	3人	4人
	入学者数		47人	46人	48人	47人	55人	49人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	6人	8人	7人	4人	2人	5人
		受験者数	6人	7人	7人	4人	2人	5人
		合格者数	6人	7人	7人	4人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	6人	8人	7人	4人	2人	5人
		受験者数	6人	7人	7人	4人	2人	5人
		合格者数	6人	7人	7人	4人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		6人	6人	7人	4人	2人	5人
一般選抜	募集人数		15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数	92人	69人	98人	73人	78人	82人
		受験者数	92人	68人	92人	72人	73人	79人
		合格者数	9人	14人	15人	17人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	6人	7人	9人	6人	7人
	実人数	志願者数	92人	69人	98人	73人	78人	82人
		受験者数	92人	68人	92人	72人	73人	79人
		合格者数	9人	14人	15人	17人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	6人	7人	9人	6人	7人
	入学者数		3人	8人	8人	8人	5人	6人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	129人	92人	120人	105人	91人	107人
		受験者数	129人	92人	119人	105人	91人	107人
		合格者数	16人	19人	14人	22人	13人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	16人	11人	18人	12人	14人
	実人数	志願者数	129人	92人	120人	105人	91人	107人
		受験者数	129人	92人	119人	105人	91人	107人
		合格者数	16人	19人	14人	22人	13人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	16人	11人	18人	12人	14人
	入学者数		4人	3人	3人	4人	1人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	23人	0人	0人	0人	0人	5人
		受験者数	22人	0人	0人	0人	0人	4人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	23人	0人	0人	0人	0人	5人
		受験者数	22人	0人	0人	0人	0人	4人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		3人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	募集人数		62人	62人	62人	62人	62人	62人
	延べ人数	志願者数	399人	276人	340人	295人	291人	320人
		受験者数	398人	269人	328人	293人	285人	315人
		合格者数	85人	86人	91人	95人	84人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	23人	25人	32人	21人	25人
	実人数	志願者数	399人	276人	340人	295人	291人	320人
		受験者数	398人	269人	328人	293人	285人	315人
		合格者数	85人	86人	91人	95人	84人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	25人	23人	25人	32人	21人	25人
	入学者数		63人	63人	66人	63人	63人	64人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	62人	62人	62人	62人	62人	62
入 学 定 員 充 足 率	1.02	1.02	1.06	1.02	1.02	1.03
歩 留 率	0.74	0.73	0.73	0.66	0.75	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－７

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		36人	34人	34人	34人	34人	34人
	延べ人数	志願者数	81人	46人	87人	49人	61人	65人
		受験者数	81人	43人	84人	48人	59人	63人
		合格者数	34人	31人	28人	34人	36人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	0人	3人	1人	2人
	実人数	志願者数	81人	46人	87人	49人	61人	65人
		受験者数	81人	43人	84人	48人	59人	63人
		合格者数	34人	31人	28人	34人	36人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	0人	3人	1人	2人
	入学者数		30人	31人	28人	31人	35人	31人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	12人	19人	16人	10人	11人	14人
		受験者数	12人	19人	16人	10人	11人	14人
		合格者数	12人	18人	16人	10人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	12人	19人	16人	10人	11人	14人
		受験者数	12人	19人	16人	10人	11人	14人
		合格者数	12人	18人	16人	10人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		12人	18人	16人	10人	11人	13人
一般選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	60人	53人	76人	35人	53人	55人
		受験者数	60人	52人	71人	35人	50人	54人
		合格者数	8人	6人	10人	15人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	8人	3人	4人
	実人数	志願者数	60人	53人	76人	35人	53人	55人
		受験者数	60人	52人	71人	35人	50人	54人
		合格者数	8人	6人	10人	15人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	3人	8人	3人	4人
	入学者数		6人	4人	7人	7人	7人	6人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	76人	61人	81人	54人	62人	67人
		受験者数	76人	61人	81人	54人	62人	67人
		合格者数	7人	8人	9人	15人	13人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	7人	6人	14人	12人	9人
	実人数	志願者数	76人	61人	81人	54人	62人	67人
		受験者数	76人	61人	81人	54人	62人	67人
		合格者数	7人	8人	9人	15人	13人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	7人	6人	14人	12人	9人
	入学者数		3人	1人	3人	1人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
		受験者数	5人	0人	0人	0人	0人	1人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		52人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	234人	179人	260人	148人	187人	202人
		受験者数	234人	175人	252人	147人	182人	198人
		合格者数	64人	63人	63人	74人	70人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	9人	9人	25人	16人	14人
	実人数	志願者数	234人	179人	260人	148人	187人	202人
		受験者数	234人	175人	252人	147人	182人	198人
		合格者数	64人	63人	63人	74人	70人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	9人	9人	25人	16人	14人
	入学者数		52人	54人	54人	49人	54人	53人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入 学 定 員 充 足 率	1.04	1.08	1.08	0.98	1.08	1.05
歩 留 率	0.81	0.86	0.86	0.66	0.77	0.79

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－８

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部グラフィックデザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		55人	55人	55人	57人	57人	56人
	延べ人数	志願者数	194人	167人	170人	214人	167人	182人
		受験者数	194人	160人	163人	207人	165人	178人
		合格者数	63人	61人	66人	65人	65人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	4人	7人	5人	5人	6人
	実人数	志願者数	194人	167人	170人	214人	167人	182人
		受験者数	194人	160人	163人	207人	165人	178人
		合格者数	63人	61人	66人	65人	65人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	4人	7人	5人	5人	6人
	入学者数		55人	57人	59人	60人	60人	58人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		受験者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		合格者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	実人数	志願者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		受験者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		合格者数	3人	3人	4人	3人	3人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		3人	3人	4人	3人	3人	3人
一般選抜	募集人数		11人	11人	11人	9人	9人	10人
	延べ人数	志願者数	97人	80人	111人	96人	89人	95人
		受験者数	96人	79人	105人	94人	86人	92人
		合格者数	8人	8人	8人	6人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	2人	1人	2人
	実人数	志願者数	97人	80人	111人	96人	89人	95人
		受験者数	96人	79人	105人	94人	86人	92人
		合格者数	8人	8人	8人	6人	6人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	4人	2人	2人	1人	2人
	入学者数		7人	4人	6人	4人	5人	5人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	137人	116人	151人	137人	98人	128人
		受験者数	136人	116人	149人	136人	98人	127人
		合格者数	10人	15人	13人	8人	6人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	12人	10人	6人	3人	8人
	実人数	志願者数	137人	116人	151人	137人	98人	128人
		受験者数	136人	116人	149人	136人	98人	127人
		合格者数	10人	15人	13人	8人	6人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	12人	10人	6人	3人	8人
	入学者数		3人	3人	3人	2人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	36人	1人	0人	0人	0人	7人
		受験者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	実人数	志願者数	36人	1人	0人	0人	0人	7人
		受験者数	36人	0人	0人	0人	0人	7人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	入学者数		3人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	募集人数		68人	68人	68人	68人	68人	68人
	延べ人数	志願者数	467人	367人	436人	450人	357人	415人
		受験者数	465人	358人	421人	440人	352人	407人
		合格者数	87人	87人	91人	82人	80人	85人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	20人	19人	13人	12人	18人
	実人数	志願者数	467人	367人	436人	450人	357人	415人
		受験者数	465人	358人	421人	440人	352人	407人
		合格者数	87人	87人	91人	82人	80人	85人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	20人	19人	13人	9人	17人
	入学者数		71人	67人	72人	69人	71人	70人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	68人	68人	68人	68人	68人	68
入 学 定 員 充 足 率	1.04	0.99	1.06	1.01	1.04	1.03
歩 留 率	0.82	0.77	0.79	0.84	0.89	0.82

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－９

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部映像学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		46人	46人	46人	46人	46人	46人
	延べ人数	志願者数	176人	124人	180人	176人	132人	158人
		受験者数	176人	119人	175人	172人	129人	154人
		合格者数	51人	51人	51人	53人	53人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	1人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	176人	124人	180人	176人	132人	158人
		受験者数	176人	119人	175人	172人	129人	154人
		合格者数	51人	51人	51人	53人	53人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	1人	1人	3人	2人	2人
	入学者数		46人	50人	50人	50人	51人	49人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		受験者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		合格者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		受験者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		合格者数	5人	5人	5人	5人	4人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		5人	5人	5人	5人	4人	5人
一般選抜	募集人数		14人	14人	14人	14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数	70人	83人	98人	95人	73人	84人
		受験者数	69人	82人	94人	93人	69人	81人
		合格者数	6人	6人	9人	10人	9人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	2人	6人	4人	3人
	実人数	志願者数	70人	83人	98人	95人	73人	84人
		受験者数	69人	82人	94人	93人	69人	81人
		合格者数	6人	6人	9人	10人	9人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	2人	6人	4人	3人
	入学者数		3人	5人	7人	4人	5人	5人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	112人	88人	105人	113人	81人	100人
		受験者数	111人	88人	105人	112人	81人	99人
		合格者数	11人	9人	14人	10人	10人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	6人	11人	8人	8人	8人
	実人数	志願者数	112人	88人	105人	113人	81人	100人
		受験者数	111人	88人	105人	112人	81人	99人
		合格者数	11人	9人	14人	10人	10人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	6人	11人	8人	8人	8人
	入学者数		6人	3人	3人	2人	2人	3人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	39人	1人	1人	1人	4人	9人
		受験者数	38人	0人	1人	1人	4人	9人
		合格者数	3人	0人	0人	1人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	0人	0人	0人	0人	2人
	実人数	志願者数	39人	1人	1人	1人	4人	9人
		受験者数	38人	0人	1人	1人	4人	9人
		合格者数	3人	0人	0人	1人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	0人	0人	1人	1人	2人
	入学者数		3人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	募集人数		62人	62人	62人	62人	62人	62人
	延べ人数	志願者数	402人	301人	389人	390人	294人	355人
		受験者数	399人	294人	380人	383人	287人	349人
		合格者数	76人	71人	79人	79人	77人	76人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	8人	14人	17人	14人	15人
	実人数	志願者数	402人	301人	389人	390人	294人	355人
		受験者数	399人	294人	380人	383人	287人	349人
		合格者数	76人	71人	79人	79人	77人	76人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	21人	8人	14人	18人	15人	15人
	入学者数		63人	63人	65人	61人	62人	63人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	62人	62人	62人	62人	62人	62
入 学 定 員 充 足 率	1.02	1.02	1.05	0.98	1.00	1.01
歩 留 率	0.83	0.89	0.82	0.77	0.81	0.82

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－１０

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		36人	36人	36人	36人	36人	36人
	延べ人数	志願者数	117人	70人	88人	110人	70人	91人
		受験者数	117人	69人	88人	103人	70人	89人
		合格者数	42人	35人	39人	36人	35人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	0人	0人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	117人	70人	88人	110人	70人	91人
		受験者数	117人	69人	88人	103人	70人	89人
		合格者数	42人	35人	39人	36人	35人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	0人	0人	1人	0人	1人
	入学者数		37人	35人	39人	35人	35人	36人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		受験者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		合格者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		受験者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		合格者数	7人	10人	7人	10人	10人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		6人	10人	7人	10人	10人	9人
一般選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	60人	61人	40人	56人	34人	50人
		受験者数	60人	61人	39人	56人	34人	50人
		合格者数	10人	5人	6人	6人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	2人	2人	3人	2人	3人
	実人数	志願者数	60人	61人	40人	56人	34人	50人
		受験者数	60人	61人	39人	56人	34人	50人
		合格者数	10人	5人	6人	6人	4人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	2人	2人	3人	2人	3人
	入学者数		5人	3人	4人	3人	2人	3人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	92人	79人	61人	48人	34人	63人
		受験者数	92人	79人	61人	48人	34人	63人
		合格者数	6人	8人	7人	5人	10人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	6人	3人	6人	5人
	実人数	志願者数	92人	79人	61人	48人	34人	63人
		受験者数	92人	79人	61人	48人	34人	63人
		合格者数	6人	8人	7人	5人	10人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	6人	3人	6人	5人
	入学者数		1人	1人	1人	2人	4人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	19人	0人	0人	0人	0人	4人
		受験者数	16人	0人	0人	0人	0人	3人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	19人	0人	0人	0人	0人	4人
		受験者数	16人	0人	0人	0人	0人	3人
		合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	295人	220人	196人	224人	148人	217人
		受験者数	292人	219人	195人	217人	148人	214人
		合格者数	68人	58人	59人	57人	59人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	9人	8人	7人	8人	10人
	実人数	志願者数	295人	220人	196人	224人	148人	217人
		受験者数	292人	219人	195人	217人	148人	214人
		合格者数	68人	58人	59人	57人	59人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	9人	8人	7人	8人	10人
	入学者数		51人	49人	51人	50人	51人	50人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入 学 定 員 充 足 率	1.02	0.98	1.02	1.00	1.02	1.01
歩 留 率	0.75	0.84	0.86	0.88	0.86	0.84

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙２－１ １

大学学部学科等名：

東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニティデザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	74人	39人	41人	48人	43人	49人
		受験者数	74人	38人	39人	46人	43人	48人
		合格者数	31人	23人	22人	24人	22人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	2人	0人	2人	4人	3人
	実人数	志願者数	74人	39人	41人	48人	43人	49人
		受験者数	74人	38人	39人	46人	43人	48人
		合格者数	31人	23人	22人	24人	22人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	2人	0人	2人	4人	3人
	入学者数		24人	21人	22人	22人	18人	21人
学校推薦型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		受験者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	3人	4人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	3人	4人	1人
一般選抜	募集人数		6人	6人	6人	6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数	34人	37人	34人	37人	37人	36人
		受験者数	34人	36人	34人	37人	36人	35人
		合格者数	12人	13人	17人	11人	13人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	9人	5人	6人	7人
	実人数	志願者数	34人	37人	34人	37人	37人	36人
		受験者数	34人	36人	34人	37人	36人	35人
		合格者数	12人	13人	17人	11人	13人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	6人	9人	5人	6人	7人
	入学者数		4人	7人	8人	6人	7人	6人
共通テスト利用入試	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	50人	50人	42人	45人	30人	43人
		受験者数	50人	50人	42人	45人	30人	43人
		合格者数	16人	18人	18人	10人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	16人	16人	8人	8人	12人
	実人数	志願者数	50人	50人	42人	45人	30人	43人
		受験者数	50人	50人	42人	45人	30人	43人
		合格者数	16人	18人	18人	10人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	16人	16人	8人	8人	12人
	入学者数		3人	2人	2人	2人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	14人	0人	0人	0人	0人	3人
		受験者数	12人	0人	0人	0人	0人	2人
		合格者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	14人	0人	0人	0人	0人	3人
		受験者数	12人	0人	0人	0人	0人	2人
		合格者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		30人	30人	30人	30人	30人	30人
	延べ人数	志願者数	172人	126人	117人	133人	114人	132人
		受験者数	170人	124人	115人	131人	113人	131人
		合格者数	61人	54人	57人	48人	47人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	24人	25人	15人	18人	23人
	実人数	志願者数	172人	126人	117人	133人	114人	132人
		受験者数	170人	124人	115人	131人	113人	131人
		合格者数	61人	54人	57人	48人	47人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	24人	25人	15人	18人	23人
	入学者数		32人	30人	32人	33人	29人	31人

３．入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	30人	30人	30人	30人	30人	30
入 学 定 員 充 足 率	1.07	1.00	1.07	1.10	0.97	1.04
歩 留 率	0.52	0.56	0.56	0.69	0.62	0.59

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：東北芸術工科大学オープンキャンパス

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	2003人	1944人	①取組概要 R5年度入試：R4年3月・5月・7月のオープンキャンパスに参加した実数 R4年度入試：R3年3月・5月・7月のオープンキャンパスに参加した実数 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者の受験率は70%を超えており、令和6（2024）年度は全学入学者数（606名）に対し、77.3%（469名）がオープンキャンパス参加者である。本学ではオープンキャンパス参加者実数を重要な指標としており、参加者を増加させるために各高校での校内説明会やSNSを活用した来場促進策を行っている。受験対象者における参加者の平均（944名）以上を獲得することで、オープンキャンパス参加者からの入学者を獲得する。
うち受験対象者数 (b)	954人	932人	
うち受験者数 (c)	669人	673人	
うち入学者数 (d)	483人	469人	
（受験率 c/b）	70.1%	72.2%	
（入学率 d/b）	50.6%	50.3%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：東北芸術工科大学 大学案内パンフレットの配布

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	28758人	29378人	①取組概要 ・資料請求者に対しては、大学案内パンフレットを配布・送付している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ・資料請求者からの受験率は10%前後で推移しており、今後は資料請求の維持とともにSNS等による継続的な情報発信を行って上記オープンキャンパスの参加につなげ、受験率・入学率の向上させることで定員充足を行っている。
うち受験対象者数 (b)	9738人	10430人	
うち受験者数 (c)	1065人	964人	
うち入学者数 (d)	594人	567人	
（受験率 c/b）	10.9%	9.2%	
（入学率 d/b）	6.1%	5.4%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：業者主催進学説明会

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	945人	1644人	①取組概要 全国各地での進学相談会にR5年度入試では46回、R6年度入試では31回参加し、個別相談や入試参考作品の展示・解説を行っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者の5～6割が受験し、4割前後が入学している。今後も接触機会を維持して直接大学の状況を伝えられる場を確保し、受験率・入学率を向上させることで定員充足を行っていく。
うち受験対象者数 (b)	342人	289人	
うち受験者数 (c)	207人	159人	
うち入学者数 (d)	158人	105人	
（受験率 c/b）	60.5%	55.0%	
（入学率 d/b）	46.2%	36.3%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校内進学説明会

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	1792人	1641人	①取組概要 全国各地での進学相談会にR5年度入試では110回、R6年度入試では116回参加し、個別相談や大学の説明会を行っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者の6割が前後受験し、4割前後が入学している。今後も接触機会を維持して直接大学の状況を伝えられる場を確保し、受験率・入学率を向上させることで定員充足を行っていく。
うち受験対象者数 (b)	384人	257人	
うち受験者数 (c)	194人	182人	
うち入学者数 (d)	139人	135人	
（受験率 c/b）	50.5%	70.8%	
（入学率 d/b）	36.2%	52.5%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R 5 年度入試	R 6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ナカヤマ ダイスケ 中山 ダイスケ(大輔) ＜平成30年4月＞		高等学校卒		東北芸術工科大学 学長 (平成30.4～令和8.3)